

資料3-別紙2	後期高齢支援システム標準化検討会 市区町村WT・ベンダ分科会 (合同開催) (第11回)
	令和7年12月17日

(別紙2) 帳票詳細要件

資料中の文字色が黒ではないものは以下の内容を表す。

水色・・・・・・標準オプション部分

帳票詳細要件

大分類	小分類(帳票タイトル)	実装必須	標準オプション	帳票ID(新)	機能帳票要件上の呼称	頁番号
後期高齢	1. 共通					
	01. 通知書印刷用帳票 ※1		○	0250001	共通-01	1
	02. 宛名シール印刷用帳票 ※1		○	0250002	共通-02	2
	3. 保険料賦課					
	01. 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定(変更)通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額 変更通知書、特別徴収中止通知書	○ (A4)	○ (A3)	0250003	賦課-01	3
	02. 後期高齢者医療暫定保険料額決定通知書兼納入通知書		○	0250004	賦課-02	39
	03. 保険料額決定通知書 兼 特別徴収仮徴収開始通知書 兼 納入通知書 保険料額変更通知書 兼 特別徴収仮徴収変更通知書 兼 納入通知書 保険料額変更通知書 兼 特別徴収仮徴収中止通知書 兼 納入通知書	○		0250005	賦課-03	41
	04. 後期高齢者医療保険料口座振替開始(変更)のお知らせ	○		0250006	賦課-04	44
	05. 納付書1(カク公)	○		0250007	賦課-05	45
	06. 連帳納付書1(カク公)	○		0250008	賦課-06	47
	07. 納付書2(マル公)	○		0250009	賦課-07	49
	08. 連帳納付書2(マル公)	○		0250010	賦課-08	51
	09. 紳付書1(カク公)(eL-QRあり)		○	0250032	賦課-09	53
	10. 連帳納付書1(カク公)(eL-QRあり)		○	0250033	賦課-10	55
	11. 紳付書2(マル公)(eL-QRあり)		○	0250034	賦課-11	57
	12. 連帳納付書2(マル公)(eL-QRあり)		○	0250035	賦課-12	59
	簡易申告書の出力仕様は広域標準システムに準拠					
	4. 保険料収納					
	01. 後期高齢者医療保険料口座振替不能通知書	○		0250011	収納-01	61
	02. 後期高齢者医療保険料還付(充当)通知書	○		0250012	収納-02	62
	03. 後期高齢者医療保険料充当通知書	○		0250013	収納-03	64
	04. 後期高齢者医療保険料還付請求書	○		0250014	収納-04	66
	05. 後期高齢者医療保険料還付・充当希望確認票 ※2		○	0250015	収納-05	67
	06. 後期高齢者医療保険料収納状況のお知らせ ※2		○	0250016	収納-06	68
	07. 後期高齢者医療保険料納付証明書	○		0250017	収納-07	69
	08. 後期高齢者医療保険料口座振替済通知書兼納付額証明書 ※2		○	0250018	収納-08	71
	09. 後期高齢者医療保険料納付額証明書	○		0250019	収納-09	72
	10. 後期高齢者医療保険料完納証明書		○	0250020	収納-10	74
	11. 後期高齢者医療保険料督促状	○		0250021	収納-11	75
	12. 口座振替不能通知書・督促状・催告書兼納付書1(カク公)	○		0250022	収納-12	76
	13. 口座振替不能通知書・督促状・催告書兼納付書2(マル公)	○		0250023	収納-13	78
	14. 口座振替不能通知書兼納付書(マル公)	○		0250029	収納-14	80
	15. 後期高齢者医療保険料還付(充当)通知書兼還付請求書		○	0250030	収納-15	83
	16. 後期高齢者医療保険料督促状兼納付書(マル公)	○		0250031	収納-16	85
	17. 口座振替不能通知書・督促状・催告書兼納付書1(カク公)(eL-QRあり)		○	0250036	収納-17	88
	18. 口座振替不能通知書・督促状・催告書兼納付書2(マル公)(eL-QRあり)		○	0250037	収納-18	90
	19. 口座振替不能通知書兼納付書(マル公)(eL-QRあり)		○	0250038	収納-19	92
	20. 後期高齢者医療保険料督促状兼納付書(マル公)(eL-QRあり)		○	0250039	収納-20	95
	21. 後期高齢者医療保険料督促状兼納付書(はがき)(マル公)		○	0250040	収納-21	98
	22. 後期高齢者医療保険料督促状兼納付書(はがき)(マル公)(eL-QRあり)		○	0250041	収納-22	100
	23. 口座振替不能通知書兼納付書(はがき)(マル公)		○	0250042	収納-23	102
	24. 口座振替不能通知書兼納付書(はがき)(マル公)(eL-QRあり)		○	0250043	収納-24	104
	5. 滞納管理					
	01. 後期高齢者医療保険料催告書	○		0250024	滞納-01	106
	02. 後期高齢者医療保険料催告書別紙	○		0250025	滞納-02	108
	03. 後期高齢者医療保険料分納誓約書	○		0250026	滞納-03	109
	04. 後期高齢者医療保険料分納承認連絡書		○	0250027	滞納-04	111
	05. 後期高齢者医療保険料納付誓約書		○	0250028	滞納-05	112

※1 共通業務では、業務フローを規定していないため、業務フロー上に記載がない帳票

※2 標準オプションとしているため、業務フロー上に記載していない帳票

後期高齢支援システム

帳票詳細要件【改定履歴】

版数	改定日	主な改定理由	帳票ID	変更状況 (新規帳票追加/項目追加/項目修正/項目削除)	変更内容	適合基準日
第1.0版	令和4年8月31日	初版公開	—	—	—	—
第1.1版	令和5年3月31日	第1.1版公開	—	—	—	令和8年4月1日
第1.2版	令和5年11月29日	保険料制度改正における検討会内容の反映	賦課-01-2	項目修正	「説明文 保険料の計算方法本文」の印字編集条件に、年度ごとの印字例を追加	令和8年4月1日
令和5年12月22日	WT構成員意見により、帳票詳細要件(ツリー図)の実装類型の記載を修正 WT構成員意見により、「通知書番号」の印字編集条件を修正	意見照会結果により、はがき様式を新規追加 意見照会結果により、委任欄用の項目追加 意見照会結果により、口座名義人用の項目追加 改ページ用に項目追加	賦課-01	修正	A4帳票は必須、A3帳票はオプションに修正	令和8年4月1日
			賦課-01-1	項目修正	印字編集条件の「機能・帳票要件における「文書番号」の扱いと同様とする」を削除	令和8年4月1日
			賦課-01-2	項目修正	印字編集条件の「機能・帳票要件における「文書番号」の扱いと同様とする」を削除	令和8年4月1日
			賦課-02	項目修正	印字編集条件の「機能・帳票要件における「文書番号」の扱いと同様とする」を削除	令和8年4月1日
			賦課-03	項目修正	印字編集条件の「機能・帳票要件における「文書番号」の扱いと同様とする」を削除	令和8年4月1日
令和6年2月26日	意見照会結果により、納期限を追加	意見照会結果により、納期限を追加	賦課-04	新規帳票追加	「郵便還付先」の「印字編集条件など」に「※A4様式の場合のみ印字される」を追記	
			収納-08	新規帳票追加	「郵便還付先」の「印字編集条件など」に「※A4様式の場合のみ印字される」を追記	
			収納-04	項目修正	固定文言5の印字編集条件「印字例」の記載修正	令和8年4月1日
			収納-04	項目追加	システム印字項目として固定文言6~8の項目を追加	令和8年4月1日
			収納-15	項目修正	固定文言7の印字編集条件「印字例」の記載修正	令和8年4月1日
			収納-15	項目追加	システム印字項目として固定文言8~10の項目を追加	令和8年4月1日
			収納-07	項目追加	システム印字項目として「固定文言2十編集1」の項目追加	令和8年4月1日
			収納-09	項目追加	システム印字項目として「表見出し3[項目タイトル]」および「口座名義人カナ」の項目追加	令和8年4月1日
			収納-07	項目追加	システム印字項目として「ページ数」の項目追加	令和8年4月1日
			収納-07	項目追加	システム印字項目として「総ページ数」の項目追加	令和8年4月1日
			収納-09	項目追加	システム印字項目として「ページ数」の項目追加	令和8年4月1日
			収納-09	項目追加	システム印字項目として「総ページ数」の項目追加	令和8年4月1日
			賦課-05	項目修正	「取扱期限」を「納期限」に名称変更	令和8年4月1日
			賦課-05	項目追加	「取扱期限」追加	令和8年4月1日
			賦課-06	項目修正	「取扱期限」を「納期限」に名称変更	令和8年4月1日
			賦課-06	項目追加	「取扱期限」追加	令和8年4月1日
			収納-12	項目修正	「取扱期限」を「納期限」に名称変更	令和8年4月1日
			収納-12	項目追加	「取扱期限」追加	令和8年4月1日

版数	改定日	主な改定理由	帳票ID	変更状況 (新規帳票追加／項目追加／項目修正／項目削除)	変更内容	適合基準日
		記載漏れのため追記	賦課-01-2	項目修正	「減免額」のシステム印字項目の名称に「減免額」を追記	
		WT構成員意見により、敬称の印字編集条件を追加	収納-04	項目追加	「編集3」として敬称の出力項目を追加	
			収納-15	項目追加	「編集4」として敬称の出力項目を追加	
			滞納-03	項目追加	「編集3」として敬称の出力項目を追加	
			滞納-05	項目追加	「編集2」として敬称の出力項目を追加	
		誤記の訂正	賦課-01-2	項目修正	「案内文3」の賦課決定通知(特徴)に対する印字例を変更	
		WT構成員意見により、保険料額の項目名を固定文言から文言マスターに変更	賦課-01-1	項目追加	「保険料額タイトル1」を追加	令和8年4月1日
			賦課-01-1	項目修正	「保険料額タイトル」を「保険料額タイトル2」に修正	令和8年4月1日
			賦課-01-2	項目追加	「保険料額タイトル1」を追加	
			賦課-01-2	項目修正	「保険料額タイトル」を「保険料額タイトル2」に修正賦課-01-1(A4)に合わせて記載追加	
令和6年3月25日	「QRコード」の表記を「二次元コード」に変更		共通-01	項目修正	「宛名」の印字編集条件を修正	
			共通-02	項目修正	項目名称を「二次元コード」に修正	
			賦課-01-1	項目修正	「窓あき宛名」の印字編集条件を修正	
			賦課-01-2	項目修正	「窓あき宛名」の印字編集条件を修正	
			賦課-02	項目修正	「窓あき宛名」の印字編集条件を修正	
			賦課-03	項目修正	「窓あき宛名」の印字編集条件を修正	
			賦課-04	項目修正	「宛名」の印字編集条件を修正	
			賦課-05	項目修正	項目名称を「二次元コード」に修正し、印字編集条件を修正	
			賦課-05	項目修正	「宛名」の印字編集条件を修正	
			賦課-06	項目修正	項目名称を「二次元コード」に修正し、印字編集条件を修正	
			賦課-07	項目修正	項目名称を「二次元コード」に修正し、印字編集条件を修正	
			賦課-07	項目修正	「宛名」の印字編集条件を修正	
			賦課-08	項目修正	項目名称を「二次元コード」に修正し、印字編集条件を修正	
			収納-01	項目修正	「宛名」の印字編集条件を修正	
			収納-02	項目修正	「宛名」の印字編集条件を修正	
			収納-03	項目修正	「宛名」の印字編集条件を修正	
			収納-05	項目修正	「宛名」の印字編集条件を修正	
			収納-07	項目修正	「宛名」の印字編集条件を修正	
			収納-08	項目修正	「宛名」の印字編集条件を修正	
			収納-09	項目修正	「宛名」の印字編集条件を修正	
			収納-10	項目修正	「宛名」の印字編集条件を修正	
			収納-11	項目修正	「宛名」の印字編集条件を修正	

版数	改定日	主な改定理由	帳票ID	変更状況 (新規帳票追加／項目追加／項目修正／項目削除)	変更内容	適合基準日
			収納-12	項目修正	項目名称を「二次元コード」に修正し、印字編集条件を修正	
			収納-12	項目修正	「宛名」の印字編集条件を修正	
			収納-13	項目修正	項目名称を「二次元コード」に修正し、印字編集条件を修正	
			収納-13	項目修正	「宛名」の印字編集条件を修正	
			収納-14	項目修正	「宛名」の印字編集条件を修正	
			収納-14	項目修正	項目名称を「二次元コード」に修正し、印字編集条件を修正	
			収納-15	項目修正	「宛名」の印字編集条件を修正	
			収納-16	項目修正	「宛名」の印字編集条件を修正	
			収納-16	項目修正	項目名称を「二次元コード」に修正し、印字編集条件を修正	
			滞納-01	項目修正	「宛名」の印字編集条件を修正	
			滞納-03	項目修正	「宛名」の印字編集条件を修正	
			滞納-04	項目修正	「宛名」の印字編集条件を修正	
			滞納-05	項目修正	「宛名」の印字編集条件を修正	
第1.3版	令和7年3月31日	eLTAX対応にともなう新規帳票追加	賦課-09	新規帳票追加		
			賦課-10	新規帳票追加		
			賦課-11	新規帳票追加		
			賦課-12	新規帳票追加		
			収納-17	新規帳票追加		
			収納-18	新規帳票追加		
			収納-19	新規帳票追加		
			収納-20	新規帳票追加		
		eLTAX対応にともなう印字編集条件の変更	賦課-05	項目修正		
			賦課-06	項目修正		
			賦課-07	項目修正		
			賦課-08	項目修正		
			収納-12	項目修正		
			収納-13	項目修正		
			収納-14	項目修正		
			収納-16	項目修正		
		被保険証廃止にともない該当文言の削除	—	項目修正	ツリー図に記載されている「被保険者証、短期証の様式は広域標準システムに準拠」を削除	
			収納-02	項目修正	(2)被保険者証→(2)本人確認書類に修正	
		子ども・子育て支援金制度の施行にともなう帳票項目の追加	賦課-01-1	項目追加	子ども分の各項目を追加	
			賦課-01-2	項目追加	子ども分の各項目を追加	

版数	改定日	主な改定理由	帳票ID	変更状況 (新規帳票追加/項目追加/項目修正/項目削除)	変更内容	適合基準日
		誤記の訂正	収納-15	項目修正	後期高齢者医療保険料還付(充当)希望確認票兼還付請求書→「後期高齢者医療保険料還付(充当)通知書兼還付請求書」	
第1.4版 令和8年1月30日	督促状兼納付書の圧着ハガキ様式追加		収納-21	新規帳票追加		
			収納-22	新規帳票追加		
	口座振替不能通知書兼納付書の圧着ハガキ様式追加		収納-23	新規帳票追加		
			収納-24	新規帳票追加		
	誤字の修正		収納-15	項目修正	帳票タイトル名において、不足していた文字を追記 「後期高齢者医療保険料還付(充当)通知書兼還付請求書」	
			滞納-01	項目修正	通番8「案内文」の印字例2における誤字を修正	
	誤記の訂正		賦課-08	項目修正	通番31「被保険者氏名」の印字編集条件を修正	
			賦課-12	項目修正	通番33「被保険者氏名」の印字編集条件を修正	
			収納-14	項目修正	通番63「被保険者氏名」の重複を削除し、後続の通番を修正	
			収納-15	項目修正	「タイトル1」の印字例を帳票名に合わせて修正	
			収納-16	項目修正	通番59「被保険者氏名」の重複を削除し、後続の通番を修正	
			収納-19	項目修正	通番42~47の通番の乱れと後続の通番を修正	
			収納-19	項目修正	通番63「被保険者氏名」の重複を削除し、後続の通番を修正	
			収納-20	項目修正	通番61「被保険者氏名」の重複を削除し、後続の通番を修正	
			賦課-09	項目修正	「地方税統一QRコード」の印字編集条件を修正	
			賦課-10	項目修正	「地方税統一QRコード」の印字編集条件を修正	
	意見照会結果により、記載の見直し		賦課-11	項目修正	「地方税統一QRコード」の印字編集条件を修正	
			賦課-12	項目修正	「地方税統一QRコード」の印字編集条件を修正	
			収納-17	項目修正	「地方税統一QRコード」の印字編集条件を修正	
			収納-18	項目修正	「地方税統一QRコード」の印字編集条件を修正	
			収納-19	項目修正	「地方税統一QRコード」の印字編集条件を修正	
			収納-20	項目修正	「地方税統一QRコード」の印字編集条件を修正	
			賦課-11	項目修正	納入済通知書の「金額」欄の印字編集条件について、延滞金等を含めることも可能とする記載を追記	
			賦課-12	項目修正	納入済通知書の「金額」欄の印字編集条件について、延滞金等を含めることも可能とする記載を追記	
	自治体からの照会を受けた、記載内容の見直し					

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	01. 共通	帳票名称	01 通知書印刷用帳票		
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	文書番号	●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする
2	発行年月日	●			和暦表記
3	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
4	郵便還付先		●		バラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名+郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号+全角スペース+郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
5	自治体の名称	●			バラメタにより出力有無を変更できること 自治体+首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
6	自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること バラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している公印を出力する
7	帳票タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する
8	帳票本文	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する
9	問い合わせ先	問い合わせ先出力有無	-	-	通番9～通番18の問い合わせ先項目については、バラメタにより出力有無を変更でき、「有」となっている場合は、通番9～通番18の項目を出力すること
10		問い合わせ先タイトル	●		「問い合わせ先」の文言を出力
11		担当部署名	●		マスタ管理している問い合わせ先情報を設定 市区町村名+部署名
12		〒	●		「〒」の文言を出力
13		担当部署住所	●		マスタ管理している問い合わせ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所
14		TEL	●		「TEL」の文言を出力
15		担当部署電話番号	●		マスタ管理している問い合わせ先情報を設定
16		FAX番号	●		「FAX番号」の文言を出力 バラメタにより出力有無を変更できること
17		担当部署FAX番号	●		マスタ管理している問い合わせ先情報を設定 バラメタにより出力有無を変更できること
18		メール		●	「メール」の文言を出力
19		担当部署メール		●	マスタ管理している問い合わせ先情報を設定
20	不服の申立	不服の申立出力有無	-	-	通番20～通番26の不服の申立項目については、バラメタにより出力有無を変更でき、「有」となっている場合は、通番20～通番26の項目を出力すること
21		不服の申立タイトル	●		文言マスタで設定された文言を印字する (印字例) 不服の申立
22		不服の申立本文[不服申立先担当部署名][不服申立先担当自治体名]	●		文言マスタで設定された文言を印字する [不服申立先担当部署名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（例：後期高齢者医療審査会名等を設定） [不服申立先担当自治体名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（提起先組織名。例：後期高齢者医療広域連合名等を設定） (印字例) この通知について不服があるときは、この通知書を受け取った日の翌日から起算して3か月以内に[不服申立先担当部署名]に対し審査請求することができます。また、この処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決書を受け取った日の翌日から起算して6か月以内に[不服申立先担当自治体名]を被告として提起することができます。 なお、処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決を経た後（次の1から3までのいずれかに該当するときを除く。）でなければ提起することができないこととされています。 1 審査請求があった日から3か月を経過しても裁決がないとき。 2 処分、処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき。 3 その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき。
23		〒	●		「〒」の文言を出力
24		不服申立先担当部署郵便番号	●		マスタ管理している不服申立先情報を設定
25		不服申立先担当部署住所	●		マスタ管理している不服申立先情報を設定
26		TEL	●		「TEL」の文言を出力
27		不服申立先担当部署電話番号	●		マスタ管理している不服申立先情報を設定

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	01. 共通			帳票名称	02 宛名シール印刷用帳票
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	1人目	郵便番号	●		送付先>転出先住所>現住所の優先順位で設定を行う。
2		住所	●		送付先>転出先住所>現住所の優先順位で設定を行う。
3		方書	●		送付先>転出先住所>現住所の優先順位で設定を行う。
4		氏名	●		送付先>転出先住所>現住所の優先順位で設定を行う。 機能・帳票要件（敬称付与機能）のとおり、敬称を付けること
5		対象者氏名		●	パラメタにより出力有無を変更でき、氏名に本人以外（送付先や家族等）の値が設定されている場合は、本人氏名を下記の編集条件で印字する ”（”+氏名+全角スペース+” 様分）”
6		カスタマバーコード	●		
7		対象者番号		●	対象者やその他の送付物との結び付け用、送付前引き抜き用の番号 利用する番号は、1からの連番、宛名番号や被保険者番号等、結び付けや特定 が可能な番号とする パラメタにより出力有無を変更できること
8		二次元コード		●	
9	2人目	郵便番号	●		
10		住所	●		
11		方書	●		
12		氏名	●		編集条件は1人目の記載と同じ
13		対象者氏名		●	編集条件は1人目の記載と同じ
14		カスタマバーコード	●		
15		対象者番号		●	編集条件は1人目の記載と同じ
16		二次元コード		●	
17	...				
18	14人目	郵便番号	●		
19		住所	●		
20		方書	●		
21		氏名	●		編集条件は1人目の記載と同じ
22		対象者氏名		●	編集条件は1人目の記載と同じ
23		カスタマバーコード	●		
24		対象者番号		●	編集条件は1人目の記載と同じ
25		二次元コード		●	
26	15人目以降は改ページする			●	※出力できる対象者数（枚数）に合わせて改ページすること

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
通番	システム印字項目	実装項目	印字編集条件など	
		必須	オプション	不可
1	タイトル1【相当年度】	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の例のように設定された文言を印字すること 【相当年度】：システム印字項目（和暦表記） （印字例1：賦課決定通知） 【相当年度】年度 後期高齢者医療保険料額 決定通知書 （印字例2：賦課変更決定通知） 【相当年度】年度 後期高齢者医療保険料額 変更決定通知書
2	通知書番号	●		先頭に”通知書番号：“を付与すること
3	発行年月日	●		和暦表記 先頭に”発行年月日：“を付与すること
4	窓あき宛名	●		共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
5	郵便還付先		●	パラメタにより出力有無を変更できること マスター管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名+郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号+全角スペース+郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
6	案内文1【相当年度】	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の例のように設定された文言を印字すること 【相当年度】：システム印字項目（和暦表記） （印字例：賦課決定通知、賦課変更決定通知） 【相当年度】年度分の後期高齢者医療保険料額を次のとおり決定（変更）しました ので通知します。
7	広域連合の名称	●		パラメタにより出力有無を変更できること 広域連合+広域連合長名 広域連合名の出力有無を変更できること 広域連合長名は機能・帳票要件（広域連合長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
8	広域連合の印	●		機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること 広域連合長の公印を出力する（年額通知部分のため）
9	被保険者氏名	●		
10	被保険者番号	●		
11	性別	●		被保険者の性別
12	生年月日	●		被保険者の生年月日
13	住所	●		被保険者の住所 住所+全角スペース+方書
14	決定年月日	●		和暦表記 決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 決定年月日 （印字例：賦課変更決定通知） 決定年月日 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
15	保険料額タイトル1	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること（以下の例は印字を打ち分けるのではなくユーザが運用に応じて設定） （印字例：・減免無し） ⑯保険料額 （印字例：・減免有り） ⑰保険料額
16	保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 保険料額 （印字例：賦課変更決定通知） 保険料額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
17	決定（変更）理由	●		決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 決定理由 （印字例：賦課変更決定通知） 変更理由 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
18	案内文2【広域連合】[都道府県]	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること 【広域連合】：システム印字項目 【都道府県】：システム印字項目 （印字例） ※保険料額は、【広域連合】内においての保険料額です。このため【都道府県】内で転居された方は原則として複数の市区町村にお支払いいただくことになります。
19	算定基礎タイトル	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） 保険料計算の内訳（算定方法は裏面をご覧ください）

業務	03. 保険料賦課		帳票名称		01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
通番	システム印字項目		実装項目		印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
20	保険料算定の基礎1 上段	区分1	●		決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "決定" (印字例：賦課変更決定通知) "変更後" (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
21		医療分	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 所得金額 (印字例：賦課変更決定通知) 所得金額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
22		所得割率	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の所得割率 (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の所得割率 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
23		所得割額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の所得割額 (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の所得割額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
24		均等割額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の均等割額 (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の均等割額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
25		算出額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の算出額 (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の算出額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
26		限度超過額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の限度超過額 (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の限度超過額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
27		子ども分	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 所得金額 (印字例：賦課変更決定通知) 所得金額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
28		所得割率	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の所得割率 (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の所得割率 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
29		所得割額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の所得割額 (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の所得割額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"

業務	03. 保険料賦課		帳票名称		01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
30			均等割額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の均等割額 (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の均等割額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
31			算出額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の算出額 (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の算出額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
32			限度超過額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の限度超過額 (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の限度超過額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
33	保険料算定の基礎 2 上段	区分 3		●		決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "決定" (印字例：賦課変更決定通知) "変更後" (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
34			医療分 所得割軽減額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の所得割軽減額 (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の所得割軽減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
35			均等割軽減割合	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の均等割軽減割合 (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の均等割軽減割合 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
36			均等割軽減額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の均等割軽減額 (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の均等割軽減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
37			年保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の年間保険料額 (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の年間保険料額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
38			月数	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の月数 (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の月数 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
39			月割減額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の月割減額 (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の月割減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*

業務	03. 保険料賦課		帳票名称		01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
40	保険料額 子ども分 均等割軽減額 年保険料額 月数 月割減額 保険料額	保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の保険料額 (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の保険料額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
41		所得割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の所得割軽減額 (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の所得割軽減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
42		均等割軽減割合	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の均等割軽減割合 (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の均等割軽減割合 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
43		均等割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の均等割軽減額 (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の均等割軽減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
44		年保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の年間保険料額 (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の年間保険料額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
45		月数	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の月数 (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の月数 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
46		月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の月割減額 (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の月割減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
47		保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の保険料額 (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の保険料額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
48	保険料算定の基礎 1 下段	区分 2	●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*(印字例：賦課変更決定通知) "変更前" (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
49	医療分	所得金額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*(印字例：賦課変更決定通知) 変更前所得金額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*

業務	03. 保険料賦課		帳票名称		01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
50	子ども分	所得割率	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前所得割率 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
51		所得割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前所得割額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
52		均等割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前均等割額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
53		算出額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前算出額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
54		限度超過額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前限度超過額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
55		所得金額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 変更前所得金額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
56		所得割率	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前所得割率 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
57		所得割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前所得割額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
58		均等割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前均等割額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
59		算出額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前算出額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"

業務	03. 保険料賦課		帳票名称		01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
60		限度超過額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前限度超過額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
61	保険料算定の基礎 2 下段	区分 4	●			決定内容によって文言マスターに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) "変更前" (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
62		医療分	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前所得割軽減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
63		均等割軽減割合	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前均等割軽減割合 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
64		均等割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前均等割軽減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
65		年保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前年保険料額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
66		月数	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前月数 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
67		月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前月割減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
68		保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前保険料額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
69	子ども分	所得割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前所得割軽減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"

業務	03. 保険料賦課		帳票名称	01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
通番	システム印字項目		実装項目	印字編集条件など	
		必須	オプション	不可	
70		均等割輕減割合	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前均等割輕減割合 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
71		均等割輕減額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前均等割輕減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
72		年保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前年保険料額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
73		月数	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前月数 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
74		月割減額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前月割減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
75		保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前保険料額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
76	保険料額タイトル2		●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること（以下の例は印字を打ち分けるのではなくユーザが運用に応じて設定） (印字例・・減免無し) ⑯保険料額※ (⑨+⑬-⑩-⑭) (印字例・・減免有り) ⑯保険料額※ (⑨+⑬-⑩-⑭-⑮)
77	保険料の端数処理		●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) ※100円未満切捨て
78	案内文3		●		文言マスタで、印字有無が「有」となっているかつ被用者保険の被扶養者軽減の場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療制度加入日の前日まで会社の健康保険など（国保・国保組合は除く）の被扶養者だった方は、加入月から2年を経過する月までの間、下の表に表示される金額が本年度分の保険料算定に含まれます。
79	減免額	減免額タイトル		●	文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) ⑯減免額
80	保険料算定の基礎 被扶養者軽減 上段	区分5	●		決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "決定" (印字例：賦課変更決定通知) "変更後" (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"

業務	03. 保険料賦課		帳票名称	01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
81	医療分	均等割額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の均等割額（被扶養者） (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の均等割額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
		均等割軽減割合	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の均等割軽減割合（被扶養者） (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の均等割軽減割合（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
		均等割軽減額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の均等割軽減額（被扶養者） (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の均等割軽減額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
		年保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の年保険料額（被扶養者） (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の年保険料額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
		月数	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の月数（被扶養者） (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の月数（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
		月割減額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の月割減額（被扶養者） (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の月割減額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
		子ども分	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の均等割額（被扶養者） (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の均等割額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
		均等割軽減割合	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の均等割軽減割合（被扶養者） (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の均等割軽減割合（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
		均等割軽減額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の均等割軽減額（被扶養者） (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の均等割軽減額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
		年保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の年保険料額（被扶養者） (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の年保険料額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*

業務	03. 保険料賦課		帳票名称		01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
通番	システム印字項目		実装項目		印字編集条件など	
		必須	オプション	不可		
91		月数	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の月数（被扶養者） (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の月数（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
92		月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の月割減額（被扶養者） (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の月割減額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
93	減免額	減免額		●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 減免額 (印字例：賦課変更決定通知) 減免額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
94	保険料算定の基礎 被扶養者軽減 下段	区分 6	●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) " " (印字例：賦課変更決定通知) "変更前" (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) " "
95	医療分	均等割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) " " (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前均等割額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) " "
96		均等割軽減割合	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) " " (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前均等割軽減割合（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) " "
97		均等割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) " " (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前均等割軽減額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) " "
98		年保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) " " (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前年保険料額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) " "
99		月数	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) " " (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前月数（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) " "
100		月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) " " (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前月割減額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) " "

業務	03. 保険料賦課		帳票名称	01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
通番	システム印字項目		実装項目	印字編集条件など	
		必須	オプション	不可	
101	子ども分	均等割額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前均等割額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
102		均等割軽減割合	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前均等割軽減割合（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
103		均等割軽減額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前均等割軽減額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
104		年保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前年保険料額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
105		月数	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前月数（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
106		月割減額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前月割減額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
107	減免額	減免額		●	決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 減免額 (印字例：賦課変更決定通知) 減免額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
108	タイトル2【相当年度】		●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） (印字例1：納入通知) [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 (印字例2：変更通知) [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 納入通知書 兼 特別徴収額変更・中止通知書
109	自治体の名称		●		パラメタにより出力有無を変更できること 自治体+首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
110	自治体の印		●		機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること 登録されている自治体の長（もしくは職務代理人）の公印
111	案内文4【相当年度】		●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） (印字例：納入通知) [相当年度]年度分の後期高齢者医療保険料額を次のとおり徴収することに決定しましたので通知します。 (印字例：変更通知) [相当年度]年度分の後期高齢者医療保険料額について次のとおり徴収額を変更しましたので通知します。
112	被保険者氏名		●		通番9と同じ内容を出力できること
113	被保険者番号		●		通番10と同じ内容を出力できること
114	徴収決定年月日		●		和暦表記

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
通番	システム印字項目	実装項目	印字編集条件など	
		必須	オプション	不可
115	自治体別保険料額タイトル	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) 自自治体に納付する保険料額（A）+（B）
116	自治体別保険料額	●		
117	決定(変更)理由	●		
118	案内文5 [保険料増減額]	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の例のように設定された文言を印字すること [保険料増減額] : システム印字項目 (印字例: 変更通知) 前回通知からの保険料額の差額は[保険料増減額]円です。
119	特別徴収割額 上段 ※【期別保険料額】 区分7-特別徴収列	区分7	●	決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例: 納入通知) "決定" (印字例: 変更通知) "変更後"
120	特徴1期保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 特徴1期保険料額 (変更通知) 特徴1期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"＊"を印字する。
121	特徴2期保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 特徴2期保険料額 (変更通知) 特徴2期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"＊"を印字する。
122	特徴3期保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 特徴3期保険料額 (変更通知) 特徴3期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"＊"を印字する。
123	特徴4期保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 特徴4期保険料額 (変更通知) 特徴4期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"＊"を印字する。
124	特徴5期保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 特徴5期保険料額 (変更通知) 特徴5期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"＊"を印字する。
125	特徴6期保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 特徴6期保険料額 (変更通知) 特徴6期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"＊"を印字する。
126	特徴合計額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 特徴保険料合計額 (変更通知) 特徴保険料合計額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"＊"を印字する。
127	特別徴収割額 下段 ※【期別保険料額】 区分8-特別徴収列	区分8	●	決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例: 納入通知) "＊" (印字例: 変更通知) "変更前"
128	特徴1期保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "＊" (変更通知) 変更前特徴1期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"＊"を印字する。
129	特徴2期保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "＊" (変更通知) 変更前特徴2期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"＊"を印字する。

業務	03. 保険料賦課		帳票名称	01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
通番	システム印字項目		実装項目	印字編集条件など	
		必須	オプション	不可	
130	特徴 3 期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "＊" (変更通知) 変更前特徴 3 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"＊"を印字する。
131		●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "＊" (変更通知) 変更前特徴 4 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"＊"を印字する。
132		●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "＊" (変更通知) 変更前特徴 5 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"＊"を印字する。
133		●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "＊" (変更通知) 変更前特徴 6 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"＊"を印字する。
134		●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "＊" (変更通知) 変更前特徴保険料合計額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"＊"を印字する。
135	案内文 6	●			本様式の場合、説明文への記載とする 文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) ◆世帯の構成や所得に変更が無い場合、翌年度の仮徴収額は2月（特徴6期）の金額と同額です。（仮徴収額…4/6/8月に仮で引き落とす予定の額を指します。）
136	納付方法タイトル 1	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) あなた様の納付方法は下記のとおりです。
137	備考（固定文言 1）	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 普通徴収分口座情報
138	納付方法 変更後	納付方法 2	●		変更後期割内容によって文言マスタに設定された以下の内容を印字すること (印字例：特徴のみ) "年金からの支払い（特徴）" (印字例：普徴のみ口座なし) "納付書払い（普徴）" (印字例：普徴のみ口座あり（全期振替の場合）) "口座振替（全期前納引落）（普徴）" (印字例：普徴のみ口座あり（期別振替の場合）) "口座振替（期別引落）（普徴）" (印字例：併徴かつ口座なし) "年金（特徴）と納付書（普徴）での支払い" (印字例：併徴かつ口座あり) "年金（特徴）と口座振替（普徴）での支払い"
139	特別徴収義務者		●		変更後期割内容によって以下の内容を印字すること (印字例：特徴期あり) 特別徴収義務者 (印字例：特徴期なし) "＊"
140		特別徴収対象年金	●		変更後期割内容によって以下の内容を印字すること (印字例：特徴期あり) 特別徴収対象年金 (印字例：特徴期なし) "＊"
141		特別徴収年金給付額	●		変更後期割内容によって以下の内容を印字すること (印字例：特徴期あり) 特別徴収年金給付額 (印字例：特徴期なし) "＊"
142		固定文言 3 + 編集 2	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること 口座番号は機能・帳票要件における口座番号マスク機能の要件に準じた出力内容とする (想定される印字項目) 金融機関名、支店名、口座名義人、口座種目、口座番号 等

業務	03. 保険料賦課	帳票名称			01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
143	案内文7〔発行年月日〕	●			本様式の場合、説明文への記載とする 文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること 〔発行年月日〕：システム印字項目（和暦表記） (印字例) ◆口座情報は、通知日（〔発行年月日〕）時点にご登録のある口座を記載しています。また、口座名義人は先頭から20文字を記載しています。◆特徴… 「特別徴収」年金から支払われます。普徴…「普通徴収」口座振替もしくは納付書のうち、納付方法に記載されている方法で支払われます。
144	普徴期1 タイトル	●			システム設定により、普徴開始期から以下の例のようにシステムにて編集した文言を普徴期1から印字すること (各市区町村の納期に応じてタイトルを設定（不要な箇所は空欄）できること) (印字例) 1期、2期、3期、4期、5期、6期、7期、8期、9期、10期、 11期、12期
145	普徴期2 タイトル	●			
146	普徴期3 タイトル	●			
147	普徴期4 タイトル	●			
148	普徴期5 タイトル	●			
149	普徴期6 タイトル	●			
150	普徴期7 タイトル	●			
151	普徴期8 タイトル	●			
152	普徴期9 タイトル	●			
153	普徴期10 タイトル	●			
154	普徴期11 タイトル	●			
155	普徴期12 タイトル	●			
156	普徴期13 タイトル（過年分）	●			相当年度が同一で、相当年度の4月～3月の納期に該当しない対象（出納閉鎖期間・過年度の増額賦課により作成）について、以下の例のように文言を印字すること (例1) 隨時 1期 (例2) 過年 1期 ※4つ以上の期別が発生した場合は、通知を複数頁（説明文の印刷頁を含まず）とする
157	普徴期14 タイトル（過年分）	●			
158	普徴期15 タイトル（過年分）	●			
159	納期限 普徴期1 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期1あり) 普通徴収期1納期限 (普通徴収期1なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期1 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
160	普徴期2 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期2あり) 普通徴収期2納期限 (普通徴収期2なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期2 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
161	普徴期3 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期3あり) 普通徴収期3納期限 (普通徴収期3なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期3 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
162	普徴期4 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期4あり) 普通徴収期4納期限 (普通徴収期4なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期4 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
163	普徴期5 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期5あり) 普通徴収期5納期限 (普通徴収期5なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期5 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
164	普徴期6 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期6あり) 普通徴収期6納期限 (普通徴収期6なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期6 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
165	普徴期7 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期7あり) 普通徴収期7納期限 (普通徴収期7なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期7 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
通番	システム印字項目	実装項目		印字編集条件など
		必須	オプション	不可
166	普徴期 8 納期限	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 8 あり) 普通徴収期 8 納期限 (普通徴収期 8 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 8 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
167	普徴期 9 納期限	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 9 あり) 普通徴収期 9 納期限 (普通徴収期 9 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 9 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
168	普徴期 10 納期限	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 10 あり) 普通徴収期 10 納期限 (普通徴収期 10 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 10 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
169	普徴期 11 納期限	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 11 あり) 普通徴収期 11 納期限 (普通徴収期 11 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 11 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
170	普徴期 12 納期限	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 12 あり) 普通徴収期 12 納期限 (普通徴収期 12 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 12 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
171	普徴期 13 納期限	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 13 あり) 普通徴収期 13 納期限 (普通徴収期 13 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 13 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
172	普徴期 14 納期限	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 14 あり) 普通徴収期 14 納期限 (普通徴収期 14 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 14 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
173	普徴期 15 納期限	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 15 あり) 普通徴収期 15 納期限 (普通徴収期 15 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 15 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
174	普通徴収期割額 上段 ※【期別保険料額】 区分 7 - 普通徴収列	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 1 保険料額 (変更通知) 普徴期 1 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
175	普徴期 2 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 2 保険料額 (変更通知) 普徴期 2 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 2 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
176	普徴期 3 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 3 保険料額 (変更通知) 普徴期 3 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 3 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
177	普徴期 4 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 4 保険料額 (変更通知) 普徴期 4 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 4 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
178	普徴期 5 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 5 保険料額 (変更通知) 普徴期 5 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 5 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
通番	システム印字項目	実装項目		印字編集条件など
		必須	オプション	不可
179	普徴期 6 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 6 保険料額 (変更通知) 普徴期 6 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 6 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
180	普徴期 7 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 7 保険料額 (変更通知) 普徴期 7 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 7 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
181	普徴期 8 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 8 保険料額 (変更通知) 普徴期 8 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 8 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
182	普徴期 9 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 9 保険料額 (変更通知) 普徴期 9 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 9 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
183	普徴期 10 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 10 保険料額 (変更通知) 普徴期 10 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 10 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
184	普徴期 11 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 11 保険料額 (変更通知) 普徴期 11 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 11 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
185	普徴期 12 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 12 保険料額 (変更通知) 普徴期 12 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 12 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
186	普徴期 13 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 13 保険料額 (変更通知) 普徴期 13 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 13 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
187	普徴期 14 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 14 保険料額 (変更通知) 普徴期 14 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 14 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
188	普徴期 15 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 15 保険料額 (変更通知) 普徴期 15 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 15 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
189	普徴合計額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴保険料合計額 (変更通知) 普徴保険料合計額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。
190	普通徴収割額 下段 ※【期別保険料額】 区分 8 - 普通徴収列	普徴期 1 保険料額	●	決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) “*” (変更通知) 変更前普徴期 1 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する。
191	普徴期 2 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) “*” (変更通知) 変更前普徴期 2 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 2 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する。

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
通番	システム印字項目	実装項目	印字編集条件など	
		必須	オプション	不可
192	普徴期 3 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "＊" (変更通知) 変更前普徴期 3 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 3 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する。
193	普徴期 4 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "＊" (変更通知) 変更前普徴期 4 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 4 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する。
194	普徴期 5 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "＊" (変更通知) 変更前普徴期 5 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 5 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する。
195	普徴期 6 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "＊" (変更通知) 変更前普徴期 6 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 6 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する。
196	普徴期 7 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "＊" (変更通知) 変更前普徴期 7 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 7 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する。
197	普徴期 8 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "＊" (変更通知) 変更前普徴期 8 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 8 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する。
198	普徴期 9 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "＊" (変更通知) 変更前普徴期 9 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 9 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する。
199	普徴期 10 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "＊" (変更通知) 変更前普徴期 10 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 10 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する。
200	普徴期 11 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "＊" (変更通知) 変更前普徴期 11 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 11 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する。
201	普徴期 12 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "＊" (変更通知) 変更前普徴期 12 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 12 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する。
202	普徴期 13 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "＊" (変更通知) 変更前普徴通常期 13 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 13 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する。
203	普徴期 14 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "＊" (変更通知) 変更前普徴通常期 14 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 14 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する。
204	普徴期 15 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "＊" (変更通知) 変更前普徴通常期 15 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 15 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する。

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
通番	システム印字項目	実装項目	印字編集条件など	
		必須	オプション	不可
205	普徴合計額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "＊" (変更通知) 変更前普徴保険料合計額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"＊"を印字する。
206	案内文8	●		本様式の場合、説明文への記載とする 文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) ◆納期限は各月末日です。（金融機関が休みのときは、翌営業日）。なお、口座振替は納期限が引落し日になります。
207	案内文9	●		本様式の場合、説明文への記載とする 文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) ◆区分に「過年」の記載がある場合は、お支払いいただく年度が過ぎて保険料が決定した分です。
208	ページ数	●		最終ページ（説明文の印刷ページ）を含むページ数
209	総ページ数	●		最終ページ（説明文の印刷ページ）を含む総ページ数
210	説明文	●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、通知書の最終頁としてA3様式の説明文に設定される文言を印字すること (※案内文6～9はA4様式の場合は説明文への記載とする)

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】	
通番	システム印字項目	実装項目	印字編集条件など		
		必須	オプション	不可	
1	タイトル1【相当年度】	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の例のように設定された文言を印字すること 【相当年度】：システム印字項目（和暦表記） （印字例1：賦課決定通知） 【相当年度】年度 後期高齢者医療保険料額 決定通知書 （印字例2：賦課変更決定通知） 【相当年度】年度 後期高齢者医療保険料額 変更決定通知書
2	通知書番号	●			先頭に”通知書番号：“を付与すること
3	発行年月日	●			和暦表記 先頭に”発行年月日：“を付与すること
4	窓あき宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
5	郵便還付先		●		パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名+郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号+全角スペース+郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
6	被保険者氏名	●			
7	被保険者番号	●			
8	性別	●			被保険者の性別
9	生年月日	●			被保険者の生年月日
10	住所	●			被保険者の住所 住所+全角スペース+方書
11	案内文1【相当年度】	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の例のように設定された文言を印字すること 【相当年度】：システム印字項目（和暦表記） （印字例：賦課決定通知、賦課変更決定通知） 【相当年度】年度分の後期高齢者医療保険料額を次のとおり決定（変更）しましたので通知します。
12	広域連合の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 広域連合+広域連合長名 広域連合名の出力有無を変更できること 広域連合長名は機能・帳票要件（広域連合長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
13	広域連合の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること 広域連合長の公印を出力する（年額通知部分のため）
14	決定年月日	●			和暦表記 決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 決定年月日 （印字例：賦課変更決定通知） 決定年月日 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
15	保険料額タイトル1	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること（以下の例は印字を打ち分けるのではなくユーザが運用に応じて設定） （印字例・・減免無し） ⑯保険料額 （印字例・・減免有り） ⑰保険料額
16	保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 保険料額 （印字例：賦課変更決定通知） 保険料額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
17	決定（変更）理由	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 決定理由 （印字例：賦課変更決定通知） 変更理由 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
18	案内文2【広域連合】[都道府県]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること 【広域連合】：システム印字項目 【都道府県】：システム印字項目 （印字例） ※保険料額は、【広域連合】内においての保険料額です。このため【都道府県】内で転居された方は原則として複数の市区町村にお支払いいただくことになります。
19	算定基礎タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） 保険料計算の内訳（計算方法は裏面をご覧ください）

業務	03. 保険料賦課		帳票名称		01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
通番	システム印字項目		実装項目		印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
20	保険料算定の基礎 1 上段	区分 1	●		決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "決定" (印字例：賦課変更決定通知) "変更後" (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
21	医療分	所得金額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 所得金額 (印字例：賦課変更決定通知) 所得金額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
22		所得割率	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の所得割率 (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の所得割率 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
23		所得割額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の所得割額 (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の所得割額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
24		均等割額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の均等割額 (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の均等割額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
25		算出額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の算出額 (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の算出額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
26		限度超過額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の限度超過額 (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の限度超過額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
27	子ども分	所得金額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 所得金額 (印字例：賦課変更決定通知) 所得金額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
28		所得割率	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の所得割率 (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の所得割率 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
29		所得割額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の所得割額 (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の所得割額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"

業務	03. 保険料賦課		帳票名称		01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
通番	システム印字項目		実装項目		印字編集条件など	
		必須	オプション	不可		
30	均等割額 算出額 限度超過額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の均等割額 (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の均等割額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"	
31		●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の算出額 (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の算出額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"	
32		●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の限度超過額 (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の限度超過額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"	
33	保険料算定の基礎 2 上段	区分 3		●	決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "決定" (印字例：賦課変更決定通知) "変更後" (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"	
34	医療分 所得割軽減額 均等割軽減割合 均等割軽減額 年保険料額 月数 月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の所得割軽減額 (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の所得割軽減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"	
35		●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の均等割軽減割合 (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の均等割軽減割合 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"	
36		●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の均等割軽減額 (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の均等割軽減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"	
37	年保険料額 月数 月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の年間保険料額 (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の年間保険料額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"	
38		●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の月数 (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の月数 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"	
39		●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の月割減額 (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の月割減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"	

業務	03. 保険料賦課		帳票名称		01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
通番	システム印字項目		実装項目		印字編集条件など	
			必須	オプション	不可	
40	保険料額 所得割軽減額 均等割軽減割合 均等割軽減額 年保険料額 月数 月割減額 保険料額	子ども分	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の保険料額 (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の保険料額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
41		所得割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の所得割軽減額 (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の所得割軽減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
42		均等割軽減割合	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の均等割軽減割合 (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の均等割軽減割合 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
43		均等割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の均等割軽減額 (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の均等割軽減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
44		年保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の年間保険料額 (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の年間保険料額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
45		月数	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の月数 (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の月数 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
46		月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の月割減額 (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の月割減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
47		保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の保険料額 (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の保険料額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
48	保険料算定の基礎 1 下段	区分 2	●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*(印字例：賦課変更決定通知) "変更前" (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
49	医療分	所得金額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*(印字例：賦課変更決定通知) 変更前所得金額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*

業務	03. 保険料賦課		帳票名称		01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
通番	システム印字項目		実装項目		印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
50	所得割率 所得割額 均等割額 算出額 限度超過額 子ども分 所得金額 所得割率 所得割額 均等割額 算出額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前所得割率 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
51		●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前所得割額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
52		●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前均等割額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
53		●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前算出額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
54		●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前限度超過額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
55		●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 変更前所得金額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
56		●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前所得割率 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
57		●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前所得割額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
58		●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前均等割額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
59		●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前算出額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"

業務	03. 保険料賦課		帳票名称		01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
通番	システム印字項目		実装項目		印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
60		限度超過額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前限度超過額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
61	保険料算定の基礎 2 下段	区分 4	●		決定内容によって文言マスターに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) "変更前" (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
62	医療分	所得割軽減額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前所得割軽減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
63		均等割軽減割合	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前均等割軽減割合 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
64		均等割軽減額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前均等割軽減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
65		年保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前年保険料額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
66		月数	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前月数 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
67		月割減額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前月割減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
68		保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前保険料額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
69	子ども分	所得割軽減額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前所得割軽減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"

業務	03. 保険料賦課		帳票名称		01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
通番	システム印字項目		実装項目		印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
70		均等割輕減割合	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前均等割輕減割合 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
71		均等割輕減額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前均等割輕減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
72		年保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前年保険料額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
73		月数	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前月数 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
74		月割減額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前月割減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
75		保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前保険料額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
76	保険料額タイトル 2		●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること（以下の例は印字を打ち分けるのではなくユーザが運用に応じて設定） (印字例・・減免無し) ⑯保険料額※ (⑨+⑬-⑩-⑭) (印字例・・減免有り) ⑯保険料額※ (⑨+⑬-⑩-⑭-⑮)
77	保険料の端数処理		●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) ※100円未満切捨て
78	案内文 3		●		文言マスタで、印字有無が「有」となっているかつ被用者保険の被扶養者軽減の場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例：賦課決定通知（併徵）、賦課変更決定通知) 後期高齢者医療制度加入日の前日まで会社の健康保険など（国保・国保組合は除く）の被扶養者だった方は、加入月から2年を経過する月までの間、下の表に表示される金額が本年度分の保険料算定に含まれます。 (印字例：賦課決定通知（特徵、普徵）) 後期高齢者医療制度加入日の前日まで会社の健康保険など（国保・国保組合は除く）の被扶養者だった方は、加入月から2年を経過する月までの間、右上の表に表示される金額が本年度分の保険料算定に含まれます。
79	減免額	減免額タイトル		●	文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) ⑯減免額
80	保険料算定の基礎 被扶養者軽減 上段	区分 5	●		決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "決定" (印字例：賦課変更決定通知) "変更後" (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"

業務	03. 保険料賦課		帳票名称	01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
通番	システム印字項目		実装項目	印字編集条件など	
		必須	オプション	不可	
81	医療分	均等割額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の均等割額（被扶養者） (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の均等割額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
82		均等割軽減割合	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の均等割軽減割合（被扶養者） (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の均等割軽減割合（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
83		均等割軽減額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の均等割軽減額（被扶養者） (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の均等割軽減額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
84		年保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の年保険料額（被扶養者） (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の年保険料額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
85		月数	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の月数（被扶養者） (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の月数（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
86		月割減額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の月割減額（被扶養者） (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の月割減額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
87		子ども分	均等割額	●	決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の均等割額（被扶養者） (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の均等割額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
88			均等割軽減割合	●	決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の均等割軽減割合（被扶養者） (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の均等割軽減割合（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
89			均等割軽減額	●	決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の均等割軽減額（被扶養者） (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の均等割軽減額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
90			年保険料額	●	決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の年保険料額（被扶養者） (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の年保険料額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*

業務	03. 保険料賦課		帳票名称		01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
通番	システム印字項目		実装項目		印字編集条件など	
		必須	オプション	不可		
91		月数	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の月数（被扶養者） (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の月数（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
92		月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の月割減額（被扶養者） (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の月割減額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
93	減免額	減免額		●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 減免額 (印字例：賦課変更決定通知) 減免額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
94	保険料算定の基礎 被扶養者軽減 下段	区分 6	●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) " " (印字例：賦課変更決定通知) "変更前" (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
95	医療分	均等割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) " " (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前均等割額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
96		均等割軽減割合	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) " " (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前均等割軽減割合（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
97		均等割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) " " (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前均等割軽減額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
98		年保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) " " (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前年保険料額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
99		月数	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) " " (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前月数（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*
100		月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) " " (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前月割減額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*

業務	03. 保険料賦課		帳票名称	01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
通番	システム印字項目		実装項目	印字編集条件など	
		必須	オプション	不可	
101	子ども分	均等割額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前均等割額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
102		均等割軽減割合	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前均等割軽減割合（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
103		均等割軽減額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前均等割軽減額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
104		年保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前年保険料額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
105		月数	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前月数（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
106		月割減額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "＊" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前月割減額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
107	減免額	減免額		●	決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 減免額 (印字例：賦課変更決定通知) 減免額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "＊"
108	タイトル2【相当年度】		●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） (印字例1：納入通知（特徴）) [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 (印字例2：納入通知（普徴）) [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 納入通知書 兼 普通徴収開始通知書 (印字例3：納入通知（併徴）、変更通知) [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 紳入通知書 兼 特別徴収額変更・中止通知書
109	案内文4【相当年度】		●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） (印字例：納入通知) [相当年度]年度分の後期高齢者医療保険料額を次のとおり徴収することに決定しましたので通知します。 (印字例：変更通知) [相当年度]年度分の後期高齢者医療保険料額について次のとおり徴収額を変更しましたので通知します。 (印字例：中止通知) [相当年度]年度分の後期高齢者医療保険料額について次のとおり徴収額を変更、特別徴収を中止しましたので通知します。

業務	03. 保険料賦課	帳票名称			01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
110	自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体+首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
111	自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること 登録されている自治体の長（もしくは職務代理人）の公印
112	徴収決定年月日	●			和暦表記
113	自治体別保険料額タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例：納入通知（特徴・普徴）) 市区町村に納付する保険料額 (印字例：納入通知（併徴）、変更通知) 市区町村に納付する保険料額（A）+（B）
114	自治体別保険料額	●			
115	決定（変更）理由	●			
116	案内文5【保険料増減額】	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の例のように設定された文言を印字すること 【保険料増減額】：システム印字項目 (印字例：変更通知) 前回通知からの保険料額の差額は【保険料増減額】円です。
117	納付方法タイトル1	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) あなた様の納付方法は下記のとおりです。
118	納付方法タイトル2	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) 変更前
119	納付方法タイトル3	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) 変更後
120	特別徴収期割額タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) 年金からのお支払い金額（隔月）：特別徴収
121	特徴合計タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例：納入通知（特徴・普徴）) 合計額 (印字例：納入通知（併徴）、変更通知) (A) 合計額
122	特別徴収期割額上段	区分7	●		決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例：納入通知) "決定" (印字例：変更通知) "変更後"
123	特徴1期保険料額		●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 特徴1期保険料額 (変更通知) 特徴1期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。
124	特徴2期保険料額		●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 特徴2期保険料額 (変更通知) 特徴2期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。
125	特徴3期保険料額		●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 特徴3期保険料額 (変更通知) 特徴3期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。
126	特徴4期保険料額		●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 特徴4期保険料額 (変更通知) 特徴4期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。
127	特徴5期保険料額		●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 特徴5期保険料額 (変更通知) 特徴5期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
通番	システム印字項目	実装項目		印字編集条件など
		必須	オプション	不可
128	特徴 6 期保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 特徴 6 期保険料額 (変更通知) 特徴 6 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。
129	特徴合計額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 特徴保険料合計額 (変更通知) 特徴保険料合計額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。
130	特別徴収期割額 下段	区分 8	●	決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例：納入通知) “*” (印字例：変更通知) “変更前”
131	特徴 1 期保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) “*” (変更通知) 変更前特徴 1 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。
132	特徴 2 期保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) “*” (変更通知) 変更前特徴 2 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。
133	特徴 3 期保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) “*” (変更通知) 変更前特徴 3 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。
134	特徴 4 期保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) “*” (変更通知) 変更前特徴 4 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。
135	特徴 5 期保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) “*” (変更通知) 変更前特徴 5 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。
136	特徴 6 期保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) “*” (変更通知) 変更前特徴 6 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。
137	特徴合計額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) “*” (変更通知) 変更前特徴保険料合計額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。
138	案内文 6	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) ◆世帯の構成や所得に変更が無い場合、翌年度の仮徴収額は2月（特徴6期）の金額と同額です。（仮徴収額…4/6/8月に仮で引き落とす予定の額を指します。）
139	備考（固定文言 1）	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 対象の口座情報

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】	
通番	システム印字項目	実装項目		印字編集条件など	
		必須	オプション	不可	
140	納付方法 変更前	納付方法 1	●		変更前期割内容によって文言マスタに設定された以下の内容を印字すること (印字例：特徴のみ) "年金からの支払い（特徴）" (印字例：普徴のみ口座なし) "納付書払い（普徴）" (印字例：普徴のみ口座あり（全期振替の場合）) "口座振替（全期前納引落）（普徴）" (印字例：普徴のみ口座あり（期別振替の場合）) "口座振替（期別引落）（普徴）" (印字例：併徴かつ口座なし) "年金（特徴）と納付書（普徴）での支払い" (印字例：併徴かつ口座あり) "年金（特徴）と口座振替（普徴）での支払い"
141		特別徴収義務者	●		変更前期割内容によって以下の内容を印字すること (印字例：特徴期あり) 特別徴収義務者 (印字例：特徴期なし) "*
142		特別徴収対象年金	●		変更前期割内容によって以下の内容を印字すること (印字例：特徴期あり) 特別徴収対象年金 (印字例：特徴期なし) "*
143		特別徴収年金給付額	●		変更前期割内容によって以下の内容を印字すること (印字例：特徴期あり) 特別徴収年金給付額 (印字例：特徴期なし) "*
144		固定文言 2 + 編集 1	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること 口座番号は機能・帳票要件における口座番号マスク機能の要件に準じた出力内容とする (想定される印字項目) 金融機関名、支店名、口座名義人、口座種目、口座番号 等
145	納付方法 変更後	納付方法 2	●		変更後期割内容によって文言マスタに設定された以下の内容を印字すること (印字例：特徴のみ) "年金からの支払い（特徴）" (印字例：普徴のみ口座なし) "納付書払い（普徴）" (印字例：普徴のみ口座あり（全期振替の場合）) "口座振替（全期前納引落）（普徴）" (印字例：普徴のみ口座あり（期別振替の場合）) "口座振替（期別引落）（普徴）" (印字例：併徴かつ口座なし) "年金（特徴）と納付書（普徴）での支払い" (印字例：併徴かつ口座あり) "年金（特徴）と口座振替（普徴）での支払い"
146		特別徴収義務者	●		変更後期割内容によって以下の内容を印字すること (印字例：特徴期あり) 特別徴収義務者 (印字例：特徴期なし) "*
147		特別徴収対象年金	●		変更後期割内容によって以下の内容を印字すること (印字例：特徴期あり) 特別徴収対象年金 (印字例：特徴期なし) "*
148		特別徴収年金給付額	●		変更後期割内容によって以下の内容を印字すること (印字例：特徴期あり) 特別徴収年金給付額 (印字例：特徴期なし) "*
149		固定文言 3 + 編集 2	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること 口座番号は機能・帳票要件における口座番号マスク機能の要件に準じた出力内容とする (想定される印字項目) 金融機関名、支店名、口座名義人、口座種目、口座番号 等
150	案内文 7 [発行年月日]		●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること [発行年月日] : システム印字項目（和暦表記） (印字例：納入通知（普徴）) ◆口座情報は、通知日（[発行年月日]）時点にご登録のある口座を記載しています。また、口座名義人は先頭から 20 文字を記載しています。 (印字例：納入通知（併徴）、変更通知) ◆口座情報は、通知日（[発行年月日]）時点にご登録のある口座を記載しています。また、口座名義人は先頭から 20 文字を記載しています。◆特徴…「特別徴収」年金から支払われます。普徴…「普通徴収」口座振替もしくは納付書のうち、納付方法に記載されている方法で支払われます。

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
通番	システム印字項目	実装項目	印字編集条件など	
		必須	オプション	不可
151	普通徴収期割額タイトル	●		
152	普徴期 1 タイトル	●		
153	普徴期 2 タイトル	●		
154	普徴期 3 タイトル	●		
155	普徴期 4 タイトル	●		
156	普徴期 5 タイトル	●		
157	普徴期 6 タイトル	●		
158	普徴期 7 タイトル	●		
159	普徴期 8 タイトル	●		
160	普徴期 9 タイトル	●		
161	普徴期 10 タイトル	●		
162	普徴期 11 タイトル	●		
163	普徴期 12 タイトル	●		
164	普徴期 13 タイトル（過年分）	●		
165	普徴期 14 タイトル（過年分）	●		
166	普徴合計タイトル	●		
167	納期限 普徴期 1 納期限	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 1 あり) 普通徴収期 1 納期限 (普通徴収期 1 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 1 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
168	普徴期 2 納期限	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 2 あり) 普通徴収期 2 納期限 (普通徴収期 2 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 2 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
169	普徴期 3 納期限	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 3 あり) 普通徴収期 3 納期限 (普通徴収期 3 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 3 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
170	普徴期 4 納期限	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 4 あり) 普通徴収期 4 納期限 (普通徴収期 4 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 4 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
171	普徴期 5 納期限	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 5 あり) 普通徴収期 5 納期限 (普通徴収期 5 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 5 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
通番	システム印字項目	実装項目		印字編集条件など
		必須	オプション	不可
172	普徴期 6 納期限	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 6 あり) 普通徴収期 6 納期限 (普通徴収期 6 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 6 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
173	普徴期 7 納期限	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 7 あり) 普通徴収期 7 納期限 (普通徴収期 7 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 7 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
174	普徴期 8 納期限	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 8 あり) 普通徴収期 8 納期限 (普通徴収期 8 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 8 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
175	普徴期 9 納期限	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 9 あり) 普通徴収期 9 納期限 (普通徴収期 9 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 9 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
176	普徴期 10 納期限	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 10 あり) 普通徴収期 10 納期限 (普通徴収期 10 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 10 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
177	普徴期 11 納期限	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 11 あり) 普通徴収期 11 納期限 (普通徴収期 11 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 11 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
178	普徴期 12 納期限	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 12 あり) 普通徴収期 12 納期限 (普通徴収期 12 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 12 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
179	普徴期 13 納期限	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 13 あり) 普通徴収期 13 納期限 (普通徴収期 13 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 13 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
180	普徴期 14 納期限	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 14 あり) 普通徴収期 14 納期限 (普通徴収期 14 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 14 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
181	普通徴収期割額 1 上段 区分 9	●		決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例：納入通知) "決定" (印字例：変更通知) "変更後"
182	普徴期 1 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 1 保険料額 (変更通知) 普徴期 1 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
183	普徴期 2 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 2 保険料額 (変更通知) 普徴期 2 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 2 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
184	普徴期 3 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 3 保険料額 (変更通知) 普徴期 3 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 3 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】	
通番	システム印字項目	実装項目		印字編集条件など	
		必須	オプション	不可	
185	普徴期 4 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 4 保険料額 (変更通知) 普徴期 4 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 4 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
186		●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 5 保険料額 (変更通知) 普徴期 5 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 5 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
187	普通徴収期割額 2 上段	区分 1 1	●		決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例：納入通知) "決定" (印字例：変更通知) "変更後"
188		普徴期 6 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 6 保険料額 (変更通知) 普徴期 6 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 6 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
189		普徴期 7 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 7 保険料額 (変更通知) 普徴期 7 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 7 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
190		普徴期 8 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 8 保険料額 (変更通知) 普徴期 8 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 8 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
191		普徴期 9 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 9 保険料額 (変更通知) 普徴期 9 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 9 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
192		普徴期 1 0 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 1 0 保険料額 (変更通知) 普徴期 1 0 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 0 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
193	普通徴収期割額 3 上段	区分 1 3	●		決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例：納入通知) "決定" (印字例：変更通知) "変更後"
194		普徴期 1 1 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 1 1 保険料額 (変更通知) 普徴期 1 1 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 1 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
195		普徴期 1 2 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 1 2 保険料額 (変更通知) 普徴期 1 2 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 2 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
196		普徴期 1 3 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 1 3 保険料額 (変更通知) 普徴期 1 3 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 3 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
197		普徴期 1 4 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 1 4 保険料額 (変更通知) 普徴期 1 4 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 4 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。

業務	03. 保険料賦課		帳票名称	01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
通番	システム印字項目		実装項目	印字編集条件など	
			必須	オプション	不可
198		普徴合計額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴保険料合計額 (変更通知) 普徴保険料合計額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。
199	普通徴収期割額 1 下段	区分 1 0	●		決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された以下の内容を印字すること (印字例：納入通知) “*” (印字例：変更通知) “変更前”
200		普徴期 1 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) “*” (変更通知) 変更前普徴期 1 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する。
201		普徴期 2 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) “*” (変更通知) 変更前普徴期 2 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 2 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する。
202		普徴期 3 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) “*” (変更通知) 変更前普徴期 3 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 3 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する。
203		普徴期 4 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) “*” (変更通知) 変更前普徴期 4 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 4 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する。
204		普徴期 5 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) “*” (変更通知) 変更前普徴期 5 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 5 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する。
205	普通徴収期割額 2 下段	区分 1 2	●		決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された以下の内容を印字すること (印字例：納入通知) “*” (印字例：変更通知) “変更前”
206		普徴期 6 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) “*” (変更通知) 変更前普徴期 6 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 6 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する。
207		普徴期 7 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) “*” (変更通知) 変更前普徴期 7 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 7 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する。
208		普徴期 8 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) “*” (変更通知) 変更前普徴期 8 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 8 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する。
209		普徴期 9 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) “*” (変更通知) 変更前普徴期 9 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 9 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する。
210		普徴期 1 0 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) “*” (変更通知) 変更前普徴期 1 0 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 0 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する。

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】	
通番	システム印字項目	実装項目	印字編集条件など		
		必須	オプション	不可	
211	普通徴収期割額3 下段	区分1 4	●		決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された以下の内容を印字すること (印字例：納入通知) "＊" (印字例：変更通知) "変更前"
212		普徴期1 1 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "＊" (変更通知) 変更前普徴期1 1 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期1 1 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する。
213		普徴期1 2 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "＊" (変更通知) 変更前普徴期1 2 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期1 2 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する。
214		普徴期1 3 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "＊" (変更通知) 変更前普徴通常期1 3 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期1 3 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する。
215		普徴期1 4 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "＊" (変更通知) 変更前普徴通常期1 4 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期1 4 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する。
216		普徴合計額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "＊" (変更通知) 変更前普徴保険料合計額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"＊"を印字する。
217	案内文8		●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) ◆納期限は各月末日です。（金融機関が休みのときは、翌営業日）。なお、口座振替は納期限が引落し日になります。
218	案内文9		●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) ◆「過年」の記載がある場合は、お支払いいただく年度が過ぎて保険料が決定した分です。
219	ページ数	●			最終ページを含むページ数
220	総ページ数	●			最終ページを含む総ページ数
221	説明文	保険料の計算方法タイトル	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) 保険料の計算方法
222		保険料の計算方法本文	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること なお、可変項目については広域標準システムにおける印字編集条件に準ずることとし、下記記載項目を参考に年度によって出力する文言を設定できること 記載項目 ・算定の根拠となる法令、条例及び賦課期日 ・保険料算出の方法 ・保険料率（額） ・月割の算定方法 ・軽減の算定方法 ・旧被扶養者に対する軽減について 等
223		審査請求タイトル	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) 審査請求及び取消の訴え

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
通番	システム印字項目	実装項目	印字編集条件など	
		必須	オプション	不可
224	審査請求本文[不服申立先担当部署名][不服申立先担当自治体名]	●		<p>文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [不服申立先担当部署名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（例：後期高齢者医療審査会名等を設定） [不服申立先担当自治体名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（提起先組織名。例：後期高齢者医療広域連合名等を設定）</p> <p>（不服申立の印字例） この通知について不服があるときは、この通知書を受け取った日の翌日から起算して3か月以内に[不服申立先担当部署名]に対し審査請求をすることができます。また、この処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決書を受け取った日の翌日から起算して6か月以内に[不服申立先担当自治体名]を被告として提起することができます。 なお、処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決を経た後（次の1から3までのいずれかに該当するときを除く。）でなければ提起することができます。 1 審査請求があつた日から3か月を経過しても裁決がないとき。 2 処分、処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき。 3 その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき。</p>
225	問い合わせ先タイトル1	●		<p>文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） お問い合わせ先</p>
226	問い合わせ先案内文1	●		<p>文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） 下記に記載の各お問い合わせ先へご連絡ください。</p>
227	問い合わせ先タイトル2	●		<p>文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） 保険料額についてのお問い合わせ先</p>
228	問い合わせ先案内文2[タイトル1]	●		<p>文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること [タイトル1]：システム印字項目 （印字例） [タイトル1]に関するお問い合わせはこちらへご連絡ください。例：決定された年間の保険料額について 等</p>
229	担当部署名1	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名
230	担当部署住所1	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 〒+郵便番号+全角スペース+住所
231	担当部署電話番号1	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定
232	担当部署FAX番号1	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
233	担当部署メール1		●	マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること
234	問い合わせ先タイトル3	●		<p>文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例：納入通知（特徴）） 特別徴収についてのお問い合わせ先 （印字例：納入通知（普徴）） 普通徴収についてのお問い合わせ先 （印字例：納入通知（併徴）、変更通知） 特別徴収・普通徴収についてのお問い合わせ先</p>
235	問い合わせ先案内文3[タイトル2]	●		<p>文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること [タイトル2]：システム印字項目 （印字例） [タイトル2]に関するお問い合わせはこちらへご連絡ください。例：還付、納付のご相談 等</p>
236	担当部署名2	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名
237	担当部署住所2	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 〒+郵便番号+全角スペース+住所
238	担当部署電話番号2	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定
239	担当部署FAX番号2	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
240	担当部署メール2		●	マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること
241	説明文自由領域	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （想定される印字内容） 普通徴収（納付書払い）の場合の納入場所、問い合わせ先

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	02 後期高齢者医療暫定保険料額決定通知書 兼 納入通知書		
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	通知書番号	●			
2	発行年月日	●			和暦表記
3	窓あき宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
4	広域連合の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 広域連合+広域連合長名 広域連合名の出力有無を変更できること 広域連合長名は機能・帳票要件（広域連合長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
5	広域連合の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること 広域連合長の公印を出力する
6	郵便還付先		●		パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名+郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号+全角スペース+郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
7	タイトル1	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) 後期高齢者医療暫定保険料額決定通知書
8	案内文1〔相当年度〕	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること 〔相当年度〕：システム印字項目（和暦表記） (印字例) ※〔相当年度〕年度分の後期高齢者医療保険料額を次のとおり決定しましたので通知します。
9	被保険者氏名	●			
10	被保険者番号	●			
11	決定年月日	●			和暦表記
12	決定理由	●			
13	暫定保険料額	●			
14	算定基礎タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) 保険料算定の基礎（算定方法は次紙をご覧ください）
15	前年度保険料額	●			
16	暫定期数	●			
17	年間期数	●			
18	暫定保険料額	●			
19	案内文2	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること なお、可変項目については広域標準システムにおける印字編集条件に準ずることとする (印字例) ＊ 後期高齢者医療保険料は、高齢者の医療の確保に関する法律及び4XXX後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の規定によって、2X2X年2X月2X日現在の後期高齢者医療の被保険者に対して賦課されたものです。
20	タイトル2〔相当年度〕	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること 〔相当年度〕：システム印字項目（和暦表記） (印字例) 〔相当年度〕年度 後期高齢者医療保険料 納入通知書
21	自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体+首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
22	自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること 登録されている自治体の長（もしくは職務代理人）の公印
23	案内文3〔相当年度〕	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること 〔相当年度〕：システム印字項目（和暦表記） (印字例) 〔相当年度〕年度分の後期高齢者医療保険料額を次のとおり徴収することに決定しましたので通知します。
24	決定理由	●			
25	徴収決定年月日	●			和暦表記
26	自治体別保険料額タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) 自自治体に納付する保険料額
27	自治体別保険料額	●			
28	納付方法タイトル1	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) あなたの納付方法は下記のとおりです。
29	納付方法	納付方法	●		決定後期割内容によって文言マスタに設定された以下の内容を印字すること (印字例：口座なし) "納付書払い" (印字例：口座あり(全期振替の場合)) "口座振替(全期前納引落)" (印字例：口座あり(期別振替の場合)) "口座振替(期別引落)"

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課		帳票名称	02 後期高齢者医療暫定保険料額決定通知書 兼 納入通知書	
通番	システム印字項目		実装項目		印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
30	システム印字項目	備考 (固定文言 1)	●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 普通徴収分口座情報
31		固定文言 2 + 編集 1	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること 口座番号は機能・帳票要件における口座番号マスク機能の要件に準じた出力内容とする (想定される印字項目) 金融機関名、支店名、口座名義人、口座種目、口座番号 等
32	期別保険料額	普徴期 1 タイトル	●		システム設定により、普徴開始期から以下の一例のようシステムにて編集した文言を普徴期 1 から印字すること (各市区町村の納期に応じてタイトルを設定(不要な箇所は空欄)できること) (印字例) 1期、2期、3期
33		普徴期 2 タイトル	●		
34		普徴期 3 タイトル	●		
35		普徴期 1 保険料額	●		普徴期 1 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
36		普徴期 2 保険料額	●		普徴期 2 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 2 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
37		普徴期 3 保険料額	●		普徴期 3 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 3 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
38		普徴期 1 納期限	●		普通徴収期 1 納期限 ※出力対象の納期限は普徴期 1 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
39		普徴期 2 納期限	●		普通徴収期 2 紳期限 ※出力対象の納期限は普徴期 2 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
40		普徴期 3 紳期限	●		普通徴収期 3 紳期限 ※出力対象の納期限は普徴期 3 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
41		合計額	●		普徴保険料合計額
42	案内文 4		●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) ◆本年度の確定後の保険料は、7月中旬にあらためて通知します。 ◆口座情報は、通知日時点にご登録のある口座を記載しています。また、口座名義人は先頭から 20 文字を記載しています。 ◆納期限は各月末日です。(金融機関が休みのときは、翌営業日)。なお、口座振替は納期限が引落し日になります。 ◆下記問い合わせ先は保険料額についての問い合わせ先となります。保険料のお支払い方法、還付、納付相談については、裏面に記載の問い合わせ先にご連絡ください。 その他の各種お手続きについても次紙に記載の各問い合わせ先へご連絡ください。
43	問い合わせ先	担当部署名	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 市区町村名 + 部署名
44		担当部署住所	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 郵便番号 + 全角スペース + 住所
45		担当部署電話番号	●		マスター管理している問合せ先情報を設定
46		担当部署FAX番号	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 バラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
47		担当部署メール		●	マスター管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること
48	説明文 1		●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [不服申立先担当部署名] : システム印字項目 (マスター管理している不服申立先情報を設定 (例: 後期高齢者医療審査会名等を設定)) [不服申立先担当自治体名] : システム印字項目 (マスター管理している不服申立先情報を設定 (提起先組織名。例: 後期高齢者医療広域連合名等を設定)) (想定される印字内容) 普通徴収 (納付書払い) の場合の納入場所、問い合わせ先、不服申立および取消訴訟 等 (不服申し立ての印字例) 不服の申立 この通知について不服があるときは、この通知書を受け取った日の翌日から起算して 3か月以内に[不服申立先担当部署名]に対し審査請求することができます。また、この処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決書を受け取った日の翌日から起算して 6か月以内に[不服申立先担当自治体名]を被告として提起することができます。 なお、処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決を経た後 (次の 1 から 3 までのいずれかに該当するときを除く。) でなければ提起することができないことをされています。 1 審査請求があった日から 3か月を経過しても裁決がないとき。 2 処分、処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき。 3 その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき。

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称			03 保険料額決定通知書 兼 特別徴収仮徴収開始通知書 兼 納入通知書 保険料額変更通知書 兼 特別徴収仮徴収変更通知書 兼 納入通知書 保険料額変更通知書 兼 特別徴収仮徴収中止通知書 兼 納入通知書
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	通知書番号	●			
2	発行年月日	●			和暦表記
3	窓あき宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
4	広域連合の名称	●			バラメタにより出力有無を変更できること 広域連合+広域連合長名 広域連合名の出力有無を変更できること 広域連合長名は機能・帳票要件（広域連合長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
5	広域連合の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること 広域連合長の公印を出力する
6	郵便還付先		●		バラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名+郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号+全角スペース+郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
7	タイトル1	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例：仮徴収開始通知) 後期高齢者医療保険料仮徴収額決定通知書 (印字例：仮徴収変更通知) 後期高齢者医療保険料仮徴収額変更決定通知書 (印字例：仮徴収中止通知) 後期高齢者医療保険料仮徴収額変更決定通知書
8	案内文1【相当年度】	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること 【相当年度】：システム印字項目（和暦表記） (印字例) 【相当年度】年度分の後期高齢者医療保険料仮徴収額を次のとおり決定しましたので通知します。
9	被保険者氏名	●			
10	被保険者番号	●			
11	性別	●			被保険者の性別
12	生年月日	●			被保険者の生年月日
13	住所	●			被保険者の住所 住所+全角スペース+方書
14	決定年月日	●			和暦表記
15	決定理由	●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例：仮徴収開始通知) 仮徴収額を決定しました。 (印字例：仮徴収変更通知、仮徴収中止通知) 仮徴収額を変更しました。
16	仮徴収合計額	区分1	●		決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例：仮徴収開始通知) "仮徴収額合計" (印字例：仮徴収変更通知、仮徴収中止通知) "変更後仮徴収額合計"
17		仮徴収合計額1	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：仮徴収開始通知) 仮徴収額合計 (印字例：仮徴収変更通知、仮徴収中止通知) 変更後仮徴収額合計
18		区分2	●		決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例：仮徴収開始通知) "＊" (印字例：仮徴収変更通知、仮徴収中止通知) "変更前仮徴収額合計"
19		仮徴収合計額2	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：仮徴収開始通知) "＊" (印字例：仮徴収変更通知、仮徴収中止通知) 変更前仮徴収額合計
20	案内文2		●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例：仮徴収開始通知) 決定した仮徴収額は前年度の保険料から算定した、仮徴収期（4月から8月）に年金からお納めいただく保険料額です。 (印字例：仮徴収変更通知) 決定した仮徴収額は、仮徴収期（4月から8月）に年金からお納めいただく保険料額です。

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称			03 保険料額決定通知書 兼 特別徴収仮徴収開始通知書 兼 納入通知書 保険料額変更通知書 兼 特別徴収仮徴収変更通知書 兼 納入通知書 保険料額変更通知書 兼 特別徴収仮徴収中止通知書 兼 納入通知書
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
21	タイトル2 [相当年度]	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度] : システム印字項目 (和暦表記) (印字例) [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 納入通知書
22	自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体+首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件 (首長・職務代理人出力) に従った内容を出力すること
23	自治体の印	●			機能・帳票要件 (電子公印出力) に従った内容を出力すること 登録されている自治体の長 (もしくは職務代理人) の公印
24	案内文3 [相当年度]	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度] : システム印字項目 (和暦表記) (印字例) [相当年度]年度分の後期高齢者医療保険料額を次のとおり徴収することに決定しましたので通知します。
25	納付方法タイトル	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) あなた様の納付方法は下記のとおりです。
26	納付方法	●			特別徴収
27		●			
28		●			
29		●			
30	期別保険料額区分3列	●			決定内容によって文言マスターに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例 : 仮徴収開始通知) "決定" (印字例 : 仮徴収変更通知、仮徴収中止通知) "変更後"
31		●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例 : 仮徴収開始通知) 特徴1期保険料額 (印字例 : 仮徴収変更通知、仮徴収中止通知) 特徴1期保険料額
32		●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例 : 仮徴収開始通知) 特徴2期保険料額 (印字例 : 仮徴収変更通知、仮徴収中止通知) 特徴2期保険料額
33		●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例 : 仮徴収開始通知) 特徴3期保険料額 (印字例 : 仮徴収変更通知、仮徴収中止通知) 特徴3期保険料額
34		●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例 : 仮徴収開始通知) 仮徴収額合計 (印字例 : 仮徴収変更通知、仮徴収中止通知) 仮徴収額合計
35	期別保険料額区分4列				決定内容によって文言マスターに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例 : 仮徴収開始通知) "＊" (印字例 : 仮徴収変更通知、仮徴収中止通知) "変更前"
36		●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例 : 仮徴収開始通知) "＊" (印字例 : 仮徴収変更通知、仮徴収中止通知) 変更前特徴1期保険料額
37		●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例 : 仮徴収開始通知) "＊" (印字例 : 仮徴収変更通知、仮徴収中止通知) 変更前特徴2期保険料額
38		●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例 : 仮徴収開始通知) "＊" (印字例 : 仮徴収変更通知、仮徴収中止通知) 変更前特徴3期保険料額
39		●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例 : 仮徴収開始通知) "＊" (印字例 : 仮徴収変更通知、仮徴収中止通知) 変更前仮徴収額合計

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称			03 保険料額決定通知書 兼 特別徴収仮徴収開始通知書 兼 納入通知書 保険料額変更通知書 兼 特別徴収仮徴収変更通知書 兼 納入通知書 保険料額変更通知書 兼 特別徴収仮徴収中止通知書 兼 納入通知書
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
40	案内文4 [保険料増減額]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること [保険料増減額] : システム印字項目 (印字例) 本年度の確定後の保険料は、7月中旬にあらためて通知します。 前回通知からの保険料額の差額は[保険料増減額]円です。
41	問い合わせ先 担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名
42	担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所
43	担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定
44	担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 バラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
45	担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること
46	不服の申立 教示文[不服申立先担当部署名][不服申立先担当自治体名]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [不服申立先担当部署名] : システム印字項目 (マスタ管理している不服申立先情報) を設定 (例: 後期高齢者医療審査会名等を設定) [不服申立先担当自治体名] : システム印字項目 (マスタ管理している不服申立先情報を設定 (提起先組織名。例: 後期高齢者医療広域連合名等を設定)) (印字例) 不服の申立 この通知について不服があるときは、この通知書を受け取った日の翌日から起算して3か月以内に[不服申立先担当部署名]に対し審査請求することができます。また、この処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決書を受け取った日の翌日から起算して6か月以内に[不服申立先担当自治体名]を被告として提起することができます。 なお、処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決を経た後 (次の1から3までのいずれかに該当するときを除く。) でなければ提起することができます。 1 審査請求があった日から3か月を経過しても裁決がないとき。 2 処分、処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき。 3 その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき。
47	不服申立先担当部署郵便番号	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定
48	不服申立先担当部署住所	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定
49	不服申立先担当部署電話番号	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定
50	説明文	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (想定される印字内容) 問い合わせ先 等

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	04 後期高齢者医療保険料口座振替開始（変更）のお知らせ		
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	文書番号	●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする
2	発行年月日	●			和暦表記
3	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
4	郵便還付先		●		※A4様式の場合のみ印字される バラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名+郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号+全角スペース+郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
5	自治体の名称	●			バラメタにより出力有無を変更できること 自治体+首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
6	自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
7	タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) 口座振替開始（変更）のお知らせ
8	案内文	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) 口座振替にご加入いただきありがとうございます。口座振替開始（変更）の手続が完了しましたので、下記のとおり、あなたの後期高齢者医療保険料について口座振替を行います。内容につきまして、ご確認ください。 万が一、指定口座の情報に相違あるいはご不審な点がございましたら、●●課へご連絡ください。
9	被保険者氏名	●			
10	被保険者番号	●			
11	口座振替開始年月	●			和暦表記 印字する場合は以下の形式で印字すること (印字例) 令和●●年●●月分から
12	振替開始期別	●			年度+期別 (印字例) (令和●●年●●期)
13	補足説明文1	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する。なお、口座情報に対象者の振替区分が「全期前納」として登録されている場合は、印字例（全期前納）を出力する。 (印字例) 以降、納期限が到来する期別について口座振替を開始いたします ※納期限については、お手元の納入通知書をご参照ください。 (印字例（全期前納）) ※全期前納の場合、上記に記載した期の納期限の日に1年分の保険料額をご指定の口座から振替します。 なお、年度の途中（第2期以降）から振替方法「全期前納」を申込いただいている場合は、その開始の年度は各期で振替をおこない、翌年度から全期前納での振替となりますので、ご注意ください。
14	振替口座	金融機関名	●		
15		金融機関支店名	●		
16		口座種目	●		
17		口座番号	●		機能・帳票要件における口座番号マスク機能の要件に準じた出力内容とする
18		口座名義人	●		半角カナで印字すること
19	補足説明文2	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) ・後期高齢者医療保険料の口座振替日は毎月末日です。ただし、振替日が金融機関等の休業日（土・日・祝日・年末年始）に当たる場合は、翌営業日になります。
20	問合せ先	担当部署名	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名
21		担当部署住所	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所
22		担当部署電話番号	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定
23		担当部署FAX番号	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 バラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
24		担当部署メール		●	マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	05 納付書1(カク公)		
通番	システム印字項目	実装項目		印字編集条件など	
		必須	オプション	不可	
1	納入済通知書	賦課年度	●		和暦表記
2		納付合計金額	●		
3		収納機関番号		●	出力有無を選択可能とすること (マルチペイメントを使用する際に使用)
4		納付番号		●	納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること (マルチペイメントを使用する際に使用)
5		確認番号		●	出力有無を選択可能とすること (マルチペイメントを使用する際に使用。採番について規定されたルールはなく、納付書管理番号とペアで使用することで誤入力などにより誤った納付が行われることを防止している。)
6		納付区分		●	納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること (マルチペイメントを使用する際に使用)
7		相当年度	●		和暦表記
8		期別	●		①全期前納の場合、"全期" ②單一期の場合、期別 + "期" ③複数期の場合、開始期別 + "期" + "～" + 終了期別 + "期"
9		通知書番号	●		納入通知書の通知書番号
10		納期限	●		和暦表記
11		OCR	●		
12		バーコード	●		出力有無を選択可能とすること (コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため) コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示
13		二次元コード		●	JPQR統一規格の仕様に準拠した二次元コードを出力すること (金融機関での支払いではなく、コンビニやスマートフォンアプリでの支払いに使用する二次元コードを印刷する想定) 出力有無を選択可能とすること ※本仕様書は日本マルチペイメントネットワーク推進協議会(JAMPA)より公開されている資料(準備編「サービス開始までの準備概要とFAQ」)で指定されている二次元コードの印刷位置に基づいて作成
14	原符兼払込金受領証	被保険者氏名	●		
15		取扱期限	●		和暦表記
16		賦課年度	●		和暦表記
17		納付合計金額	●		
18		取扱期限	●		和暦表記
19		被保険者氏名	●		
20		納付番号		●	納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること
21		確認番号		●	出力有無を選択可能とすること
22		納付区分		●	納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること
23		賦課年度	●		和暦表記
24		相当年度	●		和暦表記
25		通知書番号	●		納入通知書の通知書番号
26		期別	●		①全期前納の場合、"全期" ②單一期の場合、期別 + "期" ③複数期の場合、開始期別 + "期" + "～" + 終了期別 + "期"
27	領収証書	賦課年度	●		和暦表記
28		宛名	●		共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、 対象者氏名 、カスタマバーコード、 対象者番号 、 二次元コード
29		発行年月日	●		和暦表記
30		自治体の名称	●		パラメタにより出力有無を変更できること 自治体 + 首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件(首長・職務代理人出力)に従った内容を出力すること
31		自治体の印	●		機能・帳票要件(電子公印出力)に従った内容を出力すること
32		郵便還付先		●	パラメタにより出力有無を変更できること マスター管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名 + 郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号 + 全角スペース + 郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
33		被保険者氏名	●		
34		被保険者番号	●		
35		備考5	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦番等
36		編集5	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号等
37		賦課年度	●		和暦表記
38		相当年度	●		和暦表記
39		通知書番号	●		納入通知書の通知書番号
40		期別	●		①全期前納の場合、"全期" ②單一期の場合、期別 + "期" + "(●月分)" ③複数期の場合、開始期別 + "期" + "(●月分)" + "～" + 終了期別 + "期" + "(●月分)"
41	納付番号		●		納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること
42	確認番号		●		出力有無を選択可能とすること
43	納付区分		●		納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること
44	納付金額	●			納付金額(末尾に"円"を付与すること) 期別保険料額-期別収納額
45	延滞金	●			延滞金(末尾に"円"を付与すること)

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	05 納付書1 (カク公)		
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
46	システム印字項目	備考 1	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
47		編集 1	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料(末尾に“円”を付与すること) 等
48		備考 2	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
49		編集 2	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額(末尾に“円”を付与すること) 等
50		備考 3	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納期限 等
51		編集 3	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納期限 等
52		備考 4	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
53		編集 4	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課		帳票名称	06 連帳納付書1（カク公）
通番	システム印字項目	実装項目		
		必須	オプション	不可
1	納入済通知書	賦課年度	●	
2		納付合計金額	●	
3		収納機関番号		●
4		納付番号		●
5		確認番号		●
6		納付区分		●
7		相当年度	●	
8		期別	●	
9		通知書番号	●	
10		納期限	●	
11		OCR	●	
12		バーコード	●	
13		二次元コード		●
14	原符兼払込金受領証	被保険者氏名	●	
15		取扱期限	●	
16		賦課年度	●	
17		納付合計金額	●	
18		取扱期限	●	
19		被保険者氏名	●	
20		納付番号		●
21		確認番号		●
22		納付区分		●
23		賦課年度	●	
24		相当年度	●	
25		通知書番号	●	
26		期別	●	
27	領収証書	対象者番号		●
28		被保険者氏名	●	
29		被保険者番号	●	
30		備考 5	●	
31		編集 5	●	
32		賦課年度	●	
33		相当年度	●	
34		通知書番号	●	
35		期別	●	
36		納付番号		●
37		確認番号		●
38		納付区分		●
39	備考 1	納付金額	●	
40		延滞金	●	
41		備考 1	●	
42		編集 1	●	
43		備考 2	●	

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	06 連帳納付書1（カク公）		
通番	システム印字項目	実装項目		印字編集条件など	
		必須	オプション	不可	
44	システム印字項目 編集 2 備考 3 編集 3 備考 4 編集 4	●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額(末尾に“円”を付与すること) 等
45		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納期限 等
46		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納期限 等
47		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
48		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	07 納付書2（マル公）	
通番	システム印字項目	実装項目		
		必須	オプション	不可
1	納入済通知書	賦課年度	●	
2		金額	●	
3		賦課年度	●	
4		相当年度	●	
5		通知書番号	●	
6		期別	●	
7		被保険者番号	●	
8		納期限	●	
9		取扱期限	●	
10		OCR	●	
11		被保険者氏名	●	
12		バーコード	●	出力有無を選択可能とすること (コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため) コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示
13		二次元コード	●	JPQR統一規格の仕様に準拠した二次元コードを出力すること (金融機関での支払いではなく、コンビニやスマートフォンアプリでの支払いに使用する二次元コードを印刷する想定) 出力有無を選択可能とすること ※本仕様書は日本マルチペイメントネットワーク推進協議会（JAMPA）より公開されている資料（準備編「サービス開始までの準備概要とFAQ」）で指定されている二次元コードの印刷位置に基づいて作成
14	原符兼払込金受領証	賦課年度	●	和暦表記
15		被保険者氏名	●	
16		賦課年度	●	和暦表記
17		相当年度	●	和暦表記
18		通知書番号	●	納入通知書の通知書番号
19		期別	●	①全期前納の場合、"全期" ②単一期の場合、期別 + "期" ③複数期の場合、開始期別 + "期" + "～" + 終了期別 + "期"
20		被保険者番号	●	
21		納期限	●	和暦表記
22		金額	●	納付金額（末尾に"円"を付与すること） 期別保険料額-期別収納額
23		延滞金	●	延滞金（末尾に"円"を付与すること）
24		備考 1	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
25		編集 1	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料（末尾に"円"を付与すること） 等
26		備考 2	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
27		編集 2	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額（末尾に"円"を付与すること） 等
28		備考 3	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
29		編集 3	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等
30	領収証書	賦課年度	●	和暦表記
31		宛名	●	共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
32		発行年月日	●	和暦表記
33		自治体の名称	●	パラメタにより出力有無を変更できること 自治体+首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
34		自治体の印	●	機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
35		郵便還付先	●	パラメタにより出力有無を変更できること マスター管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名+郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号+全角スペース+郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
36		被保険者氏名	●	
37		賦課年度	●	和暦表記
38		相当年度	●	和暦表記
39		通知書番号	●	納入通知書の通知書番号
40		被保険者番号	●	
41		備考 4	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦番 等

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	07 納付書2 (マル公)		
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
42	編集 4 期別 納期限 金額 延滞金 備考 5 編集 5 備考 6 編集 6 備考 7 編集 7	●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号 等
43		●			①全期前納の場合、"全期" ②單一期の場合、期別 + "期" + " (●月分)" ③複数期の場合、開始期別 + "期" + " (●月分)" + "～" + 終了期別 + "期" + " (●月分)"
44		●			和暦表記
45		●			納付金額(末尾に"円"を付与すること) 期別保険料額-期別収納額
46		●			延滞金(末尾に"円"を付与すること)
47		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
48		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料(末尾に"円"を付与すること) 等
49		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
50		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額(末尾に"円"を付与すること) 等
51		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
52		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課		帳票名称	08 連帳納付書2（マル公）
通番	システム印字項目	実装項目		
		必須	オプション	不可
1	納入済通知書	賦課年度	●	
2		金額	●	
3		賦課年度	●	
4		相当年度	●	
5		通知書番号	●	
6		期別	●	
7		被保険者番号	●	
8		納期限	●	
9		取扱期限	●	
10		OCR	●	
11		被保険者氏名	●	
12		バーコード	●	出力有無を選択可能とすること (コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため) コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示
13		二次元コード	●	JPQR統一規格の仕様に準拠した二次元コードを出力すること (金融機関での支払いではなく、コンビニやスマートフォンアプリでの支払いに使用する二次元コードを印刷する想定) 出力有無を選択可能とすること ※本仕様書は日本マルチペイメントネットワーク推進協議会（JAMPA）より公開されている資料（準備編「サービス開始までの準備概要とFAQ」）で指定されている二次元コードの印刷位置に基づいて作成 二次元コードについては帳票表面は宛名、領収証書面以外に二次元コードは印字しないよう金融機関等から要請があったため、本帳票では裏面に印字することを想定。
14	原符兼払込金受領証	賦課年度	●	和暦表記
15		被保険者氏名	●	
16		賦課年度	●	和暦表記
17		相当年度	●	和暦表記
18		通知書番号	●	納入通知書の通知書番号
19		期別	●	①全期前納の場合、"全期" ②単一期の場合、期別 + "期" ③複数期の場合、開始期別 + "期" + "～" + 終了期別 + "期"
20		被保険者番号	●	
21		納期限	●	和暦表記
22		金額	●	納付金額（末尾に"円"を付与すること） 期別保険料額-期別収納額
23		延滞金	●	延滞金（末尾に"円"を付与すること）
24		備考 1	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
25		編集 1	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料（末尾に"円"を付与すること） 等
26		備考 2	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
27		編集 2	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額（末尾に"円"を付与すること） 等
28		備考 3	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
29		編集 3	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等
30	領収証書	対象者番号	●	対象者やその他の送付物との結び付け用、送付前引き抜き用の番号 利用する番号は、1からの連番、宛名番号や被保険者番号等、結び付けや特定が可能な番号とする パラメタにより出力有無を変更できること
31		被保険者氏名	●	和暦表記
32		賦課年度	●	和暦表記
33		相当年度	●	和暦表記
34		通知書番号	●	納入通知書の通知書番号
35		被保険者番号	●	
36		備考 4	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦番 等
37		編集 4	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号 等
38		期別	●	①全期前納の場合、"全期" ②単一期の場合、期別 + "期" + " (●月分)" ③複数期の場合、開始期別 + "期" + " (●月分)" + "～" + 終了期別 + "期" + " (●月分)"
39		納期限	●	和暦表記
40		金額	●	納付金額（末尾に"円"を付与すること） 期別保険料額-期別収納額

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	08 連帳納付書2 (マル公)		
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
41	延滞金 備考 5 編集 5 備考 6 編集 6 備考 7 編集 7	●			延滞金（末尾に “円”を付与すること）
42		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
43		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料（末尾に “円”を付与すること） 等
44		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
45		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額（末尾に “円”を付与すること） 等
46		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
47		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	09 納付書1 (カク公) (eL-QRあり)		
通番	システム印字項目	実装項目		印字編集条件など	
		必須	オプション	不可	
1	納入済通知書	賦課年度	●		和暦表記
2		納付合計金額	●		
3		収納機関番号		●	出力有無を選択可能とすること (マルチペイメントを使用する際に使用)
4		納付番号		●	納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること (マルチペイメントを使用する際に使用)
5		確認番号		●	出力有無を選択可能とすること (マルチペイメントを使用する際に使用。採番について規定されたルールはなく、納付書管理番号とペアで使用することで誤入力などにより誤った納付が行われることを防止している。)
6		納付区分		●	納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること (マルチペイメントを使用する際に使用)
7		相当年度	●		和暦表記
8		期別	●		①全期前納の場合、"全期" ②単一期の場合、期別 + "期" ③複数期の場合、開始期別 + "期" + "～" + 終了期別 + "期"
9		通知書番号	●		納入通知書の通知書番号
10		納期限	●		和暦表記
11		OCR	●		
12		バーコード	●		出力有無を選択可能とすること (コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため) コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示
13		地方税統一QRコード		●	共通納税システム仕様書に準拠した地方税統一QRコードを出力すること。 (金融機関での支払いではなく、コンビニやスマートフォンアプリでの支払いに使用する地方税統一QRコードを印刷する想定)
14	原符兼払込金受領証	eL-QR		●	地方税統一QRコードの下または横に「eL-QR」と印字する。
15		被保険者氏名	●		
16		取扱期限	●		和暦表記 (マルチペイメントを使用する際はマルチペイメントの取扱期限)
17		賦課年度	●		和暦表記
18		納付合計金額	●		
19		取扱期限	●		和暦表記 (マルチペイメントを使用する際はマルチペイメントの取扱期限)
20		被保険者氏名	●		
21		納付番号		●	納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること
22		確認番号		●	出力有無を選択可能とすること
23		納付区分		●	納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること
24		賦課年度	●		和暦表記
25		相当年度	●		和暦表記
26		通知書番号	●		納入通知書の通知書番号
27		期別	●		①全期前納の場合、"全期" ②単一期の場合、期別 + "期" ③複数期の場合、開始期別 + "期" + "～" + 終了期別 + "期"
28		納期限	●		和暦表記
29	領収証書	賦課年度	●		和暦表記
30		宛名	●		共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、 対象者氏名 、カスタマバーコード、 対象者番号 、 二次元コード
31		発行年月日	●		和暦表記
32		自治体の名称	●		パラメタにより出力有無を変更できること 自治体+首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
33		自治体の印	●		機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
34		郵便還付先		●	パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名+郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号+全角スペース+郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
35		被保険者氏名	●		
36		被保険者番号	●		
37		備考 5	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦番 等
38		編集 5	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号 等
39	期別	賦課年度	●		和暦表記
40		相当年度	●		和暦表記
41		通知書番号	●		納入通知書の通知書番号
42		納付番号		●	①全期前納の場合、"全期" ②単一期の場合、期別 + "期" + "(●月分)" ③複数期の場合、開始期別 + "期" + "(●月分)" + "～" + 終了期別 + "期" + "(●月分)"
43		確認番号		●	納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること
44		納付区分		●	納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること
45		納付金額	●		納付金額（末尾に"円"を付与すること） 期別保険料額-期別収納額
46		延滞金	●		延滞金（末尾に"円"を付与すること）
47					

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	09 納付書1（カク公）（eL-QRあり）		
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
48	システム印字項目	備考 1	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
49		編集 1	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料(末尾に“円”を付与すること) 等
50		備考 2	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
51		編集 2	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額(末尾に“円”を付与すること) 等
52		備考 3	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納期限 等
53		編集 3	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納期限 等
54		備考 4	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
55		編集 4	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	10 連帳納付書1 (カク公) (eL-QRあり)		
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	納入済通知書	賦課年度	●		和暦表記
2		納付合計金額	●		
3		収納機関番号		●	出力有無を選択可能とすること (マルチペイメントを使用する際に使用)
4		納付番号		●	納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること (マルチペイメントを使用する際に使用)
5		確認番号		●	出力有無を選択可能とすること (マルチペイメントを使用する際に使用。採番について規定されたルールはなく、納付書管理番号とペアで使用することで誤入力などにより誤った納付が行われることを防止している。)
6		納付区分		●	納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること (マルチペイメントを使用する際に使用)
7		相当年度	●		和暦表記
8		期別	●		①全期前納の場合、"全期" ②単一期の場合、期別 + "期" ③複数期の場合、開始期別 + "期" + "～" + 終了期別 + "期"
9		通知書番号	●		納入通知書の通知書番号
10		納期限	●		和暦表記
11		OCR	●		
12		バーコード	●		出力有無を選択可能とすること (コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため) コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示
13		地方税統一QRコード		●	共通納税システム仕様書に準拠した地方税統一QRコードを出力すること。 (金融機関での支払いではなく、コンビニやスマートフォンアプリでの支払いに使用する地方税統一QRコードを印刷する想定)
14	原符兼払込金受領証	eL-QR		●	地方税統一QRコードの下または横に「eL-QR」と印字する。
15		被保険者氏名	●		
16		取扱期限	●		和暦表記 (マルチペイメントを使用する際はマルチペイメントの取扱期限)
17		賦課年度	●		和暦表記
18		納付合計金額	●		
19		取扱期限	●		和暦表記 (マルチペイメントを使用する際はマルチペイメントの取扱期限)
20		被保険者氏名	●		
21		納付番号		●	納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること
22		確認番号		●	出力有無を選択可能とすること
23		納付区分		●	納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること
24		賦課年度	●		和暦表記
25		相当年度	●		和暦表記
26		通知書番号	●		納入通知書の通知書番号
27		期別	●		①全期前納の場合、"全期" ②単一期の場合、期別 + "期" ③複数期の場合、開始期別 + "期" + "～" + 終了期別 + "期"
28		納期限	●		和暦表記
29	領収証書	対象者番号		●	対象者やその他の送付物との結び付け用、送付前引き抜き用の番号 利用する番号は、1からの連番、宛名番号や被保険者番号等、結び付けや特定 が可能な番号とする パラメタにより出力有無を変更できること
30		被保険者氏名	●		
31		被保険者番号	●		
32		備考 5	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字する こと (印字例) 賦番 等
33		編集 5	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字する こと (想定される印字項目) 賦課管理番号 等
34		賦課年度	●		和暦表記
35		相当年度	●		和暦表記
36		通知書番号	●		納入通知書の通知書番号
37		期別	●		①全期前納の場合、"全期" ②単一期の場合、期別 + "期" + " (●月分)" ③複数期の場合、開始期別 + "期" + " (●月分)" + "～" + 終了期別 + "期" + " (●月分)"
38		納付番号		●	納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること
39		確認番号		●	出力有無を選択可能とすること
40		納付区分		●	納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること
41		納付金額	●		納付金額(末尾に"円"を付与すること) 期別保険料額-期別収納額
42		延滞金	●		延滞金(末尾に"円"を付与すること)
43		備考 1	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字する こと (印字例) 督促手数料 等
44		編集 1	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字する こと (想定される印字項目) 督促手数料(末尾に"円"を付与すること) 等
45		備考 2	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字する こと (印字例) 納付合計額 等

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	10 連帳納付書1（カク公）（eL-QRあり）		
通番	システム印字項目	実装項目		印字編集条件など	
		必須	オプション	不可	
46	システム印字項目 編集 2 備考 3 編集 3 備考 4 編集 4	●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額（末尾に“円”を付与すること） 等
47		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納期限 等
48		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納期限 等
49		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
50		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	11 納付書2 (マル公) (eL-QRあり)	
通番	システム印字項目	実装項目		印字編集条件など
		必須	オプション	不可
1	納入済通知書	賦課年度	●	和暦表記
2		金額	●	納付金額 期別保険料額-期別収納額 ※延滞金等が発生している場合は、"期別保険料額-期別収納額"以外の額を含めることが可能。その際、あわせて、項目名を"納付合計金額"等に修正することも可能。
3		賦課年度	●	和暦表記
4		相当年度	●	和暦表記
5		通知書番号	●	納入通知書の通知書番号
6		期別	●	①全期前納の場合、"全期" ②単一期の場合、期別 + "期" ③複数期の場合、開始期別 + "期" + "～" + 終了期別 + "期"
7		被保険者番号	●	
8		納期限	●	和暦表記
9		取扱期限	●	和暦表記、コンビニの支払期限
10		OCR	●	
11		バーコード	●	出力有無を選択可能とすること (コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため) コンビニ納付の上限額を超過する場合、「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示
12		地方税統一QRコード	●	共通納税システム仕様書に準拠した地方税統一QRコードを出力すること。 <u>(金融機関での支払いではなく、コンビニやスマートフォンアプリでの支払いに使用する地方税統一QRコードを印刷する想定)</u>
13		eL-QR	●	地方税統一QRコードの下または横に「eL-QR」と印字する。
14		被保険者氏名	●	
15		eL番号	●	
16	原符兼払込金受領証	賦課年度	●	和暦表記
17		被保険者氏名	●	
18		賦課年度	●	和暦表記
19		相当年度	●	和暦表記
20		通知書番号	●	納入通知書の通知書番号
21		期別	●	①全期前納の場合、"全期" ②単一期の場合、期別 + "期" ③複数期の場合、開始期別 + "期" + "～" + 終了期別 + "期"
22		被保険者番号	●	
23		納期限	●	和暦表記
24		金額	●	納付金額(末尾に"円"を付与すること) 期別保険料額-期別収納額
25		延滞金	●	延滞金(末尾に"円"を付与すること)
26		備考 1	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
27		編集 1	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料(末尾に"円"を付与すること) 等
28		備考 2	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
29		編集 2	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額(末尾に"円"を付与すること) 等
30		備考 3	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
31		編集 3	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等
32	領収証書	賦課年度	●	和暦表記
33		宛名	●	共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
34		発行年月日	●	和暦表記
35		自治体の名称	●	パラメタにより出力有無を変更できること 自治体+首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件(首長・職務代理人出力)に従った内容を出力すること
36		自治体の印	●	機能・帳票要件(電子公印出力)に従った内容を出力すること
37		郵便還付先	●	パラメタにより出力有無を変更できること マスター管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名+郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号+全角スペース+郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
38		被保険者氏名	●	
39		賦課年度	●	和暦表記
40		相当年度	●	和暦表記
41		通知書番号	●	納入通知書の通知書番号
42		被保険者番号	●	

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	11 納付書2 (マル公) (eL-QRあり)		
通番	システム印字項目	実装項目		印字編集条件など	
		必須	オプション	不可	
43	備考4 編集4 期別 納期限 金額 延滞金 備考5 編集5 備考6 編集6 備考7 編集7	●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦番 等
44		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号 等
45		●			①全期前納の場合、"全期" ②単一期の場合、期別 + "期" + " (●月分)" ③複数期の場合、開始期別 + "期" + " (●月分)" + "～" + 終了期別 + "期" + " (●月分)"
46		●			和暦表記
47		●			納付金額(末尾に"円"を付与すること) 期別保険料額-期別収納額
48		●			延滞金(末尾に"円"を付与すること)
49		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
50		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料(末尾に"円"を付与すること) 等
51		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
52		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額(末尾に"円"を付与すること) 等
53		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
54		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	12 連帳納付書2 (マル公) (eL-QRあり)		
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	納入済通知書	賦課年度	●		和暦表記
2		金額	●		納付金額 期別保険料額-期別収納額 ※延滞金等が発生している場合は、"期別保険料額-期別収納額"以外の額を含めることも可能。その際、あわせて、項目名を"納付合計金額"等に修正することも可能。
3		賦課年度	●		和暦表記
4		相当年度	●		和暦表記
5		通知書番号	●		納入通知書の通知書番号
6		期別	●		①全期前納の場合、"全期" ②単一期の場合、期別 + "期" ③複数期の場合、開始期別 + "期" + "～" + 終了期別 + "期"
7		被保険者番号	●		
8		納期限	●		和暦表記
9		取扱期限	●		和暦表記、コンビニの支払期限
10		OCR	●		
11		バーコード	●		出力有無を選択可能とすること (コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため) コンビニ納付の上限額を超過する場合、「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示
12		地方税統一QRコード		●	共通納税システム仕様書に準拠した地方税統一QRコードを出力すること。 <u>(金融機関での支払いではなく、コンビニやスマートフォンアプリでの支払いに使用する地方税統一QRコードを印刷する想定)</u>
13		eL-QR		●	地方税統一QRコードの下または横に「eL-QR」と印字する。
14		被保険者氏名	●		
15		eL番号		●	
16	原符兼払込金受領証	賦課年度	●		和暦表記
17		被保険者氏名	●		
18		賦課年度	●		和暦表記
19		相当年度	●		和暦表記
20		通知書番号	●		納入通知書の通知書番号
21		期別	●		①全期前納の場合、"全期" ②単一期の場合、期別 + "期" ③複数期の場合、開始期別 + "期" + "～" + 終了期別 + "期"
22		被保険者番号	●		
23		納期限	●		和暦表記
24		金額	●		納付金額 (末尾に"円"を付与すること) 期別保険料額-期別収納額
25		延滞金	●		延滞金 (末尾に"円"を付与すること)
26		備考 1	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
27		編集 1	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料 (末尾に"円"を付与すること) 等
28		備考 2	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
29		編集 2	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額 (末尾に"円"を付与すること) 等
30		備考 3	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
31		編集 3	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等
32	領収証書	対象者番号		●	対象者やその他の送付物との結び付け用、送付前引き抜き用の番号 利用する番号は、1からの連番、宛名番号や被保険者番号等、結び付けや特定が可能な番号とする バラメタにより出力有無を変更できること
33		被保険者氏名	●		和暦表記
34		賦課年度	●		和暦表記
35		相当年度	●		和暦表記
36		通知書番号	●		納入通知書の通知書番号
37		被保険者番号	●		
38		備考 4	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦番 等
39		編集 4	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号 等
40		期別	●		①全期前納の場合、"全期" ②単一期の場合、期別 + "期" + " (●月分)" ③複数期の場合、開始期別 + "期" + " (●月分)" + "～" + 終了期別 + "期" + " (●月分)"
41		納期限	●		和暦表記
42		金額	●		納付金額 (末尾に"円"を付与すること) 期別保険料額-期別収納額
43		延滞金	●		延滞金 (末尾に"円"を付与すること)

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	12 連帳納付書2（マル公）（eL-QRあり）		
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
44	備考5 編集5 備考6 編集6 備考7 編集7	●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
45		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料(末尾に"円"を付与すること) 等
46		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
47		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額(末尾に"円"を付与すること) 等
48		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
49		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	01 後期高齢者医療保険料口座振替不能通知書		
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	文書番号	●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする
2	発行年月日	●			和暦表記
3	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
4	自治体の名称	●			バラメタにより出力有無を変更できること 自治体十首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
5	自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
6	郵便還付先		●		バラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名+郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号+全角スペース+郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
7	タイトル[相当年度]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、口振不能理由によって以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度] : システム印字項目（和暦表記） (例1) [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 口座振替不能通知書 (例2) [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 口座振替不能再振替通知書
8	案内文	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 口座振替により支払っていただすことになっていましたあなたの後期高齢者医療保険料は、下記の理由により振替できませんでした。
9	通知書文言	●			口振不能理由によって以下の例のように文言を印字する。 (例1) 同封の納付書で、取扱期限までに必ず納めてください。 (例2) 以下に記した日付にて、再度口座より振替を行います。
10	金融機関名	●			
11	金融機関支店名	●			
12	預金種目	●			
13	口座番号	●			機能・帳票要件における口座番号マスク機能の要件に準じた出力内容とする
14	口座名義人	●			半角カナで印字すること
15	被保険者氏名	●			
16	被保険者番号	●			
17	振替不能の保険料額	●			和暦表記
18	相当年度	●			
19	期別番号	●			
20	賦課年度	●			和暦表記
21	金額	●			
22	振替できなかった理由	●			
23	備考（固定文言1）	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号、通知書番号、取扱期限
24	督促及び延滞金	補足説明タイトル	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 2 督促及び延滞金
25		補足説明文[延滞金加算率]	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [延滞金加算率] : システム印字項目 (印字例) 保険料をこのまま納付されないと、督促状が発送されるほか延滞金が徴収されます。なお、延滞金は、納期限の翌日から納付の日までの期間の日数に応じ、保険料額に年[延滞金加算率]%の割合を乗じて計算した額です。この場合における年当りの割合は、閏年を含む期間についても365日当りの割合です。
26		納期限名称	●		口振不能理由によって以下の例のように文言を印字する。 (例1) 納期限 (例2) 再振替予定日
27		納期限	●		口振不能理由によって以下の例のように日付を印字する。 (例1) 納期限（和暦表記） (例2) 再振替予定日（和暦表記）
28	問い合わせ先	担当部署名	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名
29		担当部署住所	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所
30		担当部署電話番号	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定
31		担当部署FAX番号	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 バラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
32		担当部署メール		●	マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	02 後期高齢者医療保険料還付（充当）通知書		
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	文書番号	●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする
2	発行年月日	●			和暦表記
3	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
4	自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体+首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
5	自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
6	郵便還付先		●		パラメタにより出力有無を変更できること マスター管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名+郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号+全角スペース+郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
7	タイトル	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料還付（充当）通知書
8	案内文	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) あなたの納めた保険料が納めすぎになりましたので、次のとおり充当した後にお返しします。
9	還付管理番号	●			「04. 後期高齢者医療保険料還付請求書」と紐づく管理番号 還付請求書を発行していない場合は印字しない
10	被保険者氏名	●			
11	被保険者番号	●			
12	還付する金額	過誤納金算出年度	●		賦課年度、和暦表記
13		相当年度	●		和暦表記
14		納め過ぎた金額（過誤納金額）	●		過誤納金額合計（特別徴収にかかる死亡により生じた過誤納金額のうち、年金保険者への返納額を除く）
15		充当金額	●		
16		還付加算金	●		
17		お返しする金額（還付金額）	●		
18		納め過ぎた金額（過誤納金）の内訳	期別	●	
19	※対象期別の数に応じて、1行目～N行目まで印字	特別徴収	●		特別徴収保険料額
20		普通徴収	●		普通徴収保険料額
21		延滞金	●		
22		納めた金額	●		
23		過誤納金額	●		
24		領収年月日	●		和暦表記
25		発生理由	●		
26		備考 1（固定文言 1）	●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号、督促料
27		固定文言 2 + 編集 1	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号、督促料 等
28	充当金の内訳 ※対象期別の数に応じて、1行目～N行目まで印字	相当年度	●		和暦表記
29		賦課年度	●		和暦表記
30		期別	●		
31		保険料未済額	●		
32		保険料充当額	●		
33		延滞金未済額	●		
34		延滞金充当額	●		
35		備考 2（固定文言 3）	●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号、督促料未済額、督促料充当額
36		固定文言 4 + 編集 2	●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号、督促料未済額、督促料充当額 等
37	還付金の受け取り方法	金融機関名	●		
38		支店名	●		
39		備考 3	●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 支払予定日
40		編集 3	●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 支払予定日
41		種目	●		

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	02 後期高齢者医療保険料還付（充当）通知書		
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
42	口座番号	●			機能・帳票要件における口座番号マスク機能の要件に準じた出力内容とする
43	口座名義人	●			半角カナで印字すること
44	補足説明文 1	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) お返しする保険料・延滞金を下記の金融機関に振込みます。
45	補足説明文 2	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例 1) 空欄の場合や記載されている口座とは別の口座への振込を希望する場合は、同封の請求書をご返送ください。 (印字例 2) なお、振込先が空欄の場合は●●課で還付金をお返しすることになります。 持参するもの (1) この通知書 (2) 本人確認書類
46	問い合わせ先	担当部署名	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名
47		担当部署住所	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所
48		担当部署電話番号	●		マスター管理している問合せ先情報を設定
49		担当部署FAX番号	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
50		担当部署メール		●	マスター管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること
51	不服の申立	教示文[不服申立先担当部署名][不服申立先担当自治体名]	●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [不服申立先担当部署名] : システム印字項目（マスター管理している不服申立先情報を設定（例：後期高齢者医療審査会名等を設定） [不服申立先担当自治体名] : システム印字項目（マスター管理している不服申立先情報を設定（提起先組織名。例：後期高齢者医療広域連合名等を設定） (印字例) 不服の申立 この通知について不服があるときは、この通知書を受け取った日の翌日から起算して3か月以内に[不服申立先担当部署名]に対し審査請求することができます。また、この処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決書を受け取った日の翌日から起算して6か月以内に[不服申立先担当自治体名]を被告として提起することができます。 なお、処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決を経た後（次の1から3までのいずれかに該当するときを除く。）でなければ提起することができないことがあります。 1 審査請求があった日から3か月を経過しても裁決がないとき。 2 処分、処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき。 3 その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき。
52		不服申立先担当部署郵便番号	●		マスター管理している不服申立先情報を設定
53		不服申立先担当部署住所	●		マスター管理している不服申立先情報を設定
54		不服申立先担当部署電話番号	●		マスター管理している不服申立先情報を設定
55	ページ数	●			
56	総ページ数	●			
57	納め過ぎた金額（過誤納金）の内訳、充当金の内訳が印字可能件数を超えた場合は改ページする	●			1ページ目と同様の印字編集条件で出力する

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	03 後期高齢者医療保険料充当通知書		
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	文書番号	●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする
2	発行年月日	●			和暦表記
3	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
4	自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体+首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
5	自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
6	郵便還付先		●		パラメタにより出力有無を変更できること マスター管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名+郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号+全角スペース+郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
7	タイトル	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料充当通知書
8	案内文	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) あなたの納めた保険料が納めすぎになりましたので、次のとおり充当（割り当て）させていただきます。
9	被保険者氏名	●			
10	被保険者番号	●			
11	充当金額	過誤納金算出年度	●		賦課年度、和暦表記
12		相当年度	●		和暦表記
13		納め過ぎた金額（過誤納金額）	●		
14		還付加算金	●		
15		充当金額	●		
16	納め過ぎた金額（過誤納金）の内訳	期別	●		
17	※対象期別の数に応じて、1行目～N行目まで印字	特別徴収	●		特別徴収保険料額
18		普通徴収	●		普通徴収保険料額
19		延滞金	●		
20		納めた金額	●		
21		過誤納金額	●		
22		領収年月日	●		
23		発生理由	●		
24		備考1（固定文言1）	●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号、督促料
25		固定文言2+編集1	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号、督促料 等
26	充当金の内訳	相当年度	●		和暦表記
27	※対象期別の数に応じて、1行目～N行目まで印字	賦課年度	●		和暦表記
28		期別	●		
29		保険料未済額	●		
30		保険料充当額	●		
31		延滞金未済額	●		
32		延滞金充当額	●		
33		備考2（固定文言3）	●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号、督促料未済額、督促料充当額
34		固定文言4+編集2	●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号、督促料未済額、督促料充当額 等
35	補足説明タイトル		●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 次回の保険料の支払いについて
36	補足説明文		●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 過誤納金は、これからお支払いいただく保険料や未納になっている保険料に充当させていただきます。その後、足りない金額については、未到来納期分から、請求させていただきます。
37	問い合わせ先	担当部署名	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名
38		担当部署住所	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所
39		担当部署電話番号	●		マスター管理している問合せ先情報を設定

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	03 後期高齢者医療保険料充当通知書	
通番	システム印字項目	実装項目		印字編集条件など
		必須	オプション	不可
40	担当部署FAX番号	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 バラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
41			●	マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること
42	不服の申立	教示文[不服申立先担当部署名][不服申立先担当自治体名]	●	<p>文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [不服申立先担当部署名] : システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（例：後期高齢者医療審査会名等を設定） [不服申立先担当自治体名] : システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（提起先組織名。例：後期高齢者医療広域連合名等を設定） （印字例） 不服の申立 この通知について不服があるときは、この通知書を受け取った日の翌日から起算して3か月以内に[不服申立先担当部署名]に対し審査請求することができます。また、この処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決書を受け取った日の翌日から起算して6か月以内に[不服申立先担当自治体名]を被告として提起することができます。</p> <p>なお、処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決を経た後（次の1から3までのいずれかに該当するときを除く。）でなければ提起することができないこととされています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 審査請求があった日から3か月を経過しても裁決がないとき。 2 処分、処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき。 3 その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき。
43	不服申立先担当部署郵便番号	●		マスタ管理している不服申立先情報を設定
44	不服申立先担当部署住所	●		マスタ管理している不服申立先情報を設定
45	不服申立先担当部署電話番号	●		マスタ管理している不服申立先情報を設定
46	ページ数	●		
47	総ページ数	●		
48	納め過ぎた金額（過誤納金）の内訳、充当金の内訳が印字可能件数を超えた場合は改ページする	●		1ページ目と同様の印字編集条件で出力する

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	04 後期高齢者医療保険料還付請求書		
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	タイトル	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料還付請求書
2	自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体+首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件(首長・職務代理人出力)に従った内容を出力すること
3	編集 3		●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 殿
4	案内文 1	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 下記の被保険者に係る後期高齢者医療保険料過誤納金の還付について請求します。
5	被保険者氏名	●			
6	被保険者番号	●			
7	還付管理番号	●			「02. 後期高齢者医療保険料還付(充当)通知書」と紐づく管理番号
8	被保険者住所	●			住所+全角スペース+方書
9	備考 1 (固定文言 1)	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 還付額、請求額合計
10	編集 1	●			(還付加算金額ありの場合) 還付額+還付加算金額 (還付加算金額なしの場合) 還付額
11	備考 2 (固定文言 2)	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 還付額、還付加算金額
12	固定文言 3 + 編集 2	●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 還付額、還付加算金額 等
13	案内文 2	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例 1) なお、還付については、以下に記載した内容にもとづき、金融機関口座へ振り込むよう依頼します。また、本人口座以外に還付する場合は、委任状を提示してください。 (印字例 2) 以下に記載する金融機関口座へ振り込むよう依頼します。被保険者が死亡された場合は、相続人本人名義の口座を記入してください。また、本人口座以外の場合は、委任状または申出書を提示してください。
14	固定文言 4	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) ・理由 ※請求者が被保険者本人ではない場合の理由
15	固定文言 5	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 委任状(※被保険者と口座名義人が異なる場合は以下を記入してください。)
16	固定文言 6	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 下記の代理人に後期高齢者医療保険料の還付金の受領を委任します。 年 月 日
17	固定文言 7	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) ・代理人住所 〒
18	固定文言 8	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) ・代理人氏名

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	05 後期高齢者医療保険料還付・充当希望確認票	
通番	システム印字項目	実装項目		印字編集条件など
		必須	オプション	不可
1	発行年月日	●		和暦表記
2	宛名	●		共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
3	郵便還付先		●	パラメタにより出力有無を変更できること マスター管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名+郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号+全角スペース+郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
4	タイトル	●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料還付・充当希望確認票
5	案内文	●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 納付(納入)された後期高齢者医療保険料が納めすぎになりましたので、次のとおりお返しいたします。なお、当期までの未済分、および、納期末到来分への充当も行なえます。別紙に添えました『後期高齢者医療保険料収納状況のお知らせ』をご覧の上、ご検討ください。
6	被保険者氏名	●		
7	被保険者番号	●		
8	還付する金額	過誤納金算出年度	●	和暦表記
9		相当年度	●	和暦表記
10		納め過ぎた金額(過誤納金額)	●	
11	納め過ぎた金額(過誤納金額)の内訳 ※対象期別の数に応じて、1行目～N行目まで印字	期別	●	
12		特別徴収	●	特別徴収保険料額
13		普通徴収	●	普通徴収保険料額
14		延滞金	●	
15		納めた金額	●	
16		過誤納金額	●	
17		領収年月日	●	
18		発生理由	●	
19		備考1(固定文言1)	●	文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号、督促料
20		固定文言2+編集1	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号、督促料 等
21	金融機関名	●		
22	支店名	●		
23	種目	●		
24	口座番号	●		機能・帳票要件における口座番号マスク機能の要件に準じた出力内容とする
25	口座名義人	●		半角カナで印字すること
26	補足説明文	●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 上記、過誤納金額分を次のいずれかの方法でお取扱いいただくことになります。 1. 取扱金融機関を登録されている方、上記指定口座に還付金を振り込みます。 2. 取扱金融機関を登録されていない方や記載されている口座とは別の口座への振り込みを希望する方は、別紙に添えました『後期高齢者医療保険料還付申請書』に振込先の口座情報等を記入の上、返送をお願いいたします。
27	問い合わせ先	担当部署名	●	マスター管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名
28		担当部署住所	●	マスター管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所
29		担当部署電話番号	●	マスター管理している問合せ先情報を設定
30		担当部署FAX番号	●	マスター管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
31		担当部署メール	●	マスター管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	06 後期高齢者医療保険料収納状況のお知らせ		
通番	システム印字項目	実装項目		印字編集条件など	
		必須	オプション	不可	
1	発行年月日	●			和暦表記
2	タイトル	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料収納状況のお知らせ
3	被保険者氏名	●			
4	被保険者番号	●			
5	案内文	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 当期までの未済額、および、納期末到来分の未済額をお知らせします。
6	相当年度	●			和暦表記
7	賦課年度	●			和暦表記
8	期別	●			
9	納期限	●			和暦表記
10	保険料	●			
11	延滞金	●			基準日までの延滞金
12	未済額計	●			
13	備考 1 (固定文言 1)	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号、督促手数料
14	固定文言 2 + 編集 1	●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号、督促手数料 等
15	合計 (保険料)	●			
16	合計 (延滞金)	●			
17	合計 (未済額計)	●			
18	固定文言 3 + 編集 2	●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 合計 (督促手数料) 等
19	補足説明文 [基準日]	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [基準日] : システム印字項目 (印字例) なお、保険料欄に未済金額がある場合、延滞金欄には試算値として [基準日] 時点での延滞金未済額を記載しています。
20	ページ数	●			
21	総ページ数	●			

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納		帳票名称	07 後期高齢者医療保険料納付証明書	
通番	システム印字項目	実装項目			
		必須	オプション	不可	
1	文書番号	●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする
2	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
3	郵便還付先		●		パラメタにより出力有無を変更できること マスター管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名+郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号+全角スペース+郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
4	タイトル	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料 納付証明書
5	被保険者氏名	●			
6	被保険者住所	●			
7	表見出し1 [金額タイトル]	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること。なお、印字有無はそれぞれの項目で選択可能とすること。下表でもタイトルの印字有無と同様の項目を印字すること。 [金額タイトル] : システム印字項目 (印字例) 納付済額 (内非課税年金分) 未納額 (内非課税年金分) 納期到来未納額
8	表見出し2 [金額タイトル]	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること。なお、印字有無はそれぞれの項目で選択可能とすること。下表でもタイトルの印字有無と同様の項目を印字すること。 特別徴収分 [金額タイトル] : システム印字項目 (印字例) 納付済額 (内非課税年金分) 未納額 (内非課税年金分) 納期到来未納額
9	表見出し3 [金額タイトル]	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること。なお、印字有無はそれぞれの項目で選択可能とすること。下表でもタイトルの印字有無と同様の項目を印字すること。 普通徴収分 [金額タイトル] : システム印字項目 (印字例) 納付済額 未納額 納期到来未納額
10	年度	●			納付された保険料の相当年度 和暦表記
11	保険料額	納付済額	●		納付された保険料額 (年度に該当する対象の合計、未納額も含む金額) ※過誤納額を計上する (収入済額) 場合、還付金額は含まず、還付未済額は含む金額
12	※「表見出し1」列	非課税年金額1	●		納付済額のうち、非課税年金分の金額
13		未納額	●		納付される今後の納付見込保険料額 (年度に該当する対象の合計)
14		非課税年金額2	●		未納額のうち、非課税年金分の金額
15		納期到来未納額	●		未納金額 (納期到来分)
16	特別徴収分保険料額	納付済額	●		納付された特別徴収分保険料額 (年度に該当する対象の合計、未納額も含む金額) ※特別徴収分が出力対象ではない場合は*を出力すること ※過誤納額を計上する (収入済額) 場合、還付金額は含まず、還付未済額は含む金額
17		非課税年金額1	●		納付済額のうち、非課税年金分の金額 ※特別徴収分が出力対象ではない場合は*を出力すること
18		未納額	●		納付される今後の納付見込特別徴収分保険料額 (年度に該当する対象の合計) ※特別徴収分が出力対象ではない場合は*を出力すること
19		非課税年金額2	●		未納額のうち、非課税年金分の金額 ※特別徴収分が出力対象ではない場合は*を出力すること
20	普通徴収分保険料額	納付済額	●		納付された普通徴収分保険料額 (年度に該当する対象の合計、未納額も含む金額) ※過誤納額を計上する (収入済額) 場合、還付金額は含まず、還付未済額は含む金額
21		未納額	●		納付される今後の納付見込普通徴収分保険料額 (年度に該当する対象の合計)
22		納期到来未納額	●		未納金額 (納期到来分)

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納		帳票名称	07 後期高齢者医療保険料納付証明書	
通番	システム印字項目		実装項目		印字編集条件など
			必須	オプション	不可
23	合計（保険料額） ※「表見出し1」列	納付済額合計	●		納付された保険料額の合計 ※未納額も含む金額 ※過誤納額を計上する（収入済額）場合、還付金額は含まず、還付未済額は含む金額
24		非課税年金額1合計	●		納付済額のうち、非課税年金分の金額の合計
25		未納額合計	●		納付される今後の納付見込保険料額の合計
26		非課税年金額2合計	●		未納額のうち、非課税年金分の金額の合計
27		納期到来未納額合計	●		未納金額（納期到来分）の合計
28	合計（特別徴収分保険料額） ※「表見出し2」列	納付済額合計	●		納付された特別徴収分保険料額の合計 ※未納額も含む金額 ※特別徴収分が出力対象ではない場合は*を出力すること ※過誤納額を計上する（収入済額）場合、還付金額は含まず、還付未済額は含む金額
29		非課税年金額1合計	●		納付済額のうち、非課税年金分の金額の合計 ※特別徴収分が出力対象ではない場合は*を出力すること
30		未納額合計	●		納付される今後の納付見込特別徴収分保険料額の合計 ※特別徴収分が出力対象ではない場合は*を出力すること
31		非課税年金額2合計	●		未納額納付のうち、非課税年金分の金額の合計 ※特別徴収分が出力対象ではない場合は*を出力すること
32	合計（普通徴収分保険料額） ※「表見出し3」列	納付済額合計	●		納付された普通徴収分保険料額の合計 ※未納額も含む金額 ※過誤納額を計上する（収入済額）場合、還付金額は含まず、還付未済額は含む金額
33		未納額合計	●		納付される今後の納付見込普通徴収分保険料額の合計
34		納期到来未納額合計	●		未納金額（納期到来分）の合計
35	備考	滞納有無	●		滞納有無によって以下の文言を出力すること 領収証等により入金が確認できている場合は「滞納なし」の記載に変更されること (印字例：滞納が無い場合) 滞納なし (印字例：滞納が有る場合) 滞納あり
36		固定文言2+編集1	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (印字例：口座振替の場合) 口座名義人（口座名義人カナ） (印字例：口座振替でない場合) 表示しない ※同一年度内で口座名義人が異なる場合、それぞれの口座名義人が表示されるよう明細行を分けて表示すること ※口座名義人が異なり明細行を分けて表示する際、金額項目等は同一年度の先頭行に合計金額を表示すること
37	固定文言1		●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 括弧内は非課税年金額が表示されています。
38	案内文1		●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 上記のとおり後期高齢者医療保険料を納付したことを証明します。
39	発行年月日		●		和暦表記
40	自治体の名称		●		パラメタによって設定内容を選択できること パラメタにより出力有無を変更できること 自治体+首長名もしくは担当部署名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
41	自治体の印		●		機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
42	問い合わせ先	担当部署名	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名
43		担当部署住所	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所
44		担当部署電話番号	●		マスター管理している問合せ先情報を設定
45		担当部署FAX番号	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
46		担当部署メール		●	マスター管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること
47	ページ数		●		
48	総ページ数		●		

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	08 後期高齢者医療保険料口座振替済通知書兼納付額証明書		
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	文書番号	●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする
2	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
3	郵便還付先		●		※A4様式の場合のみ印字される バラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名+郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号+全角スペース+郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
4	タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料 口座振替済通知書兼納付額証明書
5	被保険者氏名	●			
6	被保険者番号	●			
7	固定文言 1 [集計開始日][集計終了日]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [集計開始日] : システム印字項目 [集計終了日] : システム印字項目 (印字例) [集計開始日]～[集計終了日]振替分
8	案内文 1	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 下記のとおり、指定口座より振替しましたので通知します。
9	明細	相当年度	●		和暦表記
10		賦課年度	●		和暦表記
11		期別	●		
12		振替済額	●		
13		振替日	●		
14	口座情報		●		口座番号は機能・帳票要件における口座番号マスク機能の要件に準じた出力内容とする (想定される印字項目) 金融機関名、支店名、口座種目、口座番号、口座名義人カナ 等
15		備考 (固定文言 2)	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号
16		固定文言 3 + 編集 1	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号 等
17	振替済額期間合計	●			明細の最終行に表示することとし、複数ページに跨る場合は、最終ページのみに表示する
18	案内文 2	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 上記のとおり後期高齢者医療保険料を納付したことを証明します。
19	発行年月日	●			和暦表記
20	自治体の名称	●			バラメタによって設定内容を選択できること バラメタにより出力有無を変更できること 自治体+首長名もしくは担当部署名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
21	自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること (公印の出力有無を変更できること)
22	問合せ先	担当部署名	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名
23		担当部署住所	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所
24		担当部署電話番号	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定
25		担当部署FAX番号	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 バラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
26		担当部署メール		●	マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること
27	ページ数	●			
28	総ページ数	●			

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納		帳票名称	09 後期高齢者医療保険料納付額証明書
通番	システム印字項目	実装項目		
		必須	オプション	不可
1	文書番号	●		印字編集条件など 機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする
2	宛名	●		共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
3	郵便還付先		●	※A4様式の場合のみ印字される バラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名+郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号+全角スペース+郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
4	タイトル	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料 納付額証明書
5	被保険者氏名	●		
6	被保険者住所	●		
7	案内文1 [集計開始日] [集計終了日]	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [集計開始日] : システム印字項目 [集計終了日] : システム印字項目 (印字例) あなたが[集計開始日]～[集計終了日]の期間に支払った後期高齢者医療保険料は以下のとおりです。
8	表見出し1 [金額タイトル]	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること。なお、印字有無はそれぞれの項目で選択可能とすること。下表でもタイトルの印字有無と同様の項目を印字すること。 [金額タイトル] : システム印字項目 (印字例) 普通徴収分
9	表見出し2 [金額タイトル]	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること。なお、印字有無はそれぞれの項目で選択可能とすること。下表でもタイトルの印字有無と同様の項目を印字すること。 特別徴収分 [金額タイトル] : システム印字項目 (印字例) 特別徴収分
10	表見出し3 [項目タイトル]	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること。下表でもタイトルの印字有無と同様の項目を印字すること。 口座名義人 [項目タイトル] : システム印字項目 (印字例) 口座名義人
11	年度	●		○○年度以前分 : ○○はバラメタで指定した ([相当年度]-1) を出力する。 ○○年度分 : ○○はバラメタで指定した [相当年度] を出力する
12	普通徴収分保険料額 ※「表見出し1」列	納付済額	●	普通徴収分の納付された保険料額の相当年度合計金額を出力する。 「年度」の「○○年度分」の行は、[相当年度]の合計金額を出力する。 「年度」の「○○年度以前分」の行は、([相当年度]-1) 以前の合算金額を出力する。 「合計」の行は、「年度」の「○○年度以前分」「○○年度分」の合計金額を表示する。 (納付済額が"0"の場合は"*****"を出力すること) ※1 集計期間が曆年のため、相当年度が複数年になることから、年度単位の出力とする。また、前年以前の金額は過年度随時期等の複数年の対応をがあることから、これらを考慮し、「○○年度以前分」として合算表記とする。 ※2 見込み納付額を反映する場合、納付済額は見込み納付を含めて出力する。
13		納付見込額	●	上記「納付済額」の金額に見込み納付額が含まれる場合、見込み納付額の金額のみ出力する。 (納付見込額が"0"の場合は"*****"を出力すること)
14	特別徴収分保険料額 ※「表見出し2」列	納付済額	●	特別徴収分の納付された保険料額の相当年度合計金額を出力する。 「年度」の「○○年度分」の行は、[相当年度]の合計金額を出力する。 「年度」の「○○年度以前分」の行は、([相当年度]-1) 以前の合算金額を出力する。 「合計」の行は、「年度」の「○○年度以前分」「○○年度分」の合計金額を表示する。 (納付済額が"0"の場合は"*****"を出力すること) ※1 集計期間が曆年のため、相当年度が複数年になることから、普通徴収の表記に合わせて、「○○年度以前分」に前年相当年度分を出力する。 ※2 見込み納付額を反映する場合、納付済額は見込み納付を含めて出力する。

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納		帳票名称	09 後期高齢者医療保険料納付額証明書	
通番	システム印字項目		実装項目		印字編集条件など
	必須	オプション	不可		
15		納付見込額	●		上記「納付済額」の金額に見込み納付額が含まれる場合、見込み納付額の金額のみ出力する。 (納付見込額が"0"の場合は"*****"を出力すること)
16	口座名義人 ※「表見出し3」列	口座名義人カナ	●		口座振替にて納付された口座名義人カナを出力する。 (印字例：口座振替の場合) 口座名義人カナ (印字例：口座振替でない場合) 表示しない ※同一年度内で口座名義人が異なる場合、改ページして口座名義人単位に明細行を出力すること。
17	固定文言1		●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) ※年金から天引きされた分については、公的年金等源泉徴収票をご確認ください。 ※()内は納付見込額です。
18	案内文2		●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) <ご注意> ※本証明書は確定申告又は住民税申告の際に、社会保険料控除の申告用としてご利用いただくものです。 ※上記証明額は期間中に納付がなされた金額であり、年間の賦課額を証明するものではありません。 ※上記証明額は本料のみの金額であり、督促手数料、延滞金は含まれません。 ※年末・年始の関係で証明額と実際の納付額と一致しない場合はお問い合わせください。 ※年金から天引きされた分については、公的年金等源泉徴収票をご確認ください。
19	案内文3		●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 上記のとおり後期高齢者医療保険料を納付したことを証明します。
20	発行年月日		●		和暦表記
21	自治体の名称		●		バラメタによって設定内容を選択できること バラメタにより出力有無を変更できること 自治体+首長名もしくは担当部署名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件(首長・職務代理人出力)に従った内容を出力すること
22	自治体の印		●		機能・帳票要件(電子公印出力)に従った内容を出力すること (公印の出力有無を変更できること)
23	問合せ先	担当部署名	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名
24		担当部署住所	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所
25		担当部署電話番号	●		マスター管理している問合せ先情報を設定
26		担当部署FAX番号	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 バラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
27		担当部署メール	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること
28	ページ数		●		
29	総ページ数		●		

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	10 後期高齢者医療保険料完納証明書	
通番	システム印字項目	実装項目		印字編集条件など
		必須	オプション	不可
1	文書番号	●		機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする
2	宛名	●		共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
3	郵便還付先		●	パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名+郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号+全角スペース+郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
4	タイトル	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例：完納証明書) 後期高齢者医療保険料 完納証明書
5	被保険者氏名	●		
6	被保険者住所	●		
7	表見出し1[金額タイトル]	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること。なお、印字有無はそれぞれの項目で選択可能とすること。下表でもタイトルの印字有無と同様の項目を印字すること。 [金額タイトル] : システム印字項目 (印字例) 納付済額（内非課税年金分） 未納額（内非課税年金分） 納期到来未納額
8	表見出し2[金額タイトル]	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること。なお、印字有無はそれぞれの項目で選択可能とすること。下表でもタイトルの印字有無と同様の項目を印字すること。 特別徴収分[金額タイトル] : システム印字項目 (印字例) 納付済額（内非課税年金分） 未納額（内非課税年金分） 納期到来未納額
9	表見出し3[金額タイトル]	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること。なお、印字有無はそれぞれの項目で選択可能とすること。下表でもタイトルの印字有無と同様の項目を印字すること。 普通徴収分[金額タイトル] : システム印字項目 (印字例) 納付済額 未納額 納期到来未納額
10	年度	●		納付された保険料の相当年度 和暦表記
11	固定文言1	●		滞納なし
12	案内文1	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 上記のとおり後期高齢者医療保険料を納付したことを証明します。
13	発行年月日	●		和暦表記
14	自治体の名称	●		パラメタによって設定内容を選択できること パラメタにより出力有無を変更できること 自治体+首長名もしくは担当部署名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
15	自治体の印	●		機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
16	問合せ先	担当部署名	●	マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名
17		担当部署住所	●	マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所
18		担当部署電話番号	●	マスタ管理している問合せ先情報を設定
19		担当部署FAX番号	●	マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
20		担当部署メール	●	マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	11 後期高齢者医療保険料督促状		
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	文書番号	●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする
2	発行年月日	●			和暦表記
3	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
4	郵便還付先		●		※A4様式の場合のみ印字される バラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名+郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号+全角スペース+郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
5	自治体の名称	●			バラメタにより出力有無を変更できること 自治体+首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
6	自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
7	タイトル[相当年度]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [相当年度] : システム印字項目（和暦表記） (印字例) [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 督促状
8	案内文[基準日][指定納期限][自治体名]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [基準日] : システム印字項目（和暦表記） [指定納期限] : システム印字項目（和暦表記） [自治体名] : システム印字項目 (印字例) 保険料が、[基準日]現在、下記のとおり滞納になっておりますので、納付について確認のうえ、[指定納期限]まで自治体窓口または指定金融機関等に納付してください。 この督促状の指定納期限まで納付されないとときは、地方自治法第231条の3の規定により滞納処分を受けることになります。 また、[自治体名]後期高齢者医療条例第●●●条の規定により、延滞金及び督促手数料も併せて納付願います。
9	被保険者氏名	●			
10	被保険者番号	●			
11	通知書番号	●			未納期別の納入通知書における通知書番号
12	相当年度	●			和暦表記
13	賦課年度	●			和暦表記
14	期別	●			
15	保険料	●			
16	納期限	●			和暦表記
17	備考（固定文言1）	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号、延滞金、督促手数料、指定納期限、総合計額
18	固定文言2+編集1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号、延滞金、督促手数料、指定納期限、総合計額 等
19	補足説明文	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) ※ 最近納付された方で、この督促状が行き違いに送達された場合は、ご了承願います。 ※ 領収証は5年間保存願います。
20	問い合わせ先	担当部署名	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名
21		担当部署住所	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所
22		担当部署電話番号	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定
23		担当部署FAX番号	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 バラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
24		担当部署メール		●	マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること
25	不服の申立	教示文[不服申立先担当部署名][不服申立先担当自治体名]	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [不服申立先担当部署名] : システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（例：後期高齢者医療審査会名等を設定） [不服申立先担当自治体名] : システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（提起先組織名。例：後期高齢者医療広域連合名等を設定） (印字例) 不服の申立 この通知について不服があるときは、この通知書を受け取った日の翌日から起算して3か月以内に[不服申立先担当部署名]に対し審査請求をすることができます。また、この処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決書を受け取った日の翌日から起算して6か月以内に[不服申立先担当自治体名]を被告として提起することができます。 なお、処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決を経た後（次の1から3までのいずれかに該当するときを除く。）でなければ提起することができないこととされています。 1 審査請求があつた日から3か月を経過しても裁決がないとき。 2 処分、処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき。 3 その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき。
26	不服申立先担当部署郵便番号	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定
27		不服申立先担当部署住所	●		マスタ管理している不服申立先情報を設定
28		不服申立先担当部署電話番号	●		マスタ管理している不服申立先情報を設定

業務	04. 保険料収納	帳票名称	12 口座振替不能通知書・督促状・催告書兼納付書1 (カク公)		
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	納入済通知書	賦課年度	●		和暦表記
2		納付合計金額	●		
3		収納機関番号		●	出力有無を選択可能とすること (マルチペイメントを使用する際に使用)
4		納付番号		●	納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること (マルチペイメントを使用する際に使用)
5		確認番号		●	出力有無を選択可能とすること (マルチペイメントを使用する際に使用。採番について規定されたルールはなく、納付書管理番号とペアで使用することで誤入力などにより誤った納付が行われることを防止している。)
6		納付区分		●	納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること (マルチペイメントを使用する際に使用)
7		相当年度	●		和暦表記
8		期別	●		①単一期の場合、期別 + "期" ②複数期の場合、開始期別 + "期" + "～" + 終了期別 + "期"
9		通知書番号	●		
10		納期限	●		発行する際に、納期限を設定できること 和暦表記
11		OCR	●		
12		バーコード	●		出力有無を選択可能とすること (コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため) コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示
13	原符兼払込金受領証	二次元コード		●	JPQR統一規格の仕様に準拠した二次元コードを出力すること (金融機関での支払いではなく、コンビニやスマートフォンアプリでの支払いに使用する二次元コードを印刷する想定) 出力有無を選択可能とすること ※本仕様書は日本マルチペイメントネットワーク推進協議会（JAMPA）より公開されている資料（準備編「サービス開始までの準備概要とFAQ」）で指定されている二次元コードの印刷位置に基づいて作成 二次元コードについては帳票表面は宛名、領収証書面以外に二次元コードは印字しないよう金融機関等から要請があったため、本帳票では裏面に印字することを想定。
14		被保険者氏名	●		
15		取扱期限	●		発行する際に、取扱納期限を設定できること 和暦表記
16		賦課年度	●		和暦表記
17		納付合計金額	●		
18		取扱期限	●		発行する際に、取扱納期限を設定できること 和暦表記
19		被保険者氏名	●		
20		納付番号		●	納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること
21		確認番号		●	出力有無を選択可能とすること
22		納付区分		●	納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること
23		賦課年度	●		和暦表記
24		相当年度	●		和暦表記
25		通知書番号	●		
26		期別	●		①単一期の場合、期別 + "期" ②複数期の場合、開始期別 + "期" + "～" + 終了期別 + "期"
27	領収証書	賦課年度	●		和暦表記
28		宛名	●		共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
29		発行年月日	●		和暦表記
30		自治体の名称	●		パラメタにより出力有無を変更できること 自治体+首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
31		自治体の印	●		機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
32		郵便還付先		●	パラメタにより出力有無を変更できること マスター管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名+郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号+全角スペース+郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
33		固定文言		●	文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例1：督促状兼納付書) 督促状兼領収証書 (印字例2：催告書兼納付書) 催告書兼領収証書 (印字例3：口座振替不能通知書兼納付書) 口座振替不能通知書兼領収証書

業務	04. 保険料収納	帳票名称	12 口座振替不能通知書・督促状・催告書兼納付書1（カク公）	
通番	システム印字項目	実装項目		印字編集条件など
		必須	オプション	不可
34	案内文	●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 下記の金額が未納となっておりますので、本状持参のうえ次紙の金融機関で督促手数料を含め納付してください。 なお、本状到着前に納付済の場合は行違いですのでご容赦ください。
35	被保険者氏名	●		
36	被保険者番号	●		
37	備考 5	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦番 等
38	編集 5	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号 等
39	賦課年度	●		和暦表記
40	相当年度	●		和暦表記
41	通知書番号	●		
42	期別	●		①単一期の場合、期別 + "期" + " (●月分)" ②複数期の場合、開始期別 + "期" + " (●月分)" + "～" + 終了期別 + "期" + " (●月分)"
43	納付番号		●	納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること
44	確認番号		●	出力有無を選択可能とすること
45	納付区分		●	納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること
46	納付金額	●		納付金額(末尾に"円"を付与すること)
47	延滞金	●		延滞金(末尾に"円"を付与すること)
48	備考 1	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
49	編集 1	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料(末尾に"円"を付与すること) 等
50	備考 2	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
51	編集 2	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額(末尾に"円"を付与すること) 等
52	備考 3	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納期限 等
53	編集 3	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納期限 等
54	備考 4	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
55	編集 4	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること 発行する際に、取扱納期限を設定できること (想定される印字項目) 取扱期限 等

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	13 口座振替不能通知書・督促状・催告書兼納付書2（マル公）	
通番	システム印字項目	実装項目		印字編集条件など
		必須	オプション	不可
1	納入済通知書	賦課年度	●	
2		金額	●	
3		賦課年度	●	
4		相当年度	●	
5		通知書番号	●	
6		期別	●	①単一期の場合、期別 + "期" ②複数期の場合、開始期別 + "期" + "～" + 終了期別 + "期"
7		被保険者番号	●	
8		納期限	●	和暦表記
9		取扱期限	●	発行する際に、取扱納期限を設定できること 和暦表記
10		OCR	●	
11		被保険者氏名	●	
12		バーコード	●	出力有無を選択可能とすること (コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため) コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示
13		二次元コード	●	JPQR統一規格の仕様に準拠した二次元コードを出力すること (金融機関での支払いではなく、コンビニやスマートフォンアプリでの支払いに使用する二次元コードを印刷する想定) 出力有無を選択可能とすること ※本仕様書は日本マルチペイメントネットワーク推進協議会（JAMPA）より公開されている資料（準備編「サービス開始までの準備概要とFAQ」）で指定されている二次元コードの印刷位置に基づいて作成 二次元コードについては帳票表面は宛名、領収証書面以外に二次元コードは印字しないよう金融機関等から要請があったため、本帳票では裏面に印字することを想定。
14	原符兼払込金受領証	賦課年度	●	和暦表記
15		被保険者氏名	●	
16		賦課年度	●	和暦表記
17		相当年度	●	和暦表記
18		通知書番号	●	
19		期別	●	①単一期の場合、期別 + "期" ②複数期の場合、開始期別 + "期" + "～" + 終了期別 + "期"
20		被保険者番号	●	
21		納期限	●	和暦表記
22		金額	●	納付金額（末尾に"円"を付与すること）
23		延滞金	●	延滞金（末尾に"円"を付与すること）
24		備考 1	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
25		編集 1	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料（末尾に"円"を付与すること） 等
26		備考 2	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
27		編集 2	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額（末尾に"円"を付与すること） 等
28		備考 3	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
29		編集 3	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること 発行する際に、取扱納期限を設定できること (想定される印字項目) 取扱期限 等
30	領収証書	賦課年度	●	和暦表記
31		宛名	●	共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
32		発行年月日	●	和暦表記
33		自治体の名称	●	パラメタにより出力有無を変更できること 自治体+首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
34		自治体の印	●	機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
35		郵便還付先	●	パラメタにより出力有無を変更できること マスター管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名+郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号+全角スペース+郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること

業務	04. 保険料収納	帳票名称	13 口座振替不能通知書・督促状・催告書兼納付書2 (マル公)	
通番	システム印字項目	実装項目		印字編集条件など
		必須	オプション	不可
36	固定文言	●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例1：督促状兼納付書) 督促状兼領收証書 (印字例2：催告書兼納付書) 催告書兼領收証書 (印字例3：口座振替不能通知書兼納付書) 口座振替不能通知書兼領收証書
37	案内文	●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 下記の金額が未納となっておりますので、本状持参のうえ次紙の金融機関で督促手数料を含め納付してください。 なお、本状到着前に納付済の場合は行違いですのでご容赦ください。
38	被保険者氏名	●		
39	賦課年度	●		和暦表記
40	相当年度	●		和暦表記
41	通知書番号	●		
42	被保険者番号	●		
43	備考4	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦番 等
44	編集4	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号 等
45	期別	●		①単一期の場合、期別 + "期" + "(●月分)" ②複数期の場合、開始期別 + "期" + "(●月分)" + "～" + 終了期別 + "期" + "(●月分)"
46	納期限	●		和暦表記
47	金額	●		納付金額(末尾に"円"を付与すること)
48	延滞金	●		延滞金(末尾に"円"を付与すること)
49	備考5	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
50	編集5	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料(末尾に"円"を付与すること) 等
51	備考6	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
52	編集6	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額(末尾に"円"を付与すること) 等
53	備考7	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
54	編集7	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること 発行する際に、取扱納期限を設定できること (想定される印字項目) 取扱期限 等

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	14 口座振替不能通知書兼納付書（マル公）		
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	文書番号	●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする
2	発行年月日	●			和暦表記
3	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
4	自治体の名称	●			バラメタにより出力有無を変更できること 自治体+首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
5	自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
6	郵便還付先		●		バラメタにより出力有無を変更できること マスター管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名+郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号+全角スペース+郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
7	タイトル[相当年度]	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、口振不能理由によって以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度] : システム印字項目（和暦表記） (例 1) [相当年度] 年度 後期高齢者医療保険料 口座振替不能通知書 (例 2) [相当年度] 年度 後期高齢者医療保険料 口座振替不能再振替通知書
8	案内文	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 口座振替により支払っていただくことになっていましたあなたの後期高齢者医療保険料は、下記の理由により振替できませんでした。
9	通知書文言	●			口振不能理由によって以下の例のように文言を印字する。 (例 1) 同封の納付書で、取扱期限までに必ず納めてください。 (例 2) 以下に記した日付にて、再度口座より振替を行います。
10	金融機関名	●			
11	金融機関支店名	●			
12	預金種目	●			
13	口座番号	●			機能・帳票要件における口座番号マスク機能の要件に準じた出力内容とする
14	口座名義人	●			半角カナで印字すること
15	被保険者氏名	●			
16	被保険者番号	●			
17	振替不能の保険料額	相当年度	●		和暦表記
18		期別番号	●		
19		賦課年度	●		和暦表記
20		金額	●		
21		振替できなかった理由	●		
22		備考（固定文言 1）	●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号、通知書番号、取扱期限
23		固定文言 2 + 編集 1	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号、通知書番号、取扱期限 等
24	督促及び延滞金	補足説明タイトル	●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 2 督促及び延滞金
25		補足説明文[延滞金加算率]	●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [延滞金加算率] : システム印字項目 (印字例) 保険料をこのまま納付されないと、督促状が発送されるほか延滞金が徴収されます。なお、延滞金は、納期限の翌日から納付の日までの期間の日数に応じ、保険料額に年[延滞金加算率] % の割合を乗じて計算した額です。この場合における年当りの割合は、閏年を含む期間についても 365 日当りの割合です。
26		納期限名称	●		口振不能理由によって以下の例のように文言を印字する。 (例 1) 納期限 (例 2) 再振替予定日
27		納期限	●		口振不能理由によって以下の例のように日付を印字する。 (例 1) 納期限（和暦表記） (例 2) 再振替予定日（和暦表記）
28	問い合わせ先	担当部署名	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名
29		担当部署住所	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所
30		担当部署電話番号	●		マスター管理している問合せ先情報を設定
31		担当部署FAX番号	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 バラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
32		担当部署メール		●	マスター管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること

業務	04. 保険料収納	帳票名称	14 口座振替不能通知書兼納付書（マル公）		
通番	システム印字項目	実装項目		印字編集条件など	
		必須	オプション	不可	
33	納入済通知書	賦課年度	●		和暦表記
34		金額	●		納付金額
35		賦課年度	●		和暦表記
36		相当年度	●		和暦表記
37		通知書番号	●		
38		期別	●		①全期前納の場合、"全期" ②單一期の場合、期別 + "期" ③複数期の場合、開始期別 + "期" + "～" + 終了期別 + "期"
39		被保険者番号	●		
40		納期限	●		和暦表記
41		取扱期限	●		和暦表記
42		被保険者氏名	●		
43		OCR	●		
44	バーコード		●		出力有無を選択可能とすること (コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため) コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示
45		二次元コード	●		JPQR統一規格の仕様に準拠した二次元コードを出力すること (金融機関での支払いではなく、コンビニやスマートフォンアプリでの支払いに使用する二次元コードを印刷する想定) 出力有無を選択可能とすること ※本仕様書は日本マルチペイメントネットワーク推進協議会（JAMPA）より公開されている資料（準備編「サービス開始までの準備概要とFAQ」）で指定されている二次元コードの印刷位置に基づいて作成 二次元コードについては帳票表面は宛名、領収証書面以外に二次元コードは印字しないよう金融機関等から要請があったため、本帳票では裏面に印字することを想定。
46	原符兼払込金受領証	賦課年度	●		和暦表記
47		被保険者氏名	●		
48		賦課年度	●		和暦表記
49		相当年度	●		和暦表記
50		通知書番号	●		
51		期別	●		①全期前納の場合、"全期" ②單一期の場合、期別 + "期" ③複数期の場合、開始期別 + "期" + "～" + 終了期別 + "期"
52		被保険者番号	●		
53		納期限	●		和暦表記
54		金額	●		納付金額(末尾に"円"を付与すること)
55		延滞金	●		延滞金(末尾に"円"を付与すること)
56		備考 1	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
57		編集 1	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料(末尾に"円"を付与すること) 等
58		備考 2	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
59		編集 2	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額(末尾に"円"を付与すること) 等
60		備考 3	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
61		編集 3	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等
62	領収証書	被保険者氏名	●		
63		被保険者氏名	●		
63		賦課年度	●		和暦表記
64		相当年度	●		和暦表記
65		通知書番号	●		
66		期別	●		①全期前納の場合、"全期" ②單一期の場合、期別 + "期" + "(●月分)" ③複数期の場合、開始期別 + "期" + "(●月分)" + "～" + 終了期別 + "期" + "(●月分)"
67		備考 4	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦番 等
68		編集 4	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号 等
69		被保険者番号	●		
70		納期限	●		和暦表記
71		金額	●		納付金額(末尾に"円"を付与すること)
72		延滞金	●		延滞金(末尾に"円"を付与すること)
73		備考 5	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等

業務	04. 保険料収納	帳票名称	14 口座振替不能通知書兼納付書（マル公）		
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
74	編集 5 備考 6 編集 6 備考 7 編集 7	●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等
75		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
76		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額（末尾に“円”を付与すること） 等
77		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
78		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	15 後期高齢者医療保険料還付（充当）通知書兼還付請求書		
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	発行年月日	●			和暦表記
2	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
3	郵便還付先		●		パラメタにより出力有無を変更できること マスター管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名+郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号+全角スペース+郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
4	タイトル1	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料還付・充当希望確認票通知書
5	案内文1	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 納付（納入）された後期高齢者医療保険料が納めすぎになりましたので、次のとおりお返しいたします。なお、当期までの未済分、および、納期末到来分への充当も行なえます。別紙に添えました『後期高齢者医療保険料収納状況のお知らせ』をご覧の上、ご検討ください。
6	被保険者氏名	●			
7	被保険者番号	●			
8	還付する金額	過誤納金算出年度	●		和暦表記
9		相当年度	●		和暦表記
10		納め過ぎた金額（過誤納金額）	●		
11	納め過ぎた金額（過誤納金額）の内訳	期別	●		
12	※対象期別の数に応じて、1行目～N行目まで印字	特別徴収	●		特別徴収保険料額
13		普通徴収	●		普通徴収保険料額
14		延滞金	●		
15		納めた金額	●		
16		過誤納金額	●		
17		領収年月日	●		
18		発生理由	●		
19		備考1（固定文言1）	●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号、督促料
20		固定文言2+編集1	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号、督促料 等
21	金融機関名	●			
22	支店名	●			
23	種目	●			
24	口座番号	●			機能・帳票要件における口座番号マスク機能の要件に準じた出力内容とする
25	口座名義人	●			半角カナで印字すること
26	補足説明文	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 上記、過誤納金額分を次のいずれかの方法でお取扱いいただくことになります。 1. 取扱金融機関を登録されている方、上記指定口座に還付金を振り込みます。 2. 取扱金融機関を登録されていない方や記載されている口座とは別の口座への振り込みを希望する方は、本紙面右側の『後期高齢者医療保険料還付申請書』を切り離し、振込先の口座情報等を記入の上、返送をお願いいたします。
27	問い合わせ先	担当部署名	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名
28		担当部署住所	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所
29		担当部署電話番号	●		マスター管理している問合せ先情報を設定
30		担当部署FAX番号	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
31		担当部署メール		●	マスター管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること
32	タイトル2	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料還付請求書
33	自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体+首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
34	編集4		●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 殿

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	15 後期高齢者医療保険料還付（充当）通知書兼還付請求書		
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
35	案内文 2	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 下記の被保険者に係る後期高齢者医療保険料過誤納金の還付について請求します。
36	被保険者氏名	●			
37	被保険者番号	●			
38	還付管理番号	●			「02. 後期高齢者医療保険料還付（充当）通知書」と紐づく管理番号
39	被保険者住所	●			住所+全角スペース+方書
40	備考 2 (固定文言 3)	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 還付額、請求額合計
41	編集 2	●			(還付加算金額ありの場合) 還付額+還付加算金額 (還付加算金額なしの場合) 還付額
42	備考 3 (固定文言 4)	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 還付額、還付加算金額
43	固定文言 5 + 編集 3	●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 還付額、還付加算金額 等
44	案内文 3	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) なお、還付については、以下に記載した内容にもとづき、金融機関口座へ振り込むよう依頼します。また、本人口座以外に還付する場合は、委任状を提示してください。
45	固定文言 6	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) ・理由 ※請求者が被保険者本人ではない場合の理由
46	固定文言 7	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 委任状 (※被保険者と口座名義人が異なる場合は以下を記入してください。)
47	固定文言 8	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 下記の代理人に後期高齢者医療保険料の還付金の受領を委任します。 年 月 日
48	固定文言 9	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) ・代理人住所 〒
49	固定文言 10	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) ・代理人氏名

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	16 後期高齢者医療保険料督促状兼納付書（マル公）		
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	文書番号	●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする
2	発行年月日	●			和暦表記
3	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
4	自治体の名称	●			バラメタにより出力有無を変更できること 自治体+首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
5	自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
6	郵便還付先		●		※A4様式の場合のみ印字される バラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名+郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号+全角スペース+郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
7	タイトル[相当年度]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [相当年度] : システム印字項目（和暦表記） (印字例) [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 督促状
8	案内文[基準日][指定納期限][自治体名]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [基準日] : システム印字項目（和暦表記） [指定納期限] : システム印字項目（和暦表記） [自治体名] : システム印字項目 (印字例) 保険料が、[基準日]現在、下記のとおり滞納になっておりますので、納付について確認のうえ、[指定納期限]まで自治体窓口または指定金融機関等に納付してください。 この督促状の指定納期限まで納付されないとときは、地方自治法第231条の3の規定により滞納処分を受けることになります。 また、[自治体名]後期高齢者医療条例第●●●条の規定により、延滞金及び督促手数料も併せて納付願います。
9	被保険者氏名	●			
10	被保険者番号	●			
11	通知書番号	●			未納期別の納入通知書における通知書番号
12	相当年度	●			和暦表記
13	賦課年度	●			和暦表記
14	期別	●			
15	保険料	●			
16	納期限	●			和暦表記
17	備考（固定文言1）	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号、延滞金、督促手数料、指定納期限、総合計額
18	固定文言2+編集1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号、延滞金、督促手数料、指定納期限、総合計額 等
19	補足説明文	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) ※ 最近納付された方で、この督促状が行き違いに送達された場合は、ご了承願います。 ※ 領収証は5年間保存願います。
20	問い合わせ先	担当部署名	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名
21		担当部署住所	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所
22		担当部署電話番号	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定
23		担当部署FAX番号	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 バラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
24		担当部署メール		●	マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること
25	不服の申立	教示文[不服申立先担当部署名][不服申立先担当自治体名]	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [不服申立先担当部署名] : システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（例：後期高齢者医療審査会名等を設定） [不服申立先担当自治体名] : システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（提起先組織名。例：後期高齢者医療広域連合名等を設定） (印字例) 不服の申立 この通知について不服があるときは、この通知書を受け取った日の翌日から起算して3か月以内に[不服申立先担当部署名]に対し審査請求をすることができます。また、この処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決書を受け取った日の翌日から起算して6か月以内に[不服申立先担当自治体名]を被告として提起することができます。 なお、処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決を経た後（次の1から3までのいずれかに該当するときを除く。）でなければ提起することができないこととされています。 1 審査請求があつた日から3か月を経過しても裁決がないとき。 2 処分、処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき。 3 その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき。
26		不服申立先担当部署郵便番号	●		マスタ管理している不服申立先情報を設定
27		不服申立先担当部署住所	●		マスタ管理している不服申立先情報を設定
28		不服申立先担当部署電話番号	●		マスタ管理している不服申立先情報を設定

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納		帳票名称	16 後期高齢者医療保険料督促状兼納付書（マル公）
通番	システム印字項目	実装項目		
		必須	オプション	不可
29	納入済通知書	賦課年度	●	
30		金額	●	
31		賦課年度	●	
32		相当年度	●	
33		通知書番号	●	
34		期別	●	
35		被保険者番号	●	
36		納期限	●	
37		取扱期限	●	
38		被保険者氏名	●	
39		OCR	●	
40		バーコード	●	出力有無を選択可能とすること (コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため) コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示
41		二次元コード	●	JPQR統一規格の仕様に準拠した二次元コードを出力すること (金融機関での支払いではなく、コンビニやスマートフォンアプリでの支払いに使用する二次元コードを印刷する想定) 出力有無を選択可能とすること ※本仕様書は日本マルチペイメントネットワーク推進協議会（JAMPA）より公開されている資料（準備編「サービス開始までの準備概要とFAQ」）で指定されている二次元コードの印刷位置に基づいて作成 二次元コードについては帳票表面は宛名、領収証書面以外に二次元コードは印字しないよう金融機関等から要請があったため、本帳票では裏面に印字することを想定。
42	原符兼払込金受領証	賦課年度	●	和暦表記
43		被保険者氏名	●	
44		賦課年度	●	和暦表記
45		相当年度	●	和暦表記
46		通知書番号	●	
47		期別	●	①全期前納の場合、"全期" ②単一期の場合、期別 + "期" ③複数期の場合、開始期別 + "期" + "～" + 終了期別 + "期"
48		被保険者番号	●	
49		納期限	●	和暦表記
50		金額	●	納付金額（末尾に"円"を付与すること）
51		延滞金	●	延滞金（末尾に"円"を付与すること）
52		備考 1	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
53		編集 1	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料（末尾に"円"を付与すること） 等
54		備考 2	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
55		編集 2	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額（末尾に"円"を付与すること） 等
56		備考 3	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
57		編集 3	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等
58	領収証書	被保険者氏名	●	
59		被保険者氏名	●	
59		賦課年度	●	和暦表記
60		相当年度	●	和暦表記
61		通知書番号	●	
62		期別	●	①全期前納の場合、"全期" ②単一期の場合、期別 + "期" + " (●月分)" ③複数期の場合、開始期別 + "期" + " (●月分)" + "～" + 終了期別 + "期" + " (●月分)"
63		備考 4	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦番 等
64		編集 4	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号 等
65		被保険者番号	●	
66		納期限	●	和暦表記
67		金額	●	納付金額（末尾に"円"を付与すること）
68		延滞金	●	延滞金（末尾に"円"を付与すること）
69		備考 5	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等

業務	04. 保険料収納	帳票名称	16 後期高齢者医療保険料督促状兼納付書（マル公）		
通番	システム印字項目	実装項目		印字編集条件など	
		必須	オプション	不可	
70	システム印字項目 ● 編集 5 ● 備考 6 ● 編集 6 ● 備考 7 ● 編集 7	●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等
71		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
72		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額（末尾に“円”を付与すること） 等
73		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
74		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	17 口座振替不能通知書・督促状・催告書兼納付書1 (カク公) (eL-QRあり)		
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	納入済通知書	賦課年度	●		和暦表記
2		納付合計金額	●		
3		収納機関番号		●	出力有無を選択可能とすること (マルチペイメントを使用する際に使用)
4		納付番号		●	納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること (マルチペイメントを使用する際に使用)
5		確認番号		●	出力有無を選択可能とすること (マルチペイメントを使用する際に使用。採番について規定されたルールはなく、納付書管理番号とペアで使用することで誤入力などにより誤った納付が行われることを防止している。)
6		納付区分		●	納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること (マルチペイメントを使用する際に使用)
7		相当年度	●		和暦表記
8		期別	●		①単一期の場合、期別 + "期" ②複数期の場合、開始期別 + "期" + "～" + 終了期別 + "期"
9		通知書番号	●		
10		納期限	●		発行する際に、納期限を設定できること 和暦表記
11		OCR	●		
12		バーコード	●		出力有無を選択可能とすること (コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため) コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示
13		地方税統一QRコード		●	共通納税システム仕様書に準拠した地方税統一QRコードを出力すること。 (金融機関での支払いではなく、コンビニやスマートフォンアプリでの支払いに使用する地方税統一QRコードを印刷する想定)
14	原符兼払込金受領証	eL-QR		●	地方税統一QRコードの下または横に「eL-QR」と印字する。
15		被保険者氏名	●		
16		取扱期限	●		和暦表記 (マルチペイメントを使用する際はマルチペイメントの取扱期限)
17		賦課年度	●		和暦表記
18		納付合計金額	●		
19		取扱期限	●		和暦表記 (マルチペイメントを使用する際はマルチペイメントの取扱期限)
20		被保険者氏名	●		
21		納付番号		●	納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること
22		確認番号		●	出力有無を選択可能とすること
23		納付区分		●	納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること
24		賦課年度	●		和暦表記
25		相当年度	●		和暦表記
26		通知書番号	●		
27		期別	●		①単一期の場合、期別 + "期" ②複数期の場合、開始期別 + "期" + "～" + 終了期別 + "期"
28	領収証書	賦課年度	●		和暦表記
29		宛名	●		共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、 対象者氏名 、カスタマバーコード、 対象者番号 、 二次元コード
30		発行年月日	●		和暦表記
31		自治体の名称	●		バラメタにより出力有無を変更できること 自治体+首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
32		自治体の印	●		機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
33		郵便還付先		●	バラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名+郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号+全角スペース+郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
34		固定文言	●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例1：督促状兼納付書) 督促状兼領収証書 (印字例2：催告書兼納付書) 催告書兼領収証書 (印字例3：口座振替不能通知書兼納付書) 口座振替不能通知書兼領収証書
35		案内文	●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 下記の金額が未納となっておりますので、本状持参のうえ次紙の金融機関で督促手数料を含め納付してください。 なお、本状到着前に納付済の場合は行違いですのでご容赦ください。
36		被保険者氏名	●		
37		被保険者番号	●		

業務	04. 保険料収納	帳票名称	17 口座振替不能通知書・督促状・催告書兼納付書1 (カク公) (eL-QRあり)	
通番	システム印字項目	実装項目		印字編集条件など
		必須	オプション	不可
38	備考 5	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦番 等
39	編集 5	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号 等
40	賦課年度	●		和暦表記
41	相当年度	●		和暦表記
42	通知書番号	●		
43	期別	●		①単一期の場合、期別 + "期" + " (●月分)" ②複数期の場合、開始期別 + "期" + " (●月分)" + "～" + 終了期別 + "期" + " (●月分)"
44	納付番号		●	納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること
45	確認番号		●	出力有無を選択可能とすること
46	納付区分		●	納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること
47	納付金額	●		納付金額(末尾に"円"を付与すること)
48	延滞金	●		延滞金(末尾に"円"を付与すること)
49	備考 1	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
50	編集 1	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料(末尾に"円"を付与すること) 等
51	備考 2	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
52	編集 2	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額(末尾に"円"を付与すること) 等
53	備考 3	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納期限 等
54	編集 3	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納期限 等
55	備考 4	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
56	編集 4	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること 発行する際に、取扱納期限を設定できること (想定される印字項目) 取扱期限 等

業務	04. 保険料収納	帳票名称	18 口座振替不能通知書・督促状・催告書兼納付書2（マル公）（eL-QRあり）
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	納入済通知書	賦課年度	●		和暦表記
2		金額	●		納付金額
3		賦課年度	●		和暦表記
4		相当年度	●		和暦表記
5		通知書番号	●		
6		期別	●		①単一期の場合、期別 + “期” ②複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”
7		被保険者番号	●		
8		納期限	●		和暦表記
9		取扱期限	●		発行する際に、取扱納期限を設定できること 和暦表記
10		OCR	●		
11		バーコード	●		出力有無を選択可能とすること (コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため) コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示
12		地方税統一QRコード		●	共通納税システム仕様書に準拠した地方税統一QRコードを出力すること。 (金融機関での支払いではなく、コンビニやスマートフォンアプリでの支払いに使用する地方税統一QRコードを印刷する想定)
13		eL-QR		●	地方税統一QRコードの下または横に「eL-QR」と印字する。
14		被保険者氏名	●		
15		eL番号		●	
16	原符兼払込金受領証	賦課年度	●		和暦表記
17		被保険者氏名	●		
18		賦課年度	●		和暦表記
19		相当年度	●		和暦表記
20		通知書番号	●		
21		期別	●		①単一期の場合、期別 + “期” ②複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”
22		被保険者番号	●		
23		納期限	●		和暦表記
24		金額	●		納付金額（末尾に“円”を付与すること）
25		延滞金	●		延滞金（末尾に“円”を付与すること）
26		備考 1	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
27		編集 1	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等
28		備考 2	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
29		編集 2	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額（末尾に“円”を付与すること） 等
30		備考 3	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
31		編集 3	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること 発行する際に、取扱納期限を設定できること (想定される印字項目) 取扱期限 等
32	領収証書	賦課年度	●		和暦表記
33		宛名	●		共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
34		発行年月日	●		和暦表記
35		自治体の名称	●		パラメタにより出力有無を変更できること 自治体+首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
36		自治体の印	●		機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
37		郵便還付先		●	パラメタにより出力有無を変更できること マスター管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名+郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号+全角スペース+郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
38		固定文言	●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例 1 : 督促状兼納付書) 督促状兼領収証書 (印字例 2 : 催告書兼納付書) 催告書兼領収証書 (印字例 3 : 口座振替不能通知書兼納付書) 口座振替不能通知書兼領収証書

業務	04. 保険料収納	帳票名称	18 口座振替不能通知書・督促状・催告書兼納付書2 (マル公) (eL-QRあり)	
通番	システム印字項目	実装項目		印字編集条件など
		必須	オプション	不可
39	案内文	●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 下記の金額が未納となっておりますので、本状持参のうえ次紙の金融機関で督促手数料を含め納付してください。 なお、本状到着前に納付済の場合は行違いですのでご容赦ください。
40	被保険者氏名	●		
41	賦課年度	●		和暦表記
42	相当年度	●		和暦表記
43	通知書番号	●		
44	被保険者番号	●		
45	備考 4	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦番 等
46	編集 4	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号 等
47	期別	●		①単一期の場合、期別 + "期" + " (●月分)" ②複数期の場合、開始期別 + "期" + " (●月分)" + "～" + 終了期別 + "期" + " (●月分)"
48	納期限	●		和暦表記
49	金額	●		納付金額(末尾に"円"を付与すること)
50	延滞金	●		延滞金(末尾に"円"を付与すること)
51	備考 5	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
52	編集 5	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料(末尾に"円"を付与すること) 等
53	備考 6	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
54	編集 6	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額(末尾に"円"を付与すること) 等
55	備考 7	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
56	編集 7	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること 発行する際に、取扱納期限を設定できること (想定される印字項目) 取扱期限 等

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称			19 後期高齢者医療保険料口座振替不能通知書兼納付書（マル公）（eL-QRあり）
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	文書番号	●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする
2	発行年月日	●			和暦表記
3	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
4	自治体の名称	●			バラメタにより出力有無を変更できること 自治体+首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
5	自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
6	郵便還付先		●		バラメタにより出力有無を変更できること マスター管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名+郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号+全角スペース+郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
7	タイトル[相当年度]	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、口振不能理由によって以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度] : システム印字項目（和暦表記） (例 1) [相当年度] 年度 後期高齢者医療保険料 口座振替不能通知書 (例 2) [相当年度] 年度 後期高齢者医療保険料 口座振替不能再振替通知書
8	案内文	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 口座振替により支払っていただくことになっていましたあなたの後期高齢者医療保険料は、下記の理由により振替できませんでした。
9	通知書文言	●			口振不能理由によって以下の例のように文言を印字する。 (例 1) 同封の納付書で、取扱期限までに必ず納めてください。 (例 2) 以下に記した日付にて、再度口座より振替を行います。
10	金融機関名	●			
11	金融機関支店名	●			
12	預金種目	●			
13	口座番号	●			機能・帳票要件における口座番号マスク機能の要件に準じた出力内容とする
14	口座名義人	●			半角カナで印字すること
15	被保険者氏名	●			
16	被保険者番号	●			
17	振替不能の保険料額	相当年度	●		和暦表記
18		期別番号	●		
19		賦課年度	●		和暦表記
20		金額	●		
21		振替できなかった理由	●		
22	備考（固定文言1）		●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号、通知書番号、取扱期限
23		固定文言2+編集1	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号、通知書番号、取扱期限 等
24	督促及び延滞金	補足説明タイトル	●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 2 督促及び延滞金
25		補足説明文[延滞金加算率]	●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [延滞金加算率] : システム印字項目 (印字例) 保険料をこのまま納付されないと、督促状が発送されるほか延滞金が徴収されます。なお、延滞金は、納期限の翌日から納付の日までの期間の日数に応じ、保険料額に年[延滞金加算率] %の割合を乗じて計算した額です。この場合における年当りの割合は、閏年を含む期間についても365日当りの割合です。
26		納期限名称	●		口振不能理由によって以下の例のように文言を印字する。 (例 1) 納期限 (例 2) 再振替予定期
27		納期限	●		口振不能理由によって以下の例のように日付を印字する。 (例 1) 納期限（和暦表記） (例 2) 再振替予定期（和暦表記）
28	問い合わせ先	担当部署名	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名
29		担当部署住所	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所
30		担当部署電話番号	●		マスター管理している問合せ先情報を設定
31		担当部署FAX番号	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 バラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること

業務	04. 保険料収納		帳票名称	19 後期高齢者医療保険料口座振替不能通知書兼納付書（マル公）（eL-QRあり）
通番	システム印字項目		実装項目	印字編集条件など
	必須	オプション	不可	
32		担当部署メール	●	マスター管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること
33	納入済通知書	賦課年度	●	和暦表記
34		金額	●	納付金額
35		賦課年度	●	和暦表記
36		相当年度	●	和暦表記
37		通知書番号	●	
38		期別	●	①全期前納の場合、"全期" ②單一期の場合、期別 + "期" ③複数期の場合、開始期別 + "期" + "～" + 終了期別 + "期"
39		被保険者番号	●	
40		納期限	●	和暦表記
41		取扱期限	●	和暦表記
42		OCR	●	
43		バーコード	●	出力有無を選択可能とすること (コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため) コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示
44		地方税統一QRコード	●	共通納税システム仕様書に準拠した地方税統一QRコードを出力すること。 (金融機関での支払いではなく、コンビニやスマートフォンアプリでの支払いに使用する地方税統一QRコードを印刷する想定)
45		eL-QR	●	地方税統一QRコードの下または横に「eL-QR」と印字する。
46		被保険者氏名	●	
47		eL番号	●	
48	原符兼払込金受領証	賦課年度	●	和暦表記
49		被保険者氏名	●	
50		賦課年度	●	和暦表記
51		相当年度	●	和暦表記
52		通知書番号	●	
53		期別	●	①全期前納の場合、"全期" ②單一期の場合、期別 + "期" ③複数期の場合、開始期別 + "期" + "～" + 終了期別 + "期"
54		被保険者番号	●	
55		納期限	●	和暦表記
56		金額	●	納付金額(末尾に"円"を付与すること)
57		延滞金	●	延滞金(末尾に"円"を付与すること)
58		備考 1	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
59		編集 1	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料(末尾に"円"を付与すること) 等
60		備考 2	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
61		編集 2	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額(末尾に"円"を付与すること) 等
62		備考 3	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
63		編集 3	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等
64	領収証書	被保険者氏名	●	
65		被保険者氏名	●	
66		賦課年度	●	和暦表記
67		相当年度	●	和暦表記
68		通知書番号	●	
69		期別	●	①全期前納の場合、"全期" ②單一期の場合、期別 + "期" + "(●月分)" ③複数期の場合、開始期別 + "期" + "(●月分)" + "～" + 終了期別 + "期" + "(●月分)"
70		備考 4	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦番 等
71		編集 4	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号 等
72		被保険者番号	●	
73		納期限	●	和暦表記
74		金額	●	納付金額(末尾に"円"を付与すること)
75		延滞金	●	延滞金(末尾に"円"を付与すること)
76		備考 5	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
		編集 5	●	文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料(末尾に"円"を付与すること) 等

業務	04. 保険料収納	帳票名称	19 後期高齢者医療保険料口座振替不能通知書兼納付書（マル公）（eL-QRあり）
----	-----------	------	--

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
77	備考 6 編集 6 備考 7 編集 7	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
78		●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額(末尾に"円"を付与すること) 等
79		●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
80		●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	20 後期高齢者医療保険料督促状兼納付書（マル公）（eL-QRあり）		
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	文書番号	●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする
2	発行年月日	●			和暦表記
3	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
4	自治体の名称	●			バラメタにより出力有無を変更できること 自治体+首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
5	自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
6	郵便還付先		●		※A4様式の場合のみ印字される バラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名+郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号+全角スペース+郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
7	タイトル[相当年度]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [相当年度] : システム印字項目（和暦表記） (印字例) [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 督促状
8	案内文[基準日][指定納期限][自治体名]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [基準日] : システム印字項目（和暦表記） [指定納期限] : システム印字項目（和暦表記） [自治体名] : システム印字項目 (印字例) 保険料が、[基準日]現在、下記のとおり滞納になっておりますので、納付について確認のうえ、[指定納期限]まで自治体窓口または指定金融機関等に納付してください。 この督促状の指定納期限まで納付されないとときは、地方自治法第231条の3の規定により滞納処分を受けることになります。 また、[自治体名]後期高齢者医療条例第●●●条の規定により、延滞金及び督促手数料も併せて納付願います。
9	被保険者氏名	●			
10	被保険者番号	●			
11	通知書番号	●			未納期別の納入通知書における通知書番号
12	相当年度	●			和暦表記
13	賦課年度	●			和暦表記
14	期別	●			
15	保険料	●			
16	納期限	●			和暦表記
17	備考（固定文言1）	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号、延滞金、督促手数料、指定納期限、総合計額
18	固定文言2+編集1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号、延滞金、督促手数料、指定納期限、総合計額 等
19	補足説明文	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) ※ 最近納付された方で、この督促状が行き違いに送達された場合は、ご了承願います。 ※ 領収証は5年間保存願います。
20	問い合わせ先	担当部署名	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名
21		担当部署住所	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所
22		担当部署電話番号	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定
23		担当部署FAX番号	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 バラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
24		担当部署メール		●	マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること
25	不服の申立	教示文[不服申立先担当部署名][不服申立先担当自治体名]	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [不服申立先担当部署名] : システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（例：後期高齢者医療審査会名等を設定） [不服申立先担当自治体名] : システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（提起先組織名。例：後期高齢者医療広域連合名等を設定） (印字例) 不服の申立 この通知について不服があるときは、この通知書を受け取った日の翌日から起算して3か月以内に[不服申立先担当部署名]に対し審査請求をすることができます。また、この処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決書を受け取った日の翌日から起算して6か月以内に[不服申立先担当自治体名]を被告として提起することができます。 なお、処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決を経た後（次の1から3までのいずれかに該当するときを除く。）でなければ提起することができないこととされています。 1 審査請求があつた日から3か月を経過しても裁決がないとき。 2 処分、処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき。 3 その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき。
26		不服申立先担当部署郵便番号	●		マスタ管理している不服申立先情報を設定
27		不服申立先担当部署住所	●		マスタ管理している不服申立先情報を設定
28		不服申立先担当部署電話番号	●		マスタ管理している不服申立先情報を設定

業務	04. 保険料収納	帳票名称	20 後期高齢者医療保険料督促状兼納付書（マル公）（eL-QRあり）		
通番	システム印字項目	実装項目	印字編集条件など		
		必須	オプション	不可	
29	納入済通知書	賦課年度	●		和暦表記
30		金額	●		納付金額
31		賦課年度	●		和暦表記
32		相当年度	●		和暦表記
33		通知書番号	●		
34		期別	●		①全期前納の場合、"全期" ②單一期の場合、期別 + "期" ③複数期の場合、開始期別 + "期" + "～" + 終了期別 + "期"
35		被保険者番号	●		
36		納期限	●		和暦表記
37		取扱期限	●		和暦表記
38		OCR	●		
39	原符兼払込金受領証	バーコード	●		出力有無を選択可能とすること (コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため) コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示
40		地方税統一QRコード		●	共通納税システム仕様書に準拠した地方税統一QRコードを出力すること。 (金融機関での支払いではなく、コンビニやスマートフォンアプリでの支払いに使用する地方税統一QRコードを印刷する想定)
41		eL-QR		●	地方税統一QRコードの下または横に「eL-QR」と印字する。
42		被保険者氏名	●		
43		eL番号		●	
44		賦課年度	●		和暦表記
45		被保険者氏名	●		
46		賦課年度	●		和暦表記
47		相当年度	●		和暦表記
48		通知書番号	●		
49	備考	期別	●		①全期前納の場合、"全期" ②單一期の場合、期別 + "期" ③複数期の場合、開始期別 + "期" + "～" + 終了期別 + "期"
50		被保険者番号	●		
51		納期限	●		和暦表記
52		金額	●		納付金額(末尾に"円"を付与すること)
53		延滞金	●		延滞金(末尾に"円"を付与すること)
54		備考 1	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
55		備考 2	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料(末尾に"円"を付与すること) 等
56		備考 3	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
57		備考 4	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額(末尾に"円"を付与すること) 等
58		備考 5	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
59		備考 6	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等
60	領収証書	被保険者氏名	●		
61		被保険者氏名	●		
62		賦課年度	●		和暦表記
63		相当年度	●		和暦表記
64		通知書番号	●		
65		期別	●		①全期前納の場合、"全期" ②單一期の場合、期別 + "期" + " (●月分)" ③複数期の場合、開始期別 + "期" + " (●月分)" + "～" + 終了期別 + "期" + " (●月分)"
66		備考 4	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦番 等
67		備考 5	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号 等
68		被保険者番号	●		
69		納期限	●		和暦表記
70		金額	●		納付金額(末尾に"円"を付与すること)
71		延滞金	●		延滞金(末尾に"円"を付与すること)
72		備考 6	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
		備考 7	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料(末尾に"円"を付与すること) 等

業務	04. 保険料収納	帳票名称	20 後期高齢者医療保険料督促状兼納付書（マル公）（eL-QRあり）		
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
73	備考 6 編集 6 備考 7 編集 7	●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
74		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額(末尾に“円”を付与すること) 等
75		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
76		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	21 後期高齢者医療保険料督促状兼納付書（はがき）（マル公）		
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
2	問い合わせ先	担当部署名	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名
3		担当部署住所	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所
4		担当部署電話番号	●		マスター管理している問合せ先情報を設定
5		担当部署FAX番号	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 バラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
6		担当部署メール		●	マスター管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること
7	納入済通知書	OCR	●		
8		被保険者氏名	●		
9		賦課年度	●		和暦表記
10		相当年度	●		和暦表記
11		期別	●		①全期前納の場合、"全期" ②単一期の場合、期別 + "期"
12		金額	●		納付金額
13		通知書番号	●		
14		延滞金	●		延滞金（末尾に“円”を付与すること）
15		納期限	●		和暦表記
16		備考1	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
17		編集1	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等
18		取扱期限	●		和暦表記
19		納付合計額	●		納付合計額（末尾に“円”を付与すること）
20		バーコード	●		出力有無を選択可能とすること (コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため) コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示
21	原符兼払込金受領証	被保険者氏名	●		
22		賦課年度	●		和暦表記
23		相当年度	●		和暦表記
24		通知書番号	●		
25		期別	●		①全期前納の場合、"全期" ②単一期の場合、期別 + "期"
26		被保険者番号	●		
27		納期限	●		和暦表記
28		金額	●		納付金額（末尾に“円”を付与すること）
29		延滞金	●		延滞金（末尾に“円”を付与すること）
30		備考2	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
31		編集2	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等
32		備考3	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
33		編集3	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額（末尾に“円”を付与すること） 等
34		備考4	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
35		編集4	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等
36	領収証書	タイトル	●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること システム印字項目 (印字例) 督促状兼領収証書
37		教示文	●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 下記の金額が未納となっておりますので、本状持参のうえ裏面の金融機関で 督促手数料を含め納付してください。 なお、本状到着前に納付済の場合は行き違いで御容赦ください。
38		発行年月日	●		和暦表記
39		自治体の名称	●		バラメタにより出力有無を変更できること 自治体+首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること

業務	04. 保険料収納	帳票名称	21 後期高齢者医療保険料督促状兼納付書（はがき）（マル公）	
通番	システム印字項目	実装項目		印字編集条件など
		必須	オプション	不可
40	自治体の印	●		機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
41	被保険者氏名	●		
42	賦課年度	●		和暦表記
43	相当年度	●		和暦表記
44	通知書番号	●		
45	期別	●		①全期前納の場合、"全期" ②単一期の場合、期別 + "期"
46	備考 5	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦番 等
47	編集 5	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号 等
48	被保険者番号	●		
49	納期限	●		和暦表記
50	金額	●		納付金額（末尾に“円”を付与すること）
51	延滞金	●		延滞金（末尾に“円”を付与すること）
52	備考 6	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
53	編集 6	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等
54	備考 7	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
55	編集 7	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額（末尾に“円”を付与すること） 等
56	備考 8	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
57	編集 8	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称			22 後期高齢者医療保険料督促状兼納付書（はがき）（マル公）（eL-QRあり）
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
2	問い合わせ先	担当部署名	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名
3		担当部署住所	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所
4		担当部署電話番号	●		マスター管理している問合せ先情報を設定
5		担当部署FAX番号	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 バラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
6		担当部署メール		●	マスター管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること
7	納入済通知書	OCR	●		
8		被保険者氏名	●		
9		賦課年度	●		和暦表記
10		相当年度	●		和暦表記
11		期別	●		①全期前納の場合、"全期" ②単一期の場合、期別 + "期"
12		金額	●		納付金額
13		通知書番号	●		
14		延滞金	●		延滞金（末尾に"円"を付与すること）
15		納期限	●		和暦表記
16		備考 1	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
17		編集 1	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料（末尾に"円"を付与すること） 等
18		取扱期限	●		和暦表記
19		納付合計額	●		納付合計額（末尾に"円"を付与すること）
20		バーコード	●		出力有無を選択可能とすること (コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため) コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示
21		eL番号		●	
22		地方税統一QRコード		●	共通納税システム仕様書に準拠した地方税統一QRコードを出力すること。
23		eL-QR		●	地方税統一QRコードの下または横に「eL-QR」と印字する。
24	原符兼払込金受領証	被保険者氏名	●		
25		賦課年度	●		和暦表記
26		相当年度	●		和暦表記
27		通知書番号	●		
28		期別	●		①全期前納の場合、"全期" ②単一期の場合、期別 + "期"
29		被保険者番号	●		
30		納期限	●		和暦表記
31		金額	●		納付金額（末尾に"円"を付与すること）
32		延滞金	●		延滞金（末尾に"円"を付与すること）
33		備考 2	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
34		編集 2	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料（末尾に"円"を付与すること） 等
35		備考 3	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
36		編集 3	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額（末尾に"円"を付与すること） 等
37		備考 4	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
38		編集 4	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等
39	領収証書	タイトル	●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること システム印字項目 (印字例) 督促状兼領収証書

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称		22 後期高齢者医療保険料督促状兼納付書（はがき）（マル公）（eL-QRあり）
通番	システム印字項目	実装項目		印字編集条件など
		必須	オプション	
40	教示文	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 下記の金額が未納となっておりますので、本状持参のうえ裏面の金融機関で督促手数料を含め納付してください。 なお、本状到着前に納付済の場合は行き違いで御容赦ください。
41	発行年月日	●		和暦表記
42	自治体の名称	●		パラメタにより出力有無を変更できること 自治体+首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
43	自治体の印	●		機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
44	被保険者氏名	●		
45	賦課年度	●		和暦表記
46	相当年度	●		和暦表記
47	通知書番号	●		
48	期別	●		①全期前納の場合、“全期” ②單一期の場合、期別 + “期”
49	備考 5	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦番 等
50	編集 5	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号 等
51	被保険者番号	●		
52	納期限	●		和暦表記
53	金額	●		納付金額（末尾に“円”を付与すること）
54	延滞金	●		延滞金（末尾に“円”を付与すること）
55	備考 6	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
56	編集 6	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等
57	備考 7	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
58	編集 7	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額（末尾に“円”を付与すること） 等
59	備考 8	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
60	編集 8	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	23 口座振替不能通知書兼納付書（はがき）（マル公）		
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
2	問い合わせ先	担当部署名	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名
3		担当部署住所	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所
4		担当部署電話番号	●		マスター管理している問合せ先情報を設定
5		担当部署FAX番号	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 バラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
6		担当部署メール		●	マスター管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること
7	納入済通知書	OCR	●		
8		被保険者氏名	●		
9		賦課年度	●		和暦表記
10		相当年度	●		和暦表記
11		期別	●		①全期前納の場合、"全期" ②単一期の場合、期別 + "期"
12		金額	●		納付金額
13		通知書番号	●		
14		延滞金	●		延滞金（末尾に“円”を付与すること）
15		納期限	●		和暦表記
16		備考1	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
17		編集1	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等
18		取扱期限	●		和暦表記
19		納付合計額	●		納付合計額（末尾に“円”を付与すること）
20		バーコード	●		出力有無を選択可能とすること (コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため) コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示
21	原符兼払込金受領証	被保険者氏名	●		
22		賦課年度	●		和暦表記
23		相当年度	●		和暦表記
24		通知書番号	●		
25		期別	●		①全期前納の場合、"全期" ②単一期の場合、期別 + "期" ③複数期の場合、開始期別 + "期" + "～" + 終了期別 + "期"
26		被保険者番号	●		
27		納期限	●		和暦表記
28		金額	●		納付金額（末尾に“円”を付与すること）
29		延滞金	●		延滞金（末尾に“円”を付与すること）
30		備考2	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
31		編集2	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等
32		備考3	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
33		編集3	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額（末尾に“円”を付与すること） 等
34		備考4	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
35		編集4	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等
36	領収証書	タイトル	●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること システム印字項目 (印字例) 口座振替不能通知書兼領収証書
37		教示文	●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [自治体名]：システム印字項目 (印字例) 下記の金額が指定口座からの振替ができませんでした。 至急[自治体名]指定金融機関等で納付してください。 なお、本書到着前に納付済の場合は行き違いですので御容赦ください。
38		発行年月日	●		和暦表記

業務	04. 保険料収納	帳票名称	23 口座振替不能通知書兼納付書（はがき）（マル公）	
通番	システム印字項目	実装項目	印字編集条件など	
		必須	オプション	不可
39	自治体の名称	●		パラメタにより出力有無を変更できること 自治体+首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
40	自治体の印	●		機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
41	被保険者氏名	●		
42	賦課年度	●		和暦表記
43	相当年度	●		和暦表記
44	通知書番号	●		
45	期別	●		①全期前納の場合、"全期" ②単一期の場合、期別 + "期" + " (●月分)" ③複数期の場合、開始期別 + "期" + " (●月分)" + "～" + 終了期別 + "期" + " (●月分)"
46	備考 5	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦番 等
47	編集 5	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号 等
48	被保険者番号	●		
49	納期限	●		和暦表記
50	金額	●		納付金額（末尾に“円”を付与すること）
51	延滞金	●		延滞金（末尾に“円”を付与すること）
52	備考 6	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
53	編集 6	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等
54	備考 7	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
55	編集 7	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額（末尾に“円”を付与すること） 等
56	備考 8	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
57	編集 8	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	24 口座振替不能通知書兼納付書(はがき)(マル公)(eL-QRあり)		
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
2	問い合わせ先	担当部署名	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名
3		担当部署住所	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所
4		担当部署電話番号	●		マスター管理している問合せ先情報を設定
5		担当部署FAX番号	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 バラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
6		担当部署メール		●	マスター管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること
7	納入済通知書	OCR	●		
8		被保険者氏名	●		
9		賦課年度	●		和暦表記
10		相当年度	●		和暦表記
11		期別	●		①全期前納の場合、"全期" ②単一期の場合、期別 + "期"
12		金額	●		納付金額
13		通知書番号	●		
14		延滞金	●		延滞金(末尾に"円"を付与すること)
15		納期限	●		和暦表記
16		備考1	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
17		編集1	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料(末尾に"円"を付与すること) 等
18		取扱期限	●		和暦表記
19		納付合計額	●		納付合計額(末尾に"円"を付与すること)
20		バーコード	●		出力有無を選択可能とすること (コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため) コンビニ納付の上限額を超過する場合、「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示
21		eL番号		●	
22		地方税統一QRコード		●	共通納税システム仕様書に準拠した地方税統一QRコードを出力すること。
23		eL-QR		●	地方税統一QRコードの下または横に「eL-QR」と印字する。
24	原符兼払込金受領証	被保険者氏名	●		
25		賦課年度	●		和暦表記
26		相当年度	●		和暦表記
27		通知書番号	●		
28		期別	●		①全期前納の場合、"全期" ②単一期の場合、期別 + "期" ③複数期の場合、開始期別 + "期" + "～" + 終了期別 + "期"
29		被保険者番号	●		
30		納期限	●		和暦表記
31		金額	●		納付金額(末尾に"円"を付与すること)
32		延滞金	●		延滞金(末尾に"円"を付与すること)
33		備考2	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
34		編集2	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料(末尾に"円"を付与すること) 等
35		備考3	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
36		編集3	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額(末尾に"円"を付与すること) 等
37		備考4	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
38		編集4	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等
39	領収証書	タイトル	●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること システム印字項目 (印字例) 口座振替不能通知書兼領収証書

業務	04. 保険料収納	帳票名称	24 口座振替不能通知書兼納付書（はがき）（マル公）（eL-QRあり）		
通番	システム印字項目	実装項目	印字編集条件など		
		必須	オプション	不可	
40	教示文	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること 【自治体名】：システム印字項目 （印字例） 下記の金額が指定口座からの振替ができませんでした。 至急【自治体名】指定金融機関等で納付してください。 なお、本書到着前に納付済の場合は行き違いですので御容赦ください。
41	発行年月日	●			和暦表記
42	自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体+首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
43	自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
44	被保険者氏名	●			
45	賦課年度	●			和暦表記
46	相当年度	●			和暦表記
47	通知書番号	●			
48	期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” + “（●月分）” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “（●月分）” + “～” + 終了期別 + “期” + “（●月分）”
49	備考5	●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 賦番 等
50	編集5	●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 賦課管理番号 等
51	被保険者番号	●			
52	納期限	●			和暦表記
53	金額	●			納付金額（末尾に“円”を付与すること）
54	延滞金	●			延滞金（末尾に“円”を付与すること）
55	備考6	●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 督促手数料 等
56	編集6	●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等
57	備考7	●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 納付合計額 等
58	編集7	●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 納付合計額（末尾に“円”を付与すること） 等
59	備考8	●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 取扱期限 等
60	編集8	●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 取扱期限 等

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	05. 滞納管理	帳票名称	01 後期高齢者医療保険料催告書	
通番	システム印字項目	実装項目	印字編集条件など	
		必須	オプション	不可
1	文書番号	●		機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする
2	発行年月日	●		和暦表記
3	宛名	●		共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
4	自治体の名称	●		パラメタにより出力有無を変更できること 自治体+首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
5	自治体の印	●		機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
6	郵便還付先		●	パラメタにより出力有無を変更できること マスター管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名+郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号+全角スペース+郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
7	タイトル	●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例1) 催告書の場合 後期高齢者医療保険料催告書 (印字例2) 差押予告書の場合 後期高齢者医療保険料差押予告書
8	案内文[基準日][指定納期限][自治体名]	●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [基準日] : システム印字項目（和暦表記） [指定納期限] : システム印字項目（和暦表記） [自治体名] : システム印字項目 (印字例1) 催告書の場合 保険料が、[基準日]現在、下記のとおり滞納になつておりますので、納付について確認のうえ、[指定納期限]まで自治体窓口または指定金融機関等に納付してください。 この催告書の指定納期限まで納付されないときは、地方自治法第231条の3の規定により滞納処分を受けることになります。 また、[自治体名]後期高齢者医療条例第●●●条の規定により、延滞金及び督促手数料も併せて納付願います。 (印字例2) 差押予告書の場合 あなたの滞納額については、再三再四納付ををお願いいたしましたが、いまだに履行されていません。[自治体名]としては、これ以上滞納を放置することはできません。 つきましては、[指定納期限]までに必ず納付してください。 もし、納付もされず、連絡もない場合には、賦課徴収を公平に執行すべき立場から、不本意ながら法律の定めるところにより、財産（動産、不動産、債権、その他）を調査し、滞納処分を執行いたします。
9	被保険者氏名	●		
10	被保険者番号	●		
11	通知書番号	●		未納期別の納入通知書における通知書番号
12	保険料合計	●		
13	備考1		●	文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 総合計
14	備考2 (固定文言1)	●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料合計、延滞金合計、指定納期限
15	固定文言2 + 編集1	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字内容) 督促手数料合計、延滞金合計、指定納期限 等
16	ページ数	●		催告書、催告書別紙を含めた現在のページ数
17	総ページ数	●		催告書、催告書別紙を含めた総ページ数
18	詳細	相当年度	●	和暦表記
19		賦課年度	●	和暦表記
20		期別	●	
21		納期限	●	和暦表記
22		保険料	●	
23		合計	●	督促手数料、延滞金がある場合は保険料に左記を加えた金額
24		備考3 (固定文言3)	●	文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号、督促手数料、延滞金（延滞金算出対象日数）
25	固定文言4 + 編集2	●		文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字内容) 賦課管理番号、督促手数料、延滞金（延滞金算出対象日数） 等

業務	05. 滞納管理	帳票名称	01 後期高齢者医療保険料催告書		
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
26	補足説明文[基準日]	●			<p>文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [基準日] : システム印字項目（和暦表記） (印字例) ※ 延滞金は、[基準日]現在で計算しておりますが、納入日により再計算した金額となります。納期限の翌日から、納入した日までの日数に応じて再計算されますので、ご了承願います。 ※ 最近納付された方で、この催告書が行き違いに送達された場合は、ご了承願います。 ※ 領収証は5年間保存願います。 ※ 延滞金が無い場合、保険料合計欄と総合計欄の金額は同額となります。</p>
27	問い合わせ先	担当部署名	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名
28		担当部署住所	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所
29		担当部署電話番号	●		マスター管理している問合せ先情報を設定
30		担当部署FAX番号	●		マスター管理している問合せ先情報を設定 バラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
31		担当部署メール		●	マスター管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること

業務	05. 滞納管理	帳票名称	02 後期高齢者医療保険料催告書別紙		
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	タイトル	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料催告書
2	被保険者氏名	●			
3	被保険者番号	●			
4	通知書番号	●			未納期別の納入通知書における通知書番号
5	ページ数	●			催告書、催告書別紙を含めた現在のページ数
6	総ページ数	●			催告書、催告書別紙を含めた総ページ数
7	詳細	相当年度	●		和暦表記
8		賦課年度	●		和暦表記
9		期別	●		
10		納期限	●		和暦表記
11		保険料	●		
12		合計	●		督促手数料、延滞金がある場合は保険料に左記を加えた金額
13		備考（固定文言1）	●		文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号、督促手数料、延滞金（延滞金算出対象日数）
14	固定文言2+編集1	●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字内容) 賦課管理番号、督促手数料、延滞金（延滞金算出対象日数） 等
15	補足説明文[基準日]	●			文言マスターで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [基準日]：システム印字項目（和暦表記） (印字例) ※ 延滞金は、[基準日]現在で計算しておりますが、納入日により再計算した金額となります。納期限の翌日から、納入した日までの日数に応じて再計算されますので、ご了承願います。

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	05. 滞納管理	帳票名称	03 後期高齢者医療保険料分納誓約書																																		
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など																																
		必須	オプション	不可																																	
1	発行年月日	●			和暦表記																																
2	表タイトル	●			バラメタで表の出力有無を選択できること 表の出力有無および文言マスタの印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) 決裁欄																																
3	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード																																
4	郵便還付先		●		バラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名+郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号+全角スペース+郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること																																
5	タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料 分納誓約書																																
6	自治体の名称	●			バラメタにより出力有無を変更できること 自治体+首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件(首長・職務代理人出力)に従った内容を出力すること																																
7	編集3		●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 殿																																
8	固定文言1	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 私は、下記の事由により現在のところ、保険料を完納することができません。 つきましては保険料を、下記の分納計画のとおり納入することを誓約いたします。 なお、誓約違反のときは、地方税法の定めるところにより私の所有財産の差押(公売)処分をうけても異議ありません。																																
9	被保険者氏名	●																																			
10	被保険者番号	●																																			
11	備考1(固定文言2)	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 納付方法																																
12	固定文言3+編集1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 納付方法 等																																
13	固定文言4	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 1事業不振 2病気 3失職 4その他																																
14	備考2(固定文言5)	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 来庁者																																
15	固定文言6	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 1世帯主 2主の妻(夫) 3家族 4その他																																
16	分納誓約日	●			和暦表記 自署の場合は印字しない																																
17	分納計画 ※分納期別に応じて、1行目～N行目まで印字	分納期別	●		※分納期別に該当する分納対象(通番17～通番20の出力対象)が複数存在する場合は2行目以降は空白 ・出力例(通番14～通番22) 普徴1期(3,000円)、普徴2期(3,000円)を3回で徴収 <table border="1"> <thead> <tr> <th>分納期別</th> <th>徴収期限</th> <th>徴収額</th> <th>相当年度</th> <th>賦課年度</th> <th>元普徴期別</th> <th>保険料</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分納 1期</td> <td>令和 3年 4月 30日</td> <td>2,000</td> <td>令和 3年</td> <td>令和 3年</td> <td>普徴 1期</td> <td>2,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>分納 2期</td> <td>令和 3年 5月 31日</td> <td>2,000</td> <td>令和 3年</td> <td>令和 3年</td> <td>普徴 1期</td> <td>1,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>分納 3期</td> <td>令和 3年 6月 30日</td> <td>2,000</td> <td>令和 3年</td> <td>令和 3年</td> <td>普徴 2期</td> <td>1,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	分納期別	徴収期限	徴収額	相当年度	賦課年度	元普徴期別	保険料	備考	分納 1期	令和 3年 4月 30日	2,000	令和 3年	令和 3年	普徴 1期	2,000		分納 2期	令和 3年 5月 31日	2,000	令和 3年	令和 3年	普徴 1期	1,000		分納 3期	令和 3年 6月 30日	2,000	令和 3年	令和 3年	普徴 2期	1,000	
分納期別	徴収期限	徴収額	相当年度	賦課年度	元普徴期別	保険料	備考																														
分納 1期	令和 3年 4月 30日	2,000	令和 3年	令和 3年	普徴 1期	2,000																															
分納 2期	令和 3年 5月 31日	2,000	令和 3年	令和 3年	普徴 1期	1,000																															
分納 3期	令和 3年 6月 30日	2,000	令和 3年	令和 3年	普徴 2期	1,000																															
18	徴収期限		●		和暦表記 ※分納期別に該当する分納対象(通番17～通番20の出力対象)が複数存在する場合は2行目以降は空白																																
19	徴収額		●		分納期別の徴収額 ※分納期別に該当する分納対象(通番17～通番20の出力対象)が複数存在する場合は2行目以降は空白																																
20	相当年度		●		分納対象の相当年度 和暦表記																																
21	賦課年度		●		分納対象の賦課年度 和暦表記																																
22	元普徴期別		●		分納対象の期別																																
23	保険料		●		通番16の徴収額の内、分納対象の期別の徴収額																																

業務	05. 滞納管理		帳票名称	03 後期高齢者医療保険料分納誓約書	
通番	システム印字項目		実装項目		印字編集条件など
			必須	オプション	不可
24	備考3（固定文言7）	●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号、督促手数料未納額、延滞金未納額
25		●			文言マスターで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号、督促手数料未納額、延滞金未納額 等
26	徴収合計額	●			
27	ページ数	●			
28	総ページ数	●			
29	問い合わせ先	●			マスター管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名
30		●			マスター管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所
31		●			マスター管理している問合せ先情報を設定
32		●			マスター管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
33			●		マスター管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	05. 滞納管理	帳票名称	04 後期高齢者医療保険料分納承認連絡書																																		
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など																																
		必須	オプション	不可																																	
1	文書番号	●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする																																
2	発行年月日	●			和暦表記																																
3	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード																																
4	郵便還付先		●		パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名+郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号+全角スペース+郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること																																
5	自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体+首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること																																
6	自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること																																
7	タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料 分納承認連絡書																																
8	案内文	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料の分納については、下記の通り承認しましたので通知します。																																
9	被保険者氏名	●																																			
10	被保険者番号	●																																			
11	分納承認年月日	●			和暦表記																																
12	分納計画 ※分納期別に応じて、1行目～N行目まで印字	●			※分納期別に該当する分納対象（通番14～通番17の出力対象）が複数存在する場合は2行目以降は空白 ・出力例（通番11～通番19） 普徴1期（3,000円）、普徴2期（3,000円）を3回で徴収 <table border="1"><thead><tr><th>分納期別</th><th>徴収期限</th><th>徴収額</th><th>相当年度</th><th>賦課年度</th><th>元普徴期別</th><th>保険料</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>分納 1期</td><td>令和 3年 4月30日</td><td>2,000</td><td>令和 3年</td><td>令和 3年</td><td>普徴 1期</td><td>2,000</td><td></td></tr><tr><td>分納 2期</td><td>令和 3年 5月31日</td><td>2,000</td><td>令和 3年</td><td>令和 3年</td><td>普徴 2期</td><td>1,000</td><td></td></tr><tr><td>分納 3期</td><td>令和 3年 6月30日</td><td>2,000</td><td>令和 3年</td><td>令和 3年</td><td>普徴 2期</td><td>2,000</td><td></td></tr></tbody></table>	分納期別	徴収期限	徴収額	相当年度	賦課年度	元普徴期別	保険料	備考	分納 1期	令和 3年 4月30日	2,000	令和 3年	令和 3年	普徴 1期	2,000		分納 2期	令和 3年 5月31日	2,000	令和 3年	令和 3年	普徴 2期	1,000		分納 3期	令和 3年 6月30日	2,000	令和 3年	令和 3年	普徴 2期	2,000	
分納期別	徴収期限	徴収額	相当年度	賦課年度	元普徴期別	保険料	備考																														
分納 1期	令和 3年 4月30日	2,000	令和 3年	令和 3年	普徴 1期	2,000																															
分納 2期	令和 3年 5月31日	2,000	令和 3年	令和 3年	普徴 2期	1,000																															
分納 3期	令和 3年 6月30日	2,000	令和 3年	令和 3年	普徴 2期	2,000																															
13	徴収期限	●			和暦表記 ※分納期別に該当する分納対象（通番14～通番17の出力対象）が複数存在する場合は2行目以降は空白																																
14	徴収額	●			分納期別の徴収額 ※分納期別に該当する分納対象（通番14～通番17の出力対象）が複数存在する場合は2行目以降は空白																																
15	相当年度	●			分納対象の相当年度 和暦表記																																
16	賦課年度	●			分納対象の賦課年度 和暦表記																																
17	元普徴期別	●			分納対象の期別																																
18	保険料	●			通番13の徴収額の内、分納対象の期別の徴収額																																
19	備考（固定文言1）	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号、督促手数料未納額、延滞金未納額 等																																
20	固定文言2+編集1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号、督促手数料未納額、延滞金未納額 等																																
21	徴収合計額	●																																			
22	ページ数	●																																			
23	総ページ数	●																																			
24	問い合わせ先	担当部署名	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名																																
25		担当部署住所	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所																																
26		担当部署電話番号	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定																																
27		担当部署FAX番号	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること																																
28		担当部署メール		●	マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること																																

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	05. 滞納管理		帳票名称	05 後期高齢者医療保険料納付誓約書
通番	システム印字項目	実装項目		
		必須	オプション	不可
1	発行年月日	●		和暦表記
2	表タイトル	●		バラメタで表の出力有無を選択できること 表の出力有無および文言マスタの印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) 決裁欄
3	宛名	●		共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
4	郵便還付先		●	バラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名+郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号+全角スペース+郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
5	タイトル	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) 後期高齢者医療保険料 納付誓約書
6	自治体の名称	●		バラメタにより出力有無を変更できること 自治体+首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件(首長・職務代理人出力)に従った内容を出力すること
7	編集 2		●	文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 殿
8	固定文言 1	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) 私は、下記の事由により現在のところ、保険料を完納することができません。つきましては保険料を、下記のとおり納入することを誓約いたします。なお、誓約違反のときは、地方税法の定めるところにより私の所有財産の差押(公売)処分をうけても異議ありません。
9	被保険者氏名	●		
10	被保険者番号	●		
11	固定文言 2	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) 1 事業不振 2 病気 3 失職 4 その他
12	備考 1 (固定文言 3)	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) 来庁者
13	固定文言 4	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) 1 世帯主 2 主の妻(夫) 3 家族 4 その他
14	納付誓約日	●		和暦表記 自署の場合は印字しない
15	納付誓約対象	●		和暦表記
16	※納付誓約対象の期別に応じて、1行目～N行目まで印字	●		和暦表記
17	賦課年度	●		
18	期別番号	●		
19	誓約期限日	●		和暦表記
20	徴収額	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号、督促手数料未納額、延滞金未納額 等
21	備考 2 (固定文言 5)	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号、督促手数料未納額、延滞金未納額 等
22	徴収合計額	●		
23	ページ数	●		
24	総ページ数	●		
25	問合せ先	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名
26	担当部署名	●		
27	担当部署住所	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所
28	担当部署電話番号	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定
29	担当部署FAX番号	●		バラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
30	担当部署メール		●	マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること